

高校アーチェリー会報

第21号



(財) 全国高体連アーチェリー専門部
2007年4月

SHIBUYA 2007

Ultima V-Bar New for 2007



クイックデタッチ機構内蔵 次世代Vバー

アルティマVバーは、センターロッド、サイドロッドとも、約半回転させるだけで着脱が可能なクイックデタッチ機構を内蔵した、画期的なVバーです。角度調整はデュアルロック方式なので、シューティング中に緩んで角度が変わることがありません。

アルティマVバー

- 開き角度：40°（固定）
- ダウン角度調整：0°、5°、10°、15° デュアルロック方式
- ネジサイズ：5/16"
- Vバー固定ボルト、レンチセット、ソフトケース付
- カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド、ゴールド



0°～15° のダウン角度調整が可能



クイックデタッチ内蔵

SSシリーズ登場！ STABILIZER SYSTEM



新デザインで登場したSHIBUYAスタビライザーシステム（SS）は、高い振動減衰性を誇るハイモジュラスカーボンを使用した高性能スタビライザーです。エクステンダーはSHIBUYA独自の高剛性構造を採用し、Vバー使用時のスタビライザー全体の荷重によるしなりを最小限に抑えます。

SSセンターロッド

- サイズ：26"、28"（5/16ネジ）
- カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド
- スタビライザースパナ用切り込み入りブッシング
- SSウエイト2個付
- ソフトケース付

SSサイドロッド

- サイズ：9"、11"（5/16ネジ）
- カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド
- スタビライザースパナ用切り込み入りブッシング
- SSウエイト1個付
- ソフトケース付（2本セットのみ）

SSエクステンダーロッド

- サイズ：3"、4"、5"、6"（5/16ネジ）
- カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド
- スタビライザースパナ用切り込み入りブッシング
- 剛性強化構造

目 次

1 卷頭言 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 部長	松崎 洋右	1
2 委員長挨拶 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 委員長	雨宮建次郎	2
3 沿革		3
4 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 役員名簿		5
5 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 ブロック役員名簿		6
6 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 部長名簿		7
7 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 委員名簿		8
8 学校登録一覧		9
9 全国高体連アーチェリー専門部登録状況一覧		19
10 第9回世界ジュニア選手権大会報告		20
11 インターハイ優勝校紹介		
男子 京都府 莽道高等学校		27
女子 女子 愛知県 愛知産業大学三河高等学校		31
12 学校紹介 上田西高等学校（長野県）		34
丹南高等学校（福井県）		37
天竜林業高等学校（静岡県）		39
高山西高等学校（岐阜県）		41
13 全国指導者研修会報告「リリースの時何が起きているのか(その2)」		44
大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 渡辺一志		
日本体育大学 大学院体育学研究科 高井秀明		
14 登録用紙について		50
15 登録費送金方法		51
16 全国高体連アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟登録届けの流れについて		52
17 会員届記入法		53
18 指定都道府県番号表		54
19 全国高体連アーチェリー専門部・全日本アーチェリー連盟登録届用紙		55
20 審判シャツ・帽子・スラックスの斡旋について		57
21 インターハイ・全国選手権大会栄光のあゆみ 同大会記録		61
22 全国選抜大会栄光のあゆみ 同大会記録		64
23 日本高校記録		66
24 F I T A世界記録・日本記録		68
25 記録収集について		71
26 高校公認記録規程		73
27 記録承認申請書様式		76
28 専門部競技会計画・大会開催地		77
29 インターハイの競技方法について		78
30 アーチェリー活動安全要領について		80
31 服装規程		82
32 得点記録の方法についての一部変更		83
33 全国高体連アーチェリー専門部規約		84
34 総務委員会規程		87
35 競技委員会規程		88
36 審判委員会規程		89
37 強化委員会規程		90
38 事務局規程		91
39 アーチェリー専門部表彰規程		92
40 アーチェリー専門部慶弔規程		93
41 連絡先および口座番号		94
42 高体連主催競技会の公認について		95
43 申請・報告用紙		96
44 あとがき		117

あ い さ つ

(財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

部 長 松 崎 洋 右



全国各地のアーチェリー専門部各位の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平成18年度のアーチェリー専門部の諸行事も、当初の計画どおり実施することができ、多大な成果を収め無事終了することができました。これもひとえに全国の関係諸兄のご協力の賜であると、深く感謝すると共にお礼申

し上げます。

近年高校生アーチャーのめざましい活躍を目にするようになりました。かねてより、高校出身のアーチャーが様々な大会で優秀な成績を残して参りましたが、ここ数年は国内大会は言うに及ばず、国際大会においても現役高校生アーチャーがめざましい活躍をしております。これは全日本アーチェリー連盟をはじめ関係機関のご支援、ご協力の結果であります。本専門部の強化委員会を中心に推し進めて参りました全国指導者講習などの強化推進事業、それをバックアップしてきた各委員会の支援とともに、何よりも日々高校現場でご指導に当たっておられる各校顧問の先生方の尽力の結果が、全国規模で大きなうねりとなり結実したものであると自負致しております。

高校スポーツの目的は勝つことのみではありませんが、競技である以上勝利を目指し努力すること、また、それを目標に切磋琢磨することを通じ、勝者は敗者を思い遣る心を持ち、敗者は素直に勝者を讃え、そこにいたる努力に対し敬意をはらわねばならないということを学ぶのは大切な事であります。そのためにもますます現役高校生アーチャーが、オリンピックを始め国際的な舞台で活躍し、そのことで全国の高校生アーチャーが自らのプライドを高く持ち未来に向け前進できるようにするために、組織をあげて強化に取り組んでゆきたいと考えております。

委員長あいさつ

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

委員長 雨宮 建次郎



平成18年度の本専門部の諸行事（全国大会・全国選抜大会・各委員会による会議等）も無事終わることができました。

これも、各先生方のご協力とご努力によるものと感謝しております。有難うございました。

さて、本年の全国高等学校選手権は九州の佐賀県多久市の陸上競技場で開催されます。交通の便は良好とは…と思いますが、多久市並びに県のアーチェリー専門部の先生方は一致協力して参加校の選手・監督の皆様に日頃の練習の成果を充分に発揮できますように心を込めて準備されると思いたいです。

高円宮妃さまにおかれましては、昨年度の全国大会もご多忙のところ開会式でご臨席を賜り盛大に実施されました。参加者一同日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、又、補助員の生徒達の機敏な行動により成功の内に閉会式を迎えられましたが、一部表彰式に遅れて参加または欠席された学校があったのは誠に遺憾に思われます。このようなことがないように各引率責任者の先生には深く反省を促したい。

今年度より、強力な新体制で各大会並びに各行事が実行されることとなります、先生方の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。

最後に、私事になりますが、長くて短かった年月でしたが、各先生方のご協力とご支援により無事に大役を終わることが出来ました。有難うございました。又、新しい委員長の下各先生方のご協力によりまして、本専門部の益々の発展を願っております。

沿革

昭和13年	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカから帰国した、菅 重義氏により日本にアーチェリーが紹介される。
昭和22年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本洋弓会が設立される。(愛好者が増加傾向)
昭和34年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本アーチェリー協会設立 <p>(学校への活動用具貸与による援助始まる)</p>
昭和37年	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生を対象とした近畿総合体育大会が、全国で初めて開催される。
昭和43年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回全国高校アーチェリー競技会開催(東大阪市・旧布施市)
昭和44年	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回全国高校アーチェリー競技会開催(静岡県)
昭和45年	<ul style="list-style-type: none"> ・競技会の名称変更「全国高等学校アーチェリー選手権大会」以後より今日に至る。
昭和46年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・任意参加を各都道府県で2校以内と前年度優勝校に参加を制限。
昭和49年	<ul style="list-style-type: none"> ・組織を「全国アーチェリー連盟高校部」に改称 ・選手権参加規定変更・各都道府県の代表校制に変更、男女1校と前年度優勝校に改正。 ・優勝碑「ダイアナ」(狩猟の女神:ギリシャ神話)が新たに新調される。 (川上源一氏と滋賀県協会の格別の好意により、ブロンズ像制定。) <p>【製作者: 小谷 謙氏・日展会員・京都府在住】</p>
昭和51年	<ul style="list-style-type: none"> ・運営組織のより一層の明確化が図られる。 ・木村好治氏(青森県アーチェリー協会・元名久井農業高校校長)を初代高校部長に選出。 ・改定組織関係役員決定。
昭和52年	<ul style="list-style-type: none"> ・選手権参加規定変更・団体出場校以外の学校より、個人選手の参加を認める。
昭和53年	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催基準・運営細則に関する全面的な見直し、改正に着手。
昭和54年	<p>(協会主導の運営から、高校サイドへの移行に伴い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部長、理事長制及び各都道府県ブロックの実情に即した常任理事や代表理事制を取り入れる。初代理事長に中田 昇氏を選出。 ・全国大会記録集創刊 ・全国高体連加盟に向け、高体連旗・表彰等の使用申請の働き掛けが始まる。 ・全国高体連へ加盟申請する。 ・中田 昇氏 二代目高校部長に選出。 ・総務・競技・強化・事務局の4部門を設定し、積極的な組織運営策の取組が始まる。
昭和55年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国選手権大会開催方針変更・大会経費内部負担の軽減・大会運営への地元高校への協力要請 ・専門部設置県の増加を目指し、各地で運動広がる。
昭和56年	<ul style="list-style-type: none"> ・小笠原朋憲氏三代目高校部長に選出。高体連加盟申請継続 ・全国高体連正式加盟への手順決定される。 ・第1回全国高校選抜大会開催(愛知・森林公園)
昭和57年	<p>◎準加盟として競技種目を扱う。</p>
昭和58年	<p>◎名義共催と全国総体開催期間中の同時開催禁止。</p>
昭和59年	<p>◎加盟については、おおむね30都道府県で高体連加盟が審議条件または、40都道府県に於いて、実質的な活動の場合。</p>
昭和61年	<ul style="list-style-type: none"> ・組織拡充と事業実施内容等の統一化に向けて運動強化。 ・ジュニア選手の強化並びに全米選手権大会への派遣事業始まる。 ・清本 修氏理事長に選出。 ・学校登録指定番号・ランキング制度開始。 ・会報の発刊始まる。
昭和62年	<ul style="list-style-type: none"> ・アーチェリー専門部設置に向けて、各都道府県高体連事務局への意向調査、協力要請を行う。 ・全国高体連への加盟承認される。(5月)
昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> ・新組織による常任委員会開催。(伊豆下田市) ・審判委員会を設置する。

昭和63年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高体連専門部規約審議、原案決定。 ・里見勝人氏（淑徳高校校長）四代目高校部長に選出。副部長に松崎洋右氏（大宮開成高）猪飼 彰氏（愛工大名電高）の2名を選出。 ・清本 修氏（可部高校）初代専門委員長に選出。 ・中辻恵子（山梨・甲府第一高）オリンピック代表へ。 ・五代目高校部長 松崎洋右氏（大宮開成高）を選出 ・副部長に越田 稔氏（学習院高）を選出。清本 修氏退職にともない、4月より藪内徹氏（伊吹高校）が専門委員長を代行する。
平成元年	4月・第1回ジュニア世界選手権大会（ノルウェー）へ選手派遣。
平成2年	7月・猪飼彰氏顧問に、鵜飼泰勇氏（愛知高校）を副部長に選出。
平成3年	8月・全国高校総合体育大会（栃木県）
平成5年	3月・全国高校選抜大会長浜ドーム開催。
平成6年	<ul style="list-style-type: none"> ・越田稟氏（学習院高）顧問に、桑ヶ谷森男氏（国際基督教大学付属高）を副部長に選出。
平成7年	3月・鵜飼泰勇氏（愛知高校）顧問に、吉田悠記氏（愛知高）を副部長に選出。
平成8年	8月・全国高校総合体育大会（山梨県）
平成9年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校選抜大会（茨城県波崎） ・田中康彦氏（愛知高）3代目専門委員長に選出
平成10年	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ開設 ・全国高校総合体育大会（京都府） ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・全国高校総合体育大会（香川県）
平成11年	<ul style="list-style-type: none"> ・桑ヶ谷森男氏(国際基督教大学付属高)顧問に、服部豊氏(文京女子大学高)を副部長に選出。
平成12年	8月・全国高校総合体育大会（岩手県）
平成13年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校総合体育大会（岐阜県） ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・服部豊氏（文京女子大学高）顧問に、中本令士氏（国士館高）を副部長に選出。
平成14年	<ul style="list-style-type: none"> ・高円宮牌を賜る ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・全国高校総合体育大会（茨城県） ・高円宮殿下、同妃殿下御臨席
平成15年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・下屋浩実（高山西高）を副部長に選出 ・雨宮建次郎（日工大付属東京工業高）4代目専門委員長に選出 ・全国高校総合体育大会（長崎県） ・高円宮妃殿下御臨席
平成16年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・中元令士氏（国士館高）顧問に、長塙 紘氏（国際基督教大学高）を副部長に選出 ・高円宮妃殿下御臨席
平成17年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・全国高校総合体育大会（千葉県） ・高円宮妃殿下御臨席
平成18年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・全国高校総合体育大会（奈良県） ・高円宮妃殿下御臨席
平成19年	<ul style="list-style-type: none"> ・全国高校選抜大会（静岡県・掛川市） ・下屋浩実氏（高山西高）6代目部長に、住友和雄氏（徳島工業高）5代目委員長に選出

専門部役員名簿

平成18年12月現在

役職名	氏名	勤務先		学校名	電話	FAX
部長	松崎 洋右	④330-8567	埼玉県さいたま市大宮区堀之内1-615	大宮開成高	048-641-7161	048-647-8881
副部長	下屋 浩実	④506-0059	高山市下林町353	高山西高	0577-32-2590	0577-33-9911
	長埜 紘	④184-8503	東京都小金井市東町1-1-1	国際基督教大学高	0422-33-3401	0422-33-3376
委員長	雨宮建次郎	関東	④153-8508 東京都目黒区駒場1-35-32	日工大付属東京工業高	03-3467-2130	03-3467-2245
副委員長 競技審査委員会	住友 和雄	四国	④770-0006 徳島市北矢三町2-1-1	徳島工業高	088-631-4185	088-631-1110
	水上 英彦	東海	④416-8555 静岡県富士市平垣町1-1	富士見高	0545-61-0250	0545-63-5040
常任委員会	競技委員長	小幡 正徳	北海道 ④005-0841 北海道札幌市南区石山1条2丁目15-1	札幌啓北商業高	011-591-2021	011-591-2023
	競技委員	手塚 義浩	東北 ④030-0921 青森県青森市原別3-1-1	青森東高	017-736-2440	017-736-3091
	強化委員長	杉浦 成利	北信越 ④939-0743 下新川郡朝日町道下603	泊高	0765-82-1191	0765-82-1192
	審査委員	小野寺長久	関東 ④176-0021 東京都練馬区貫井3-45-19	都立第四商業高	03-3990-4211	03-3926-7040
	強化委員	河合 徳之	東海 ④433-8567 静岡県浜松市初生町1150	浜松工業高	053-436-1101	053-437-9988
	総務委員長	佐幸 修	近畿 ④545-0002 大阪府大阪市阿倍野区天王寺南2-8-19	大阪女子高	06-6719-2801	06-6714-0045
	総務委員	山本 一博	中国 ④742-1502 山口県熊毛郡布施町大字波野195	田布施農業高	0820-52-2157	0820-53-0036
	審査委員	本田 廣司	四国 ④769-2302 香川県さぬき市長尾西475	香川東部養護学高	0879-52-2581	0879-52-2597
	審査委員長	北原 茂	九州 ④862-0970 熊本県熊本市渡鹿9-1-1	東海大第二高	096-382-1146	096-385-7988
	総務	田中 伸周	17.18年 ④849-3193 佐賀県唐津市巖木町巖木727	巖木高	0955-63-2535	0955-51-5021
事務局	総務	高橋 孝之	18.19年 ④343-0024 埼玉県越ヶ谷2788-1	越ヶ谷高	048-965-3421	048-960-1184
	局長	宮崎 利帳	関東 ④330-8567 埼玉県さいたま市大宮区堀之内1-615	大宮開成高	048-641-7161	048-647-8881
	局員	松宮 博	④344-0037 埼玉県春日部市上大増新田213	春日部共栄高	048-737-7611	048-737-8093
	局員	青木 昭	④322-0002 栃木県鹿沼市千渡2050	鹿沼東高	0289-62-7051	0289-64-7471
顧問	局員	小黒 顕	近畿 ④654-0007 兵庫県神戸市須磨区宝田町2-1-1	滝川高	078-732-1625	078-732-7391
	清本 修	④731-0305	広島県安芸高田市八千代町上根827-2	元専門委員長	0826-52-3606	
	藪内 徹	④526-0021	滋賀県長浜市八幡中山町1079	元専門委員長	0749-62-4632	
	桑ヶ谷 森男	④196-0024	東京都昭島市宮沢町2-26-18	元専門副部長	042-545-2453	
	服部 豊	④113-8667	東京都文京区本駒込6-18-3	元専門副部長	03-3964-5301	
	吉田 悠記	④454-0962	名古屋市中川区戸田3-911	元専門副部長	052-301-7261	
	田中 康彦	④483-8148	江南市寄木町天道75	元専門委員長	0587-55-5056	
監事	中元 令士	④154-8553	東京都世田谷区若林4-32-1	国士館高	03-5481-3131	
	田中 邦幸	関東	④342-0613 那須郡馬頭町馬頭1299-2	馬頭高	0287-92-2009	0287-92-5749
	松本 直樹	関東	④650-0006 神戸市中央区諏訪山町6-1	神戸山手女子高	078-341-6050	078-341-1882

ブロック役員名簿

平成18年12月現在

地区	役職名	氏名	勤務校	電話番号	FAX番号	住所
北海道	専門委員長	小幡 正徳	札幌啓北商業	011-591-2021	011-591-2023	札幌市南区石山1条2-15-1
	競技委員長	行場 義修	帯広工業高校	0155-48-5650	0155-48-2680	帯広市南町南8線西24-1
	審判委員長	原田 浩明	札幌白石高校	011-872-2071	011-872-2072	札幌市白石区北川2261
	強化委員長	鈴木 隆行	旭川北高校	0166-51-4620	0166-51-2818	旭川市花咲町3丁目
	総務委員長	小幡 正徳	札幌啓北商業	011-591-2021	011-591-2023	札幌市南区石山1条2-15-1
東 北	専門委員長	手塚 義浩	青森東高	017-736-2440	017-736-3091	青森市原別3丁目1-1
	競技委員長	佐藤 誠男	秋田南高校	018-833-7431	018-831-6196	秋田市仁井田緑町4-1
	審判委員長	日野 正晴	鶴岡北高校	0235-22-2262	0235-24-6101	鶴岡市若葉町16-5
	強化委員長	宗像 孝幸	田村高校	0247-62-2185	0247-62-7785	田村郡三春町字持合畠135
	総務委員長	白幡 秀人	米谷工業高校	0220-42-2170	0220-42-2170	登米郡東和町米谷字古館88
関 東	専門委員長	千葉 浩彦	住田高校	0192-48-3141	0192-46-3144	気仙郡住田町世田米字川口12-1
	競技委員長	小野寺 長久	第四商業高校	03-3990-4221	03-3926-7040	練馬区貫井3-45-19
	審判委員長	吉成 謙	農林高校	055-276-2611	055-279-1413	甲斐市西八幡4533
	強化委員長	高橋 孝之	越ヶ谷高校	048-965-3421	048-960-1184	越谷市越ヶ谷2788-1
	総務委員長	新井 武実	千葉黎明高校	043-443-3221	043-443-3443	千葉県八街市八街は625
北信越	専門委員長	池田 幸一	横浜高校	045-781-3396	045-785-1541	横浜市金沢区能見台通46-1
	競技委員長	松宮 博	春日部共栄	048-737-7611	048-737-8093	春日部市上増新田213
	審判委員長	柳原 忠夫	篠ノ井高校	026-292-0066	026-292-3196	長野市篠ノ井布施高田1161-2
	強化委員長	小西 真人	敬和学園高校	025-259-2391	025-259-7281	新潟市太天浜325
	総務委員長	田中 真徳	丹南高校	0778-62-2112	0778-62-2102	鰐江市熊田町10-7
東 海	専門委員長	山首 一恵	金沢向陽高校	076-258-2355	076-258-3592	金沢市大場町東590
	競技委員長	杉浦 成利	泊高校	0765-82-1191	0765-82-1192	下新川郡朝日町道下603
	審判委員長	河合 徳之	浜松工業高校	053-436-1101	053-437-9988	浜松市初生町1150
	強化委員長	前田 章宏	東海学園高校	052-801-6222	052-804-0647	名古屋市天白区中平2-901
	総務委員長	蟹江 信介	高山西高校	0577-32-2590	0577-33-9911	高山市下林町353
近畿	専門委員長	新海 輝夫	三河高校	0564-48-5211	0564-48-5300	岡崎市岡町字原山12-10
	競技委員長	浅尾 綾	四日市北高校	0593-63-8110	0593-63-8116	四日市市大字茂福字横座668-1
	審判委員長	川島 通生	府立工業高校	0773-27-5161	0773-27-5162	京都府福知山市大字石原小字上野45
	強化委員長	藤井 良明	八日市南高校	0748-22-1513	0748-23-2151	八日市市春日町1-15
	総務委員長	澤野 元男	大阪高校	06-6340-3031	06-6349-3719	大阪市東淀川区相川2-18-51
中 国	専門委員長	渥 充	草津東高校	075-564-4681	077-562-1601	草津市西渥川2-8-65
	競技委員長	藤川 穀	岸和田産業高校	0724-22-4861	0724-22-6111	岸和田市別所町541
	審判委員長	小黒 訓	滝川高校	078-732-1625	078-732-7391	兵庫県神戸市須磨区宝田町2-1-1
	強化委員長	山本 一博	田布施農業高校	0820-52-2157	0820-53-0036	熊毛郡田布施町大字波野195
	総務委員長	加藤 秀人	備前緑用高校	0869-63-0315	0869-64-4260	備前市西片山91-1
四 国	専門委員長	山根 俊一	倉吉農業高校	0858-28-1341	0858-28-1342	倉吉市大谷166
	競技委員長	金川 真二	吉田高校	0826-42-0031	0826-42-0207	安芸高田市吉田町吉田719-3
	審判委員長	岡田 正	松江東高校	0852-27-3700	0852-27-3703	松江市西川津町字宮尾510
	強化委員長	本田 廣司	東部養護学校	0879-52-2581	0879-52-2597	香川県さぬき市長尾西475
	総務委員長	柏原 敏宏	高松西高校	087-882-6411	087-882-6413	高松市鬼無町山口257-1
九 州	専門委員長	宮武 孝明	観音寺第一高	0875-25-4155	0875-25-4145	観音寺市観音寺甲648-1
	競技委員長	阿部 肇	徳島東工業高	088-653-3274	088-653-3296	徳島市大和町2-2-15
	審判委員長	三島 英美	徳島工業高校	088-631-4185	088-631-1110	徳島市北矢三町2丁目1-1
	強化委員長	田中 伸周	厳木高校	0955-63-2535	0955-51-5021	佐賀県東松浦郡厳木町下厳木727
	総務委員長	山根 真樹	小倉南高校	093-641-2293	093-941-3435	北九州市小倉南区藤見1-9-1
	専門委員長	堤 幸祐	別府溝部学園高	0977-67-6908	0977-67-8255	別府市大字野田78
	競技委員長	藤岡 晋三	大分東明高校	0975-35-0201	0975-35-2660	大分市千代町2丁目4-4
	審判委員長	島本 芳久	大村工業高校	0957-52-3772	0957-52-3773	大村市森園町1079-3

専門部 部長名簿

平成18年12月現在

都道府県	氏 名	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
1 北海道	金間 正克	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
2 青森	小笠 原勉	02H06	県立 名久井農業高	039-0502	三戸郡名川町下名久井字下諫訪平1番地	0178-76-2215	0178-76-2234
3 岩手	永野 章	03H03	県立 住田高	029-2311	気仙郡住田町篠田米字川口12の1	0192-46-3141	0192-46-3144
4 宮城	入間 川正	04H04	米谷工業高	017-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2170
5 秋田	神居 隆	05H03	県立 大館鳳鳴高	017-0813	大館市金坂後6番	0186-42-0002	0186-42-9000
6 山形	伊藤 美喜雄	06H04	県立 鶴岡北高	997-0037	鶴岡市若葉町16-6	0235-22-2262	0235-24-6101
7 福島	斎藤 久男	07H01	県立 田村高	963-7763	田村郡三春町字持合畑88-1	0247-62-2185	0247-62-7785
8 茨城	北島 瑞男	08H01	水城	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	0292-47-6509	029-248-7252
9 栃木	石川 由次	09H06	県立 鹿沼東	322-0002	鹿沼市千渡2050	0287-62-7051	0287-65-7471
10 群馬	平澤 明	10H12	市立 前橋高	371-0051	前橋市上細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
11 埼玉	北原 正彦	11H12	県立 宮代高	345-0814	南埼玉郡宮代町字東611	0480-32-4388	0480-36-1016
12 千葉	高橋 修		県立 野田北高	278-0046	野田市谷津713	04-7125-4108	04-7123-7108
13 東京	長埜 紘	13H20	国際基督教大学高	184-8503	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	0422-33-3376
14 神奈川	熊谷 和久	14H06	市立 横須賀総合高	239-0831	横須賀市久里浜6-6-1	046-833-4111	046-833-4555
15 山梨	高瀬 孝人	15H01	県立 甲府第一高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	0552-53-3527
16 新潟	小西二巳夫	16H02	敬和学園高	950-3112	新潟市太夫浜325	025-259-2391	025-259-7281
17 長野	高山 吉富	17H01	県立 篠ノ井高	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161番地2	026-292-0066	026-292-9136
18 富山	木下 晶	18H06	県立 泊高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
19 石川	田畠 哲郎	19H01	県立 能登青翔高	928-0331	鳳珠都能登町字柳田イ部3番地	0768-76-1211	0768-76-0079
20 福井	田中 恵子	20H01	県立 丹南高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
21 静岡	竹谷 勝	21H02	富士見高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
22 愛知	松本 正孝	22H01	愛知高	464-8520	名古屋市千種区光ヶ丘2-11-41	052-721-1521	052-723-2254
23 三重	松ヶ谷 光廣	23H04	県立 四日市四郷高	510-0947	四日市市八王子町字高花1654	0593-22-1145	0593-22-5390
24 岐阜	下屋 浩実	24H02	高山西高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
25 滋賀	今宿 等	25H12	市立 草津東	525-0025	草津市西渋川2-8-65	077-564-4681	077-562-1601
26 京都	倉垣 誠	26H08	府立 府立工業高	620-0804	福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
27 大阪	榎 哉二	27H02	大阪高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3719
28 兵庫	橋口 誠	28H03	甲南高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
29 奈良	武村 純一	29H01	奈良高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30 和歌山	平松 正昭	30H01	県立 貴志川高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
31 鳥取	大阪芳郎	31H02	県立 倉吉農業高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
32 島根	山田 忠男	32H01	県立 松江東高	690-0823	松江市西川津町宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
33 岡山	小林 義明	33H02	岡山県共生高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
34 広島	溝本 憲昭	34H28	県立 吉田高	731-0501	安芸高田市吉田町吉田713-9	0826-42-0031	0826-42-0207
35 山口	木橋 悅二	35H01	県立 久賀高	742-2301	大島郡久賀町第4851-2	0820-72-0024	0820-72-0096
36 香川	中村 修	36H01	県立 高松西高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
37 徳島	多田 実		県立 城西高	770-0046	徳島市鮎喰町2丁目1	088-631-5138	088-633-0453
38 愛媛	愛媛県アーチェリー		愛媛県アーチェリー協会	791-0242	松山市北梅本町940 森貞浩方	089-975-1447	
39 高知	松山 広美		高知県アーチェリー協会	783-0006	南国市篠原1435-1職員住宅201号	088-864-4418	
40 福岡	佐竹 則昭	40H02	県立 折尾高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	092-691-3561	093-691-9529
41 佐賀	吉富 啓子	41H02	県立 厳木高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021
42 長崎	松山秀則	42H01	県立 大村工業高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3720
43 熊本	川口 一敏	43H05	県立 氷川高	869-4201	八代郡鏡町大字鏡村937	0965-52-3611	0965-52-5161
44 大分	衛藤 公博	44H01	私立 別府溝部学園高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
45 宮崎	荒瀬悟明		宮崎アーチェリー協会	880-0926	宮崎市月見ヶ丘4丁目3-3	0985-59-9173	0985-59-9173
46 鹿児島	瀬田 豊文	46H02	県立 鹿児島工業高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
47 沖縄	神元 正勝	47H03	県立 北谷高	904-0103	北谷町字桑江414	098-936-1010	098-936-1426

専門部 委員名簿

平成18年12月現在

	都道府県	氏 名	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
1	北海道	小幡 正徳	01H02	市立 札幌啓北商業高	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
2	青森	手塚 義浩	02H08	県立 青森東高	030-0921	青森市原別3丁目1-1	017-736-2440	017-736-3091
3	岩手	千葉 浩彦	03H03	県立 住田高	029-2311	氣仙郡住田町世田米字川口12の1	0192-46-3141	0196-46-3144
4	宮城	白幡 秀人	04H04	県立 米谷工業高	987-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
5	秋田	佐藤 誠男	05H02	県立 秋田南高	010-1437	秋田市仁井田緑町4-1	018-833-7431	018-831-6196
6	山形	日野 正晴	06H14	県立 鶴岡北高	997-0037	鶴岡市若葉町16-5	0235-22-2262	0235-24-6101
7	福島	宗像 孝幸	07H01	県立 田村高	963-7763	田村郡三春町字持合畑88-1	0247-62-2185	0247-62-7785
8	茨城	奥倉 裕	08H01	水城高	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	029-247-6509	029-248-7252
9	栃木	青木 昭	09H06	県立 鹿沼東高	322-0002	鹿沼市千渡2050	0289-62-7051	0289-65-7471
10	群馬	樋口 雅一	10H12	市立 前橋高	371-0051	前橋市細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
11	埼玉	橋本 浩	11H12	県立 宮代高	345-0814	南埼玉郡宮代町字東611	0480-32-4388	0480-36-1016
12	千葉	佐藤 伸司	12H08	県立 生浜高	260-0623	千葉市中央区塙田町372	043-266-4591	043-264-8636
13	東京	渡辺 忠雄	13H05	日工大附属東京工業高	153-8508	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2245
14	神奈川	川村 栄一	14H06	市立 横須賀総合高	239-0831	横須賀市久里浜6-1-1	046-833-4111	046-833-4555
15	山梨	吉成 謙	15H04	農林高	400-0117	山梨県甲斐市西八幡4533	055-276-2611	055-279-1413
16	新潟	小西 真人	16H02	敬和学園高	950-3112	新潟市太夫浜325	025-259-2391	025-259-7281
17	長野	柳原 忠夫	17H01	県立 篠ノ井高	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161番地2	026-292-0066	026-292-9136
18	富山	杉浦 成利	18H06	県立 泊高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
19	石川	山首 一恵	19H02	県立 金沢向陽高	920-3121	金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	0762-58-3592
20	福井	田中 真徳	20H01	県立 丹南高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
21	静岡	水上 英彦	21H02	富士見高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
22	愛知	萩原 茂樹	22H03	弥富高	498-0048	海部郡弥富町稻吉2丁目52番地	0567-68-2233	0567-68-4492
23	三重	浅尾 紗綾		県立 四日市北高	510-8027	四日市市茂福横座668-1	0593-63-8110	0593-63-8116
24	岐阜	蟹江 信介	24H02	高山西高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
25	滋賀	澤井 裕之	25H11	県立 北大津高	520-0246	大津市仰木里1-23-1	077-573-5881	077-573-7076
26	京都	川島 通生	26H08	府立 府立工業高	620-0804	京都市福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
27	大阪	澤野 元男	27H02	大阪高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3714
28	兵庫	岡 芳樹	28H03	甲南高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
29	奈良	朝井 與志雄	29H01	県立 奈良高	630-8113	奈良市法蓮町836	0742-23-2855	0742-23-4395
30	和歌山	吉田 慶二	30H01	県立 貴志川高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0739-64-2501
31	鳥取	山根 俊一	31H02	県立 倉吉農業高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
32	島根	岡田 正	32H01	県立 松江東高	690-0823	松江市西川津町宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
33	岡山	加藤 秀人	33H07	県立 備前緑陽高	705-8507	備前市西片上91-1	0869-63-0315	0869-64-4260
34	広島	金川 真二	34H28	県立 吉田高	731-0501	安芸高田市吉田町吉田713-9	0826-42-0031	0826-42-0207
35	山口	山本 一博	35H05	県立 田布施農業高	742-1502	熊毛郡田布施町大字波野195	0820-52-2157	0820-53-0036
36	香川	宮武 孝明	36H02	県立 観音寺第一高	768-0060	観音寺市鶴音寺町甲648-1	0875-25-4155	0875-25-4145
37	徳島	住友 和雄	37H03	県立 徳島工業高	770-0006	徳島市北矢三町2丁目1番1号	088-631-4185	088-631-1110
38	愛媛	愛媛県アーチェリー協会会長			791-0242	松山市北梅本町940	089-975-1447	
39	高知	松山 広美		高知県アーチェリー協力	783-0006	南国市篠原1435-1職員住宅201号	088-864-4418	
40	福岡	中島 克哉	40H02	県立 折尾高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	093-691-3561	093-691-9529
41	佐賀	田中 伸周	41H02	県立 厳木高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021
42	長崎	嶋本 芳久	42H01	県立 大村工業高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3720
43	熊本	北原 茂	43H03	東海大学第二高	862-0970	熊本市大江町渡鹿9-1-1	096-382-1146	096-385-2161
44	大分	堤 幸祐	44H01	私立 別府溝部学園高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
45	宮崎	荒瀬 悟明		宮崎県アーチェリー協会	880-0926	宮崎市月見ヶ丘4丁目3-3	0985-59-9173	0985-59-9173
46	鹿児島	岩崎 健二	46H02	県立 鹿児島工業高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
47	沖縄	島袋 盛範	47H02	県立 宜野湾高	901-2224	宜野湾市真志喜2-25-1	098-897-1020	098-897-3045

学校登録一覧表

平成18年12月現在

(太字都道県名は、高体連加盟)

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
北海道 44校	01H01	道立 札幌月寒高等学校	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目	011-851-3111	011-851-3112
	01H02	市立 札幌啓北商業高等学校	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15番1号	011-591-2021	011-591-2023
	01H03	道立 小樽潮陵高等学校	047	小樽市潮見台2丁目1番1号	0134-22-0754	0134-22-5954
	01H04	函館ラサール高等学校	041-8765	函館市日吉町1丁目12番1号	0138-52-0365	0138-54-0365
	01H05	道立 室蘭清水丘高等学校	051-0034	室蘭市増市町2丁目	0143-23-1221	0143-23-1746
	01H06	道立 登別青嶺高等学校	059-0027	登別市青葉町42番地1	0143-85-8586	0143-85-8586
	01H07	道立 旭川南高等学校	071-01	旭川市西神楽4線6号	0166-65-8770	0166-65-8772
	01H08	道立 清水高等学校	089-0123	上川郡清水町北2条西2丁目2番地	01566-2-2157	01566-2-2097
	01H09	道立 帯広三条高等学校	080-2473	帯広市西23条2丁目12番地	0155-37-5501	0155-37-5503
	01H10	道立 帯広工業高等学校	080-0833	帯広市南町南8線西24-1	0155-48-5650	0155-48-2680
	01H11	道立 幕別高等学校	089-0615	中川郡幕別町南町81番地	0155-54-2977	0155-54-2159
	01H12	道立 札幌西高等学校	064	札幌市中央区宮ノ森4条8丁目1番地	011-611-4401	011-611-4403
	01H13	道立 札幌啓成高等学校	004-0004	札幌市厚別区厚別東4条8丁目6-1	011-898-2311	011-898-2313
	01H14	道立 札幌開成高等学校	065-8558	札幌市東区北22条東21丁目	011-781-8171	011-781-5629
	01H15	道立 旭川北高等学校	070-0901	旭川市花咲町3丁目	0166-51-4620	0166-51-2818
	01H16	道立 旭川工業高等学校	078-8306	旭川市西神楽3線5号	0166-65-4115	0166-65-4127
	01H17	道立 旭川実業高等学校	071	旭川市末広8条1丁目	0166-51-1246	0166-51-9515
	01H18	鹿追高等学校	081-02	阿東郡鹿追町西町1-8	01566-6-3011	01566-6-3012
	01H19	紋別北高等学校	094	紋別市落石町1丁目3番18号	01582-4-5285	01582-4-5285
	01H20	道立 紋別南高等学校	094	紋別市南が丘町6丁目3番47号	0152-3-3068	01582-3-3974
	01H21	北海道室蘭東高等学校	050	室蘭市高砂町4丁目35-1	0143-44-3312	0143-44-4783
	01H22	東海大学第四高等学校	005	札幌市南区南沢517-1-1	011-571-5175	
	01H23	道立 帯広柏高等学校	080	帯広市東5条南2丁目	0155-23-5897	0155-23-8796
	01H24	道立 丘珠高等学校	065	札幌市東区北丘1条2-589-1	011-782-2911	011-782-8370
	01H25	私立 札幌第一高等学校	062	札幌市豊平区月寒西1条9丁目	011-851-9361	011-856-5151
	01H26	芽室高等学校	082	河西郡芽室町東芽室南2線33	0155-62-2625	0155-62-2624
	01H27	私立 札幌光星高等学校	065	札幌市東区北13条東9丁目16番	011-711-7161	011-711-7330
	01H28	道立 追分高等学校	059-19	勇払郡分町本町7-8	01452-5-3657	01452-5-2555
	01H29	道立 音更高等学校	080-05	河東郡音更町駒場西1	0155-44-2201	0155-44-2010
	01H30	道立 音更高等学校	080-05	河東郡音更町駒場西1	0155-44-2201	0155-44-2010
	01H31	道立 帯広柏葉高等学校	082	帯広市東5条南2丁目1	0155-23-5897	0155-23-8796
	01H32	道立 札幌光星高等学校	065	札幌市東区13条9丁目	011-711-7161	011-711-7330
	01H33	道立 札幌新陽高等学校	005	札幌市南区澄川5条7丁目1番1号	011-821-6161	011-813-4009
	01H34	道立 静内高等学校	056-0023	静内郡静内町ときわ町1-1-1	01464-2-1075	01464-2-1077
	01H35	道立 北海道白老東高等学校	059-0903	白老町日の出町5丁目17-3	0144-82-4762	0144-82-4280
	01H36	市立 札幌平岸高等学校	062-0935	札幌市豊平区平岸5条18丁目	011-812-2010	011-812-2049
	01H37	県立 旭川大学	079-8505	旭川市氷山7条16丁目	0166-48-1221	0166-48-0740
	01H38	北海道栄高等学校	059-0998	白老郡白老町緑丘4-676	0144-82-2185	0144-82-3214
	01H39	道立 札幌白石高等学校	033-0859	札幌市白石区川北2261	011-872-2071	011-872-2072
	01H40	道立 札幌篠路高等学校	022-8053	札幌市北区篠路町篠路372-67	011-771-2004	011-711-2013
	01H41	私立 藤女子高等学校	001-0016	札幌市北区北16条西2丁目21	011-707-5003	011-746-7371
	01H42	道立 北海道札幌東高等学校	003-0809	札幌市白石区菊水9条3丁目	011-831-6332	011-811-3952
	01H43	道立 札幌西陵高等学校	063-0023	札幌市西区3条4丁目2-1	011-663-7121	011-663-7122
	01H44	道立 石狩南高等学校	061-3208	石狩市花川南8条5丁目1番	0133-73-4181	0133-73-4184
青森県 15校	02H01	県立 三木農業高等学校	034-8578	十和田市相坂字高清水78	0176-23-5341	0176-23-2141
	02H02	県立 藤崎園芸高等学校	038-3802	藤崎町藤崎字下袋7の10	0172-75-3332	0172-75-3334
	02H03	八戸工業大学第二高等学校	031-8505	八戸市大字妙字大開67	0178-25-4311	0178-25-0568
	02H04	県立 むつ工業高等学校	039-51	むつ市文京町22の7	0175-24-2164	0175-29-2893
	02H05	八戸工業大学第一高等学校	031-0822	八戸市白銀町右岩淵通7-10	0178-33-5121	0178-34-3942
	02H06	県立 名久井農業高等学校	039-0502	三戸郡名川町下名久井字下諏訪平1番地	0178-76-2215	0178-76-2234
	02H07	県立 青森西高等学校	038-0042	青森市新城字平岡226の20	017-788-0372	017-788-4411
	02H08	県立 青森東高等学校	030-0921	青森市原別3-1-1	017-736-2440	017-736-3091

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	02H09	青 森 山 田 高	030-0843	青森市青葉3丁目13-40	017-739-2001	017-739-1950
	02H10	県立 青 森 中 央 高	030-0842	青森市大字浦町字奥野428番地	017-739-5135	017-729-3488
	02H11	県立 五 所 川 原 農 林 高	037	五所川原市大字一野坪字朝日田2-37	0173-37-2121	
	02H12	県立 八 戸 南 高	031	八戸市大字鷲町小舟渡平2-291	0178-34-6001	
	02H13	県立 五 戸 高	039-1569	三戸郡五戸町字根岸6番地	0178-62-2828	0178-62-7069
	02H14	県立 七 戸 高	039-2516	上北郡七戸町字館野47-31	0176-62-4111	0176-62-4112
	02H16	県立 柏 木 農 業	036		0172-44-3015	0172
岩手県 5校	03H01	県立 盛 岡 工 業 高	020-0841	盛岡市羽場18-11-1	0196-38-3141	0196-38-8134
	03H02	盛岡白百合学園高	020-0004	盛岡市山岸4丁目29番16号	019-661-6330	019-661-9923
	03H03	県立 住 田 高	029-2311	気仙郡住田町世田米字川口12の1	0192-46-3141	0192-46-3144
	03H04	私立 花 卷 東 高	025-0066	花巻市松園町55番地1	0198-24-2825	0198-41-1136
	03H05	県立 種 市 高	028-7912	九戸郡種市町338地割94-110	0194-65-2147	0194-65-5654
宮城県 6校	04H01	市立 仙 台 工 業 高	983-8543	仙台市宮城野区東宮城野3-1	022-237-5341	022-283-6478
	04H02	東 陵 高	988-0812	気仙沼市字大峠山1番1号	0226-23-3100	0226-23-3107
	04H03	宮 城 工 業 高 専	981-1239	名取市愛島塙手字野田48	022-381-0266	022-381-0267
	04H04	米 谷 工 業 高	980-0902	登米郡東和町米谷古館88	0220-42-2170	0220-42-2171
	04H05	県立 農 業 高	981-1201	名取市下増田字広浦20-1	022-384-2511	022-384-2512
	04H06	聖 和 学 園 高	984-0047	仙台市若林区木ノ下3-4-1	022-257-777	022-257-1484
秋田県 6校	05H01	県立 大 館 東 高	017	大館市积迦内字獅子ヶ森1番地	0186-48-6007	
	05H02	県立 秋 田 南 高	010-1437	秋田市仁井田線町4-1	018-833-7431	018-831-6196
	05H03	県立 大 館 凤 鳴 高	017-0813	大館市金坂後6番	0186-42-0002	0186-42-9000
	05H04	県立 平 成 高	013-0101	平鹿郡平鹿町上吉田間内字角掛60	0182-24-1195	0182-56-3008
	05H05	県立 横 手 城 南 高	013-0016	横手市根岸町2-14	0182-32-4007	0182-32-4009
	05H06	県立 大 曲 高	014-0061	大曲市栄町6-7	0187-63-4004	0187-63-4005
	05H07	県立 米 内 沢 高	018-4301	北秋田市米内沢字長野塙118-1	0186-72-4535	0186-72-4536
	05H08	県立 和 田 工 業 高	010-0902	秋田市保子野金砂町3-1	018-823-7326	018-823-7328
山形県 7校	06H01					
	06H02	天 真 学 園 高	998-0031	酒田市浜田1丁目3-47	0234-22-4733	0234-22-4734
	06H03	県立 鶴 岡 南 高	997-0037	鶴岡市若葉町26-31	0235-22-0061	0235-24-5941
	06H04	県立 鶴 岡 北 高	997-0037	鶴岡市若葉町16-6	0235-22-2262	0235-24-6101
	06H05	県立 鶴 岡 家 政 高	997	鶴岡市新形町16-20	0235-22-1200	0235-22-5904
	06H06	県立 鶴 岡 工 業 高	997-0036	鶴岡市家中新町8-1	0235-22-5505	0235-25-4209
	06H07	県立 山 添 高	997-03	東田川郡櫛引町大字上山添字文栄38番地	0235-57-2100	0235-57-2101
	06H08	鶴 岡 中 央 高	997-0017	鶴岡市大字大宝寺字日本国410	0235-25-5724	0235-25-5734
	06H09	県立				
福島県 5校	07H01	県立 田 村 高	963-7763	田村郡三春町字持合畠88-1	0247-62-2185	0247-62-7785
	07H02	県立 福 島 高	960-8002	福島市森合町5番72号	024-535-2391	024-535-2392
	07H03	県立 福 島 南 高	960-8141	福島市渡利字七社宮17	024-523-4740	024-521-6400
	07H04	県立 須 賀 川 桐 陽 高	962	須賀川市陣場町128	0248-75-2151	0248-72-7979
	07H05	私立 岩 瀬 農 業 高	969-04	岩瀬郡鏡石町大字鏡田字桜町207	0248-62-3145	
茨城県 2校	08H01	県立 水 城 高	310-0804	水戸市白梅2丁目1番地45号	029-247-6509	029-248-7252
	08H02	県立 波 崎 高	314-0343	鹿島郡波崎町土合本町2-9928-1	0479-48-0044	0479-48-4679
栃木県 7校	09H01	県立 馬 頭 高	329-0613	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	0287-92-5749
	09H02	県立 黒 羽 高	324	那須郡黒羽町前田780	0287-54-0179	0287-54-4179
	09H03	県立 烏 山 高	321	那須郡烏山町中央3丁目9番8号	0287-83-2075	0287-83-0145
	09H04	烏 山 女 子 高	321-0628	那須郡烏山町金井1-4-23	0287-82-2156	0287-84-0196
	09H05	高 体 連	324-0613	那須郡馬頭町馬頭1299-2	0287-92-2009	0287-92-5749
	09H06	県立 鹿 沼 東 高	322-0002	鹿沼市千波2050	0289-62-7051	0289-65-7471
	09H07	個 人			0289-62-7051	
群馬県 15校	10H01	県立 沼 田 女 子 高	378-0043	沼田市東倉内町753-3	0278-22-4495	0278-22-3249
	10H02	県立 藤 岡 北 高	375	藤岡市篠塚90	0274-22-2308	
	10H03	県立 沼 田 高	378-0054	沼田市西原新町1510番地	0278-23-1313	0278-22-4799
	10H04	県立 太 田 高	373-0033	太田市西本町12の1	0276-31-7181	0276-31-9161
	10H05	県立 安 中 実 業 高	379-0116	安中市安中1-2-8	027-381-0227	027-382-7207
	10H06	県立 館 林 女 子 高	374-0019	館林市尾曳町6番1号	0276-72-0139	0276-72-7112
	10H07	桐 生 西 高	376-0011	桐生市相生町3丁目551-1	0277-52-2455	0277-54-9763

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
埼玉県 13校	10H08	私立 高崎商科大学附属高	370-0803	高崎市大橋町237番地の1	0273-22-2827	0273-22-7591
	10H09	県立 新 島 高	379	安中市安中3702	0273-81-0240	0273-81-0630
	10H10	高 崎 東 高	370	高崎市元島名町1510	0273-52-1251	0273-53-0994
	10H11	私立 前 橋 育 英 高	371-0832	前橋市朝日が丘町13	0272-51-7087	0272-52-9419
	10H12	市立 前 橋 高	371-0051	前橋市上細井町2211-3	027-231-2738	027-234-9412
	10H13	市立 高崎経済大付属高	370-0081	高崎市浜川町1650-1	027-344-1230	027-344-4335
	10H14	私立 創 世 中 等 高	371-0034	前橋市昭和町3-7-27	027-231-8117	027-231-8107
	10H15	県立 安 中 総 合 学 園	379-0116	安中市安中1-2-8	027-381-0666	027-382-7207
	11H01	私立 大 宮 開 成 高	330-8567	大宮市堀之内1-615	048-641-7161	048-647-8881
	11H02	県立 豊 岡 高	358-0003	入間市豊岡1丁目15番1号	042-962-5216	042-960-1053
	11H03	県立 行 田 高	361	行田市大字長野1320番地	0485-56-6291	0485-50-1058
	11H04	県立 所 沢 中 央 高	359-0042	所沢市木下8丁目2番	042-995-6088	042-991-1009
	11H05	春 日 部 共 栄 高	344-0037	春日部市上大増新田213	048-737-7611	048-737-8093
	11H06	花 哀 德 栄 高	347-0032	加須市花崎江橋519	0480-65-7181	0480-65-0778
	11H07	県立 上 尾 橋 高	362-0059	上尾市大字平方2187番地	048-725-3725	048-780-1010
	11H08	県立 新 座 高	352	新座市池田1-1-2	0484-79-5110	
	11H09	県立 日 高 高	350-1203	入間郡日高町旭ヶ丘806	0429-89-7920	0429-85-4412
	11H10	県立 北 本 高	364-0003	北本市古市場1丁目152番	0485-92-2200	0485-90-1009
	11H11	私立 栄 東 高	330-0000	大宮市砂町2丁目77番地	048-651-4050	048-652-9435
	11H12	県立 宮 代 高	345-0814	南埼玉郡宮代町字東611	0480-32-4388	0480-36-1016
	11H13	県立 越 ケ 谷 高	343-0027	越ヶ谷市越ヶ谷2788-1	048-965-3421	048-960-1184
千葉県 14校	12H01	県立 京 葉 高	290-0034	市原市島野222	0436-22-2196	0436-25-1368
	12H02	千 葉 英 和 高	276-0028	八千代市村上709-1	047-484-5141	047-487-5466
	12H03	県立 津 田 沼 高	275-0025	習志野市秋津5-9-1	047-451-1177	047-454-3242
	12H04	県立 磐 迂 高	261-0012	千葉市美浜区磐辻2丁目7番1号	043-277-2211	043-278-2071
	12H05	県立 松 戸 矢 切 高	271-0095	松戸市中矢切454番地	047-368-4741	047-368-4396
	12H06	県立 姉 崎 高	290-0111	市原市姉崎2632番地	0436-62-0601	0436-61-7679
	12H07	県立 流 山 中 央 高	270-0122	流山市大畔275-5	0471-54-3551	0471-55-6991
	12H08	県立 生 浜 高	260-0823	千葉市塙田町372	043-266-4591	043-264-8636
	12H09	県立 船 橋 高	273-0002	船橋市東船橋6丁目1番1号	047-422-2188	047-426-0422
	12H10	黎 明 高	298-1115	八街市八街ほ625	043-443-3221	043-443-3443
	12H11	拓 殖 大 学 紅 陵 高	292-8568	木更津市桜井1403番地	0438-37-2511	0438-36-7286
	12H12	県立 泉 高	265-0061	千葉市若葉区高根町875-1	043-228-2551	043-228-0240
	12H13	志 学 館 高	292-8568	木更津市真舟3丁目29番1号	0438-37-3131	0438-37-3133
	12H14	県立 国 府 台 高	272-0827	市川市国府台2-4-1	047-373-2141	047-373-7902
東京都 38校	13H01	東 京 学 園 高	153	目黒区下目黒6-12-25	03-3711-6641	
	13H02	都立 四 谷 商 業 高	165	中野区上鷺宮5-11-1	03-3990-4226	03-3926-7523
	13H03	明治大学付属中野高	164-0003	中野区東中野3丁目3番4号	03-3362-8704	03-3368-3113
	13H04	駒 場 東 邦 高	154-0001	世田谷区池尻4-5-1	03-3466-8221	03-3466-8225
	13H05	日工大付属東京工業高	153-8508	目黒区駒場1-35-32	03-3467-2130	03-3467-2245
	13H06	玉 川 学 園 高	194-8610	町田市玉川学園6丁目1番1号	042-739-8533	042-739-8559
	13H07	都立 山 崎 高	195-0074	町田市山崎町字9号1453-1	042-792-2891	042-794-0440
	13H08	学 習 院 高 等 科	171-0031	豊島区目白1丁目5番1号	03-3986-0221	03-5992-1016
	13H09	麻 布 高	106-0046	港区元麻布2-3-29	03-3446-6541	03-3444-2337
	13H10	獨 協 高	112-0014	文京区関口3-8-1	03-3943-3651	03-3943-9119
	13H11	慶 応 義 塾 女 子 高	108-0073	港区三田2丁目17番23号	03-5427-1674	03-5427-1675
	13H12	武 嵐 野 高	114-0024	北区西ヶ原4-56-20	03-3910-0151	03-5567-0487
	13H13	東 海 大 学 付 属 高 輪 台 高	108	港区高輪2-2-16	03-3448-4011	03-3448-4020
	13H14	早 稲 田 大 学 高 等 学 院	177-0044	練馬区上石神井3丁目31番1号	03-5991-4151	03-3928-4110
	13H15	城 北 高	174	豊島区目白5-23-5		03-3956-9779
	13H16	足 立 学 園 高	120	足立区千住旭町40-24	03-3888-5331	03-3888-6720
	13H17	淑 德 高	174-8643	板橋区前野町5-14-1	03-3969-7411	03-3558-7992
	13H18	都立 大 山 高	173	板橋区小茂根5-18-1	03-3958-2121	03-3959-8591
	13H19	昭 和 第 一 学 園 高	190	立川市柴町2-45-8	0425-36-1611	0425-37-6880
	13H20	国際基督教大学高	184-8503	小金井市東町1-1-1	0422-33-3401	0422-33-3376
	13H21	都立 第 四 商 業 高	176-0021	練馬区貫井3-45-19	03-3990-4221	03-3926-7040
	13H22	日 体 桜 華 女 子 高	189	東村山市富士見町2-5-1	0423-91-4133	0423-92-6424

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	13H23	明治学院東村山高	189-0024	東村山市富士見町1丁目12番3号	0423-91-2142	0423-91-5926
	13H24	都立 館 高	193-0944	八王子市館町1097番136	0426-63-3315	0426-62-9831
	13H25	大東文化学園高				
	13H26	藤村 女子 高				
	13H27	都立 野 津 田 高	194-01	町田市野津田町2000番	0427-34-2311	0427-34-9388
	13H28	都立 小 平 西 高	187	小平市小川町1-502-95	0423-45-1411	
	13H29	文 京 女 子 高	113-8667	文京区本駒込6-18-3	03-3946-5301	03-3946-5368
	13H30	私 立 国 土 館	154-8553	世田谷区若林4-32-1	03-5481-3131	03-5481-3149
	13H31	千 歳 高	157-0063	世田谷区粕谷3丁目8-1	03-3300-5235	03-3300-2306
	13H32	都立 晴 海 総 合 高	104-0053	中央区晴海1-2-1	03-3531-5021	03-3531-5024
	13H33	都立 松 が 谷 高	192-0354	八王子市松が谷1772	0426-76-1231	0426-75-1237
	13H34	明大中野八王子高	192-0001	八王子市戸吹町1100	0426-91-0321	0426-91-0988
	13H35	私 立 日 本 大 学 豊 山 高	112-0012	文京区大塚5丁目40-10	03-3943-2161	03-3943-1991
	13H36	都立 瑞 穂 農 芸 高	190-1211	西多摩郡瑞穂町石畑2027	042-557-0142	042-556-2439
	13H37	都立 向 丘 高	113-0023	文京区向丘1-11-18	03-3811-2022	03-3812-4055
	13H38	錦 城 高	187-0001	小平市大沼町2-633	042-341-0741	042-345-4255
神奈川県 22校	14H01	横 浜 高	236-0053	横浜市金沢区能見台通46-1	045-781-3396	045-785-1541
	14H02	相模女子大学高	228	相模原市文京2-1-1	0427-42-1442	
	14H03	県立 横 浜 緑 ケ 丘 高	231-0832	横浜市中区本牧緑ヶ丘37番地	045-621-8641	045-624-0765
	14H04	浅 野 高	221-0012	横浜市神奈川区子安台1-3-1	045-421-3281	045-421-4080
	14H05	三 浦 高	238-0031	横須賀市衣笠栄町3丁目80番地	0468-52-0284	0468-52-6980
	14H06	市立 横 須 賀 総 合 高	239-0831	横須賀市久里浜6-1-1	046-833-4111	046-833-4555
	14H07	県立 東 金 沢 高	236-0051	横浜市金沢区富岡東2丁目6番1号	045-774-1188	045-776-2357
	14H08	県立 小 田 原 城 内 高	250-0013	小田原市南町1-6-34	0465-23-3251	0465-23-6142
	14H09	県立 湘 南 高 通 信 制 少 年 工 科 校	238-0392	横須賀市幸浜2-1	0468-56-1291	0468-56-1291
	14H10	ア レ セ イ ナ 湘 南 高	253	茅ヶ崎市富士見町5番2号	0467-87-0132	0467-86-7350
	14H11	東 海 大 学 附 属 相 模 高	228-8515	相模原市相南3-33-1	0427-42-1251	0427-42-1159
	14H12	慶 応 義 塾 高	223-0061	横浜市港北区日吉4丁目1番2号	044-563-1111	
	14H13	横 浜 学 園 高	235-0021	横浜市磯子区岡村2丁目4番1号	045-751-6941	045-761-7956
	14H14	県立 永 谷 高	233-0016	横浜市港南区下永谷町1-28-1	045-824-2126	045-825-3605
	14H15	市立 南 高	233	横浜市港南区下永谷町2丁目1番1号	045-822-1910	
	14H16	県立 上 矢 部 高	245	横浜市戸塚区上矢部町3230	045-861-3500	045-862-6347
	14H17	鎌 倉 女 学 院 高	248	鎌倉市由比ヶ浜2-10-4	0467-25-2100	0467-25-1358
	14H18	県立 三 崎 水 産 高	240-0101	横須賀市長坂1-2-1	0468-56-3128	0468-57-6457
	14H19	県立 湯 河 原 高	259-0312	足柄下郡湯河原町吉浜1576-31	0465-63-1281	0465-62-0675
	14H20	県立 清 水 ケ 丘 高	232-0007	横浜市南区清水ヶ丘41番	045-242-1926	045-253-6393
	14H21	市立 南 高	233-0011	横浜市港南区東永谷2-1-1	045-822-1910	045-826-0818
	14H22	私 立 逗 子 開 成 高	249-8510	逗子市新宿2-5-1	046-871-2062	046-873-8459
山梨県 9校	15H01	県立 甲 府 第 一 高	400-0007	甲府市美咲2-13-44	0552-53-3525	0552-53-3527
	15H02	山 梨 英 和 高	400	甲府市愛宕町112	0552-52-6184	0522-51-7468
	15H03	甲 府 湯 田 高	400-0867	甲府市青沼3丁目10-1	0552-33-0127	0552-33-0129
	15H04	県立 農 林 高	400-01	中巨摩郡竜王町西八幡4533	0552-76-2611	055-279-1413
	15H05	県立 機 山 工 業 高	400	甲府市下飯田1丁目9番1号	0552-28-7281	
	15H06	私 立 山 梨 学 院 付 属 高	400	甲府市酒折3丁目3-1	0552-37-1047	0552-35-7091
	15H07	県立 甲 府 西 高	400	甲府市下飯田4-1-1	0522-28-5161	0552-28-5161
	15H08	県立 菊 崎 高		菊崎市若宮3丁目2-1	0551-22-2415	0551-22-2415
	15H09	県立 第 一 商 業 高	400	甲府市東光寺2丁目25-1	0552-35-2581	0552-35-2581
新潟県 13校	16H01	県立 長 岡 工 業 高	940-0084	長岡市幸町2丁目7番70号	0258-36-4510	0258-39-2054
	16H02	敬 和 学 園 高	950-3112	新潟市太夫浜325	025-259-2391	025-259-7281
	16H03	新潟産業大学附属高	945-1397	柏崎市大字安田2510番地2	0257-24-6644	0257-24-0386
	16H04	県立 新 潟 中 央 高	951	新潟市学校町通り2番地5317-1	025-229-2191	
	16H05	新潟県個人登録協会				
	16H06	県立 燕 工 業 高	959-1244	燕市大字東太田1066	0256-63-6354	0256-66-1295
	16H07	県立 卷 工 業 高	953-0043	西蒲原郡巻町堀山新田51-1	0256-72-2049	0256-72-1718
	16H08	県立 新 発 田 南 高	957-8567	新発田市大栄町3-6-6	0254-22-2178	0254-26-8397

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
新潟県	16H09	県立 新潟高	951-8127	新潟市関屋下川原町2-635	025-266-2131	025-267-7795
	16H10	県立 高志高	950-0926	新潟市高志1-15-1	025-286-6911	025-286-6979
	16H11	県立 吉田高	959-0265	燕市吉田東町16番1号	0256-93-3225	0256-93-5455
	16H12	県立 長岡向陵高		長岡市喜多町字川原1030-1	0258-29-1300	0258-29-3881
	16H13	私立 日本文理高	950-2035	新潟市新通1072	025-260-1000	025-260-5112
長野県 6校	17H01	県立 篠ノ井高	388-8007	長野市篠ノ井布施高田1161番地2	0262-92-0066	026-292-9136
	17H02	県立 長野南高	381-2214	長野市稻里町田牧字大北236-2	0262-84-8850	026-291-1552
	17H03	県立 駒ヶ根工業高	399-4117	駒ヶ根市赤穂14-2	0265-82-5251	0262-81-1253
	17H04	上田西高	386-8624	上田市下塙尻868	0268-22-0412	0268-26-2883
	17H05	県立 上田千曲高	386-8585	上田市中之条626	0268-22-7070	0268-23-5370
	17H06	県立 上田染谷丘高	386-8685	上田市上田字西丘1710	0268-22-0435	0268-23-5333
富山県 8校	18H01	高岡龍谷高	933-8517	高岡市古定塚4-1	0766-22-5141	0766-25-8149
	18H02	県立 魚津工業高	937-0001	魚津市浜経田3338	0765-22-2577	0765-22-2578
	18H03	新川高	937-0041	魚津市吉島1350	0765-24-2015	0765-24-2015
	18H04	県立 富山中部高	930-0097	富山市芝園町3丁目1-26	0764-41-3541	0764-41-3543
	18H05	県立 大門高	939-02	射水郡大門町二口1番地2	0766-52-5571	0766-52-5571
	18H06	県立 泊高	939-0743	下新川郡朝日町道下603	0765-82-1191	0765-82-1192
	18H07	県立 富山南高	939	富山市布市98	0764-29-1822	0764-29-1799
	18H08	県立 桜井高	938	黒部市三日市1334	0765-52-0120	0765-52-1694
石川県 4校	19H01	県立 能登青翔高	928-0331	鳳珠郡能登町字柳田イ部3番地	0768-76-1211	0768-76-0079
	19H02	県立 金沢向陽高	920-3121	金沢市大場町東590番地	0762-58-2355	0762-58-3592
	19H03	県立 工業高	920	金沢市本多町2丁目3番6号	0762-61-7156	0762-65-5346
	19H04	県立 金沢桜丘高	920-0818	金沢市大樋町16番1号	076-252-1225	076-252-1643
	19H05					
福井県 4校	20H01	県立 丹南高	916-0062	鯖江市熊田町10-7	0778-62-2112	0778-62-2102
	20H02	県立 金津高	910-0624	坂井郡金津町南金津33-1	0776-73-1255	0776-73-1254
	20H03	敦賀気比高	914	敦賀市沓見164-1	0770-24-2150	0770-24-2620
	20H04	県立 高志高	910-0854	福井市御幸2丁目25-8	0776-24-5175	0776-24-5177
	20H05					
静岡県 33校	21H01	県立 修善寺工業高	410-2401	田方郡修善寺町牧之郷892番地	0558-72-3322	0558-72-1955
	21H02	県立 富士見高	416-8555	富士市平垣町1番1号	0545-61-0250	0545-63-5040
	21H03	県立 静岡商業高	420-0068	静岡市田町7丁目90番地	054-255-6241	054-255-9241
	21H04	県立 袋井高	437-0031	袋井市愛野2446-1	0538-42-0191	0538-43-0710
	21H05	県立 浜松工業高	433-8567	浜松市初生町1150	053-436-1101	053-437-9988
	21H06	県立 浜松商業高	432-8004	浜松市文丘町4番11号	053-471-3351	053-475-2109
	21H07	浜松学芸高	430-0905	浜松市下池川町34番3号	053-471-5336	053-475-2395
	21H08	興誠高	430-0907	浜松市高林1丁目17番2号	053-471-4136	053-471-4137
	21H09	浜松北高	432-8013	浜松市広沢1丁目30番1号	053-454-5548	053-456-3316
	21H10	浜松湖東高	431-1112	浜松市大人見町3600	053-485-0215	053-485-3947
	21H11	県立 三ヶ日高	431-1416	引佐郡三ヶ日町釣78-1	0535-25-0103	0535-25-0426
	21H12	県立 天竜林業高	431-3314	天竜市二俣町二俣601番地	0539-25-3139	0539-25-7422
	21H13	静岡北高	420	静岡市瀬名3240	0542-61-5801	0542-62-5573
	21H14	県立 静岡東高	420	静岡市川合757番地	0542-61-6636	0542-63-5970
	21H15	県立 清水工業高	424	清水市八坂東1丁目16-1	0543-66-5471	0543-66-5473
	21H16	三島高	411-0942	駿東郡長泉町土篤57-1	0559-88-1450	0559-88-1783
	21H17	県立 島田工業高	427-0006	島田市阿知ヶ谷201	0547-37-4194	0547-37-1177
	21H18	県立 東海大付属翔洋高	424-0902	清水市折戸3-20-1	0543-34-0726	0543-34-0827
	21H19	清水西高	424-8637	清水市青葉町5-1	0543-52-2225	0543-54-5604
	21H20	県立 棟原高	421-0422	榛原郡榛原町静波850	0548-22-0380	0548-22-6557
	21H21	庵原高	421-3203	庵原郡蒲原町蒲原5300-5	0543-88-2155	0543-88-3377
	21H22	県立 吉田高	421-0303	榛原郡吉田町2130	0548-32-1241	0548-32-7831
	21H23	県立 相良高	421-0596	榛原郡相良町津波1700-3	0548-52-1133	0548-52-1135
	21H24	市立 清水市立商業高	424-8752	清水市桜ヶ丘町7-15	0543-53-5388	0543-54-1466
	21H25	常葉学園橘中高	420-0911	静岡市瀬名2-1-1	054-261-2256	054-264-3005
	21H26	県立 清水東高	424-8550	静岡市清水秋吉町5-10	0543-66-7030	0543-66-7685

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	21H27	県立 静岡 中央 高	420-8502	静岡市城北2-29-1	054-209-2431	054-209-2278
	21H28	私立 静岡 女子 高	422-8076	静岡市八幡3-6-1	054-285-2274	054-282-2757
	21H29	私立 静岡 大成 高	420-0839	静岡市葵区鷹匠2丁目4-18	054-254-7334	054-255-2287
	21H30	私立 藤枝 順心 高	426-0067	藤枝市前島2-3-1	054-635-1311	054-635-6119
	21H32	私立 静岡 南 高	422-8017	静岡市駿河区大谷5762	054-237-5781	054-237-0184
	21H33	私立 清水 国際 高	424-0809	静岡市清水区天神1-4-1	0543-66-4155	0543-65-9137
	21H34	私立 静岡 サレジオ 高	424-8624	静岡市清水区中之郷3-2-1	0543-45-2296	0543-48-0145
愛知県 24校	22H01	愛 知 高	464-8520	名古屋市千種区光ヶ丘2丁目11番41号	052-721-1521	052-723-2254
	22H02	愛知工業大学名電高	467-0808	名古屋市千種区若水3丁目2番12号	052-842-3171	052-859-5070
	22H03	弥 富 高	498-0048	海部郡弥富町稲吉2丁目52番地	0567-68-2233	0567-68-4492
	22H04	愛知 女子 高	451	名古屋市西区新道1丁目23番15号	052-571-8422	052-561-0713
	22H05	東 海 学 園 高	468-0014	名古屋市天白区中平2丁目901番地	052-801-6222	052-804-0647
	22H06	東 海 高	461-0003	名古屋市東区筒井1-2-35	052-936-5112	052-936-5195
	22H07	東 邦 高	465-8516	名古屋市名東区平和が丘3丁目11番地	052-782-1171	052-782-7151
	22H08	県立 金城 学院 高	461	名古屋市東区白壁4-64	052-931-6236	
	22H09	安 城 東 高	446	安城市北山崎町大土塚10	0566-74-1231	
	22H10	三 河 高	444-0005	岡崎市岡町字原山12-10	0564-48-5211	0564-48-5300
	22H11	県立 桜 丘 高	440	豊橋市南牛川2丁目1番の11	0532-61-6421	0532-63-9278
	22H12	県立 衣 台 高	471	豊田市太平町平山5番地	0565-33-1080	
	22H13	県立 西 尾 東 高	445	西尾市小島町大郷1-4	0563-56-1911	0563-54-6961
	22H14	岡 崎 東 高	444-3524	岡崎市竜泉寺町字後山27番地	0564-52-8911	0564-55-9410
	22H15	名 古 屋 工 業 高	466	名古屋市昭和区円上町22-38	052-871-2681	052-881-0761
	22H16	中京女子大学附属高	461	名古屋市東区大幸南2丁目1番10号	052-723-0851	052-723-1744
	22H17	市立 向 阳 高	466	名古屋市昭和区広池町47番地	052-841-7138	052-853-2453
	22H18	県立 豊 橋 南 高	441	豊橋市南清水町元町450番地	0532-25-1476	0532-25-4887
	22H19	県立 岡 崎 西 高	444	岡崎市日名南町7番	0564-25-0751	0564-25-9201
	22H20	県立 岡 崎 高	444-0864	岡崎市明大寺町伝場1	0564-51-0202	0564-55-9422
	22H21	県立 岡 崎 北 高	444	岡崎市石神17-1	0564-22-2536	0564-25-9231
	22H22	名 古 屋 学 院 高	461	名古屋市東区砂田橋2-1-58	052-721-5271	052-711-6480
	22H23	滝 高	483	江南市大字東野字神上47-1	0587-56-2127	0587-56-1732
	22H24	安 城 学 園 高	446-8635	安城市小堤町4-25	0566-76-5105	0566-72-2808
三重県 2校	23H01	三 重 高	515-8533	松阪市久保町1232番地	0598-29-2959	0598-29-6944
	23H02	県立 四 日 市 南 高		四日市市日永字岡山4917	0593-45-3177	0593-45-9549
	23H04	県立 四 日 市 四 郷 高	510-0947	四日市市八王子町字高花1654	0593-22-1145	0593-22-5390
岐阜県 5校	24H01	聖マリア女学院高	501-2565	岐阜市福富201	0582-29-1102	0582-29-3029
	24H02	県立 高 山 西 高	506-0059	高山市下林町353番地	0577-32-2590	0577-33-9911
	24H03	大 垣 西 高	503-8520	大垣市中曾根町字大畔147番地1	0584-91-5611	0584-91-9967
	24H04	専 門 部	506-0059	高山市林町353 高山西高内	0577-32-2590	0577-33-9911
	24H05	県立 可 児 高	509-0241	可児市坂戸987-2	0574-62-1000	0574-63-6759
滋賀県 14校	25H01	県立 大 津 商 業 高	520-0037	大津市御陵町2-1	077-524-4284	077-526-1802
	25H02	市立 大 津 高	520-0802	大津市馬場1丁目1番1号	077-523-0386	077-526-1772
	25H03	県立 栗 東 高	520-3016	栗太郡栗東町小野618	077-553-3350	077-554-1537
	25H04	県立 守 山 女 子 高	524-0041	守山市勝部町962番地	077-582-2019	077-583-2829
	25H05	県立 甲 南 高	520-33	甲賀郡甲南町寺庄427	0748-86-4145	0748-86-4983
	25H06	県立 八 幡 商 業 高	523-0895	近江八幡市宇津呂町10	0748-32-2072	0748-32-4052
	25H07	県立 愛 知 高	529-13	愛知郡愛知川町102	0749-42-2150	0749-42-6172
	25H08	県立 伊 吹 高	521-0226	坂田郡山東町朝日302番地	0749-55-2350	0749-55-2778
	25H09	県立 長 浜 北 星 高	526-0036	長浜市地福寺町3-72	0749-62-3370	0749-65-1344
	25H10	県立 虎 姫 高	529-0112	東浅井郡虎姫町宮部2410	0749-73-3055	0749-73-2967
	25H11	県立 北 大 津 高	520-0246	大津市仰木の里1丁目23-1	075-573-5881	077-573-7076
	25H12	県立 草 津 東 高	525-0025	草津市西渋川2-8-65	075-564-4681	077-562-1601
	25H13	県立 八 日 市 南 高	527-0032	東近江市春日町1-15	0748-22-1513	0748-23-2151
	25H14	私立 立 命 館 守 山 高	524-0041	守山市勝部3-9-1	077-582-8000	077-582-8038
京都府 9校	26H01	同 志 社 高	606-8558	京都市左京区岩倉大鷺町89	075-781-7121	075-781-7124
	26H02	同 志 社 女 子 高	602-0893	京都市上京区今出川通寺町西入ル	075-251-4305	075-251-4308

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
大阪府 19校	26H03	福知山商業高	620	福知山市字堀水内	0773-22-6224	
	26H04	市立洛陽工業高	601-8467	京都市南区唐橋大宮尻町22	075-691-3161	075-682-5668
	26H05	市立紫野高	603-8231	京都市北区紫野大徳寺町22	075-491-0221	075-492-0968
	26H06	府立木津高	619-0214	相楽郡木津町字木津内田山34	0774-72-0031	0774-72-0032
	26H07	府立菟道高	611-0011	宇治市五ヶ庄雲峰4-1	0774-33-1691	0774-33-1691
	26H08	府立工業高	620-0804	福知山市大字石原小字上野45	0773-27-5161	0773-27-5162
	26H09	府立朱雀高	604	京都市中京区西ノ京式部町1	075-841-0127	075-841-0646
	27H01	府立和泉工業高	594-0082	和泉市富秋町33	0725-41-1250	0725-45-8985
	27H02	大阪高	533-0007	大阪市東淀川区相川2-18-51	06-6340-3031	06-6349-3719
兵庫県 17校	27H03	大阪工業大学高	535-0002	大阪市旭区大宮5丁目16番1号	06-6954-4462	06-6953-9497
	27H04	大阪女子高	545-0002	大阪市阿倍野区天王寺町南2丁目8-19	06-6719-2801	06-6714-0045
	27H05	関西大倉高	567-0052	茨木市室山2丁目14番1号	0726-43-6321	0726-43-8375
	27H06	市立岸和田産業高	596-0045	岸和田市別所町541	0724-22-4861	0724-22-6111
	27H07	府立久米田高	596-0822	岸和田市額原町	0724-43-6651	0724-43-0307
	27H08	此花学院高	544-0021	大阪市生野区勝山南2丁目6番38号	06-6716-0003	06-6716-0009
	27H09	帝塚山学院高	558-0053	大阪市住吉区帝塚山中3丁目10番51号	06-6672-1153	06-6672-1155
	27H10	星翔高	566-0022	摂津市三島3丁目5番36号	06-6381-0220	06-6383-4822
	27H11	府立西野田工業高	553-0007	大阪市福島区大開2丁目17番62号	06-6461-0023	06-6461-3483
	27H12	初芝高	599-8114	堺市日置荘西町51	0722-85-0128	0722-86-8405
	27H13	桃山学院高	545-0011	大阪市阿倍野区昭和町3丁目1番64号	06-6621-1181	06-6629-6111
	27H14	府立山本高	581-0831	八尾市山本町北1-1-44	0729-99-0552	0729-99-4374
	27H15	府立工業高等専門学校	572-8572	寝屋川市幸町26番12号	0720-21-6401	0720-21-0134
	27H16	府立岸和田高	596-0073	岸和田市岸城町10-1	0724-22-3691	0724-32-5266
	27H17	池島高	579-8064	東大阪市池島町6-3-9	0729-87-3302	0729-82-3134
	27H18	府立堺東高	690-0113	堺市晴美台1-1-2	0722-91-5510	0722-91-6097
	27H19	関西創価高	576-0063	交野市寺3-20-1	072-891-0011	072-891-0015
奈良県 6校	28H01	滝川高	654-0007	神戸市須磨区宝田町2丁目1-1	078-732-1625	078-732-7391
	28H02	須磨ノ浦女子高	654-0052	加古川市平岡町新在家2301	078-735-7111	078-735-7130
	28H03	甲南高	659-0096	芦屋市山手町31-3	0797-31-0551	0797-31-7458
	28H04	市立琴丘高	670-0052	姫路市今宿668	0792-92-4925	0792-92-4925
	28H05	県立星陵高	655-0038	神戸市垂水区星陵台4丁目3-2	078-707-6565	078-707-6589
	28H06	夙川学院高	662-0027	西宮市神園町2-20	0798-74-5061	0798-74-1596
	28H07	松蔭高	657-0805	神戸市灘区青谷3丁目4番47号	078-861-1105	078-861-1887
	28H08	甲南女子高	658-0001	神戸市東灘区森北5丁目6-1	078-411-2531	078-411-2535
	28H09	神戸山手女子高	650-0006	神戸市中央区諏訪山町6番1号	078-341-6050	078-341-1882
	28H10	県立舞子高	655-0004	神戸市垂水区学が丘3丁目2番	078-783-5151	078-783-5152
	28H11	県立姫路東高	670-0012	姫路市本町68	0792-85-1166	0792-85-1167
	28H12	県立夢野台高	653-0801	神戸市長田区房王寺町2丁目1	078-691-1546	078-691-1548
	28H13	須磨学園高	654-0009	神戸市須磨区板宿町3-15-14	078-732-1968	078-732-6129
	28H14	滝川第二高	651-2276	神戸市西区平野町下村字平瀬436-1	078-961-2381	078-961-4591
	28H15	県立西宮甲山高	662-0004	西宮鷺林寺字剣谷10番地	0798-74-2460	0798-74-2461
	28H16	神戸星城高	654-0113	神戸市須磨区緑が丘1丁目12-1	078-741-1860	078-741-6304
	28H17	三田西陵高	669-13	三田市ゆりのき台3-4	0795-65-5287	0795-65-5289

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	29H07	私立 帝 塚 山 高	631-0034	奈良市学園南3-1-3	0742-41-4685	0742-48-9811
和歌山県 6校	30H01	県立 貴 志 川 高	640-0415	那賀郡貴志川町長原400	0736-64-2500	0736-64-2501
	30H02	県立 田 辺 商 業 高	646-0023	田辺市文里2丁目33-12	0739-22-2550	0739-22-2558
	30H03	県立 和 歌 山 高	649-6264	和歌山市新庄188	0734-77-3933	0734-77-4928
	30H04	県立 向 阳 高	640-8323	和歌山市太田127	073-471-0621	073-471-0621
	30H05	県立 海 南 高	642-0022	海南市大野中651	073-482-3363	073-484-2346
	30H06	県立 神 島 高	646-0023	田辺市文里2-33-12	0739-22-2550	0739-22-2258
鳥取県 6校	31H01	米 子 北 高	683-0804	米子市米原523番地	0859-22-9371	0859-32-6838
	31H02	県立 倉 吉 農 業 高	682-0941	倉吉市大谷166	0858-28-1341	0858-28-1342
	31H03	県立 倉 吉 東 高	682-0812	倉吉市下田中町801番地	0858-22-5205	0858-22-5206
	31H04	県立 鳥 取 商 業 高	680-0941	鳥取市湖山町北2丁目401番地	0857-28-0156	0857-28-0157
	31H05	県立 鳥 取 東 高	680-0061	鳥取市立川町5丁目210	0857-22-8495	0857-22-8497
	31H06	県立 米 子 南 高	683-0033	米子市長砂町216	0859-33-1461	0859-33-1462
島根県 4校	32H01	県立 松 江 東 高	690-0823	松江市西川津町字宮尾510番地	0852-27-3700	0852-27-3703
	32H02	県立 安 来 高	692	安来市佐久保町115	0854-22-2840	0854-22-3612
	32H03	県立 出 雲 工 業 高	693-0022	出雲市上塙治町420	0853-21-3131	0853-21-7543
	32H04	私立 出 雲 北 陵 高	693-0073	出雲市西林木町3番地	0853-21-1871	0853-21-8280
岡山県 7校	33H01	岡山理大学附属高	700-0005	岡山市理大町1-1	086-256-8521	086-255-8512
	33H02	岡 山 県 共 生 高	718-0011	新見市新見2032-4	0867-72-0526	0867-72-8032
	33H03	高 梁 日 新 高	716	高梁市内山下150番地	0866-22-3466	
	33H04	県立 備 前 東 高	705-8511	備前市麻宇郡1160	0869-67-0011	0869-67-0113
	33H05	県立 倉 敷 天 城 高	710-0132	倉敷市藤戸町天城269	086-428-1251	086-428-1253
	33H06	県立 岡 山 一 宮 高	701-2102	岡山市榎津221	086-284-2241	086-284-2243
	33H07	県立 備 前 緑 陽 高	705-8507	備前市西片上91-1	0869-63-0315	0869-64-4260
広島県 28校	34H01	尾 道 高	722-0022	尾道市栗原町1268-1	0848-23-2311	0848-24-2091
	34H02	国 立 広 島 大 学 附 属 福 山 高	721-8551	福山市春日町吉田	0849-41-8350	0849-41-8356
	34H03	市 立 呉 高	737-0003	呉市阿賀中央5丁目13番56号	0823-72-5577	0823-74-3501
	34H05	県 立 呉 宮 原 高	737-0024	呉市宮原3丁目1番1号	0823-21-9306	0823-21-9308
	34H06	県 立 海 田 高	736-0051	安芸郡海田町つくも町1番60号	082-822-3030	082-822-3800
	34H07	県 立 加 計 高	731-35	山県郡加計町加計3780-1	08262-2-0488	08262-2-1691
	34H08	山 阳 高	733-8551	広島市西区観音新町4丁目12-5	082-232-9156	082-232-2497
	34H09	修 道 高	730-0055	広島市中区南千田西町8-1	082-241-8291	082-249-0870
	34H11	県 立 広 島 工 業 高	734-0001	広島市南区出汐2丁目4-75	082-254-1421	082-253-3407
	34H12	国 立 広 島 大 学 附 属 高	734-0005	広島市南区翠1丁目1-1	082-251-9857	082-252-0725
	34H13	県 立 広 島 皆 実 高	734-0001	広島市南区出汐2丁目4-76	082-251-6441	082-251-6442
	34H14	県 立 可 部 高	731-0221	広島市安佐北区可部3丁目15-26	082-814-2032	082-814-2140
	34H15	山 阳 女 子 高	738-8504	廿日市市佐方本町1-1	0829-32-2222	0829-32-7681
	34H16	県 立 因 島 北 高	722-21	因島市重井町長浜5574	08452-4-1281	
	34H20	広 島 桜 が 丘 高	732-0048	広島市東区山根町36-1	082-262-0128	082-263-9228
	34H21					
	34H22	県 立 賀 茂 高	739-0043	東広島市西条町西本町16-22	0824-23-2559	0824-22-2792
	34H23	県 立 福 山 葦 阳 高	720	福山市久松台3丁目1-1	0849-23-0400	
	34H24	広 島 工 業 大 学 付 属 高	731-51	広島市佐伯区三宅1丁目6-25	0829-21-2137	0829-24-3020
	34H25	県 立 佐 伯 高	738-0222	廿日市市津田850	0829-72-1185	0829-72-0424
	34H26	県 立 自 疆 高	720-24	福山市加茂市大字下加茂6	0849-72-3232	0849-74-3317
	34H27	県 立 千 代 田 高	731-1503	山県郡北広島町有間600-1	0826-72-3121	0826-72-6884
	34H28	県 立 吉 田 高	731-0501	安芸高田市吉田町吉田713-9	0826-42-0031	0826-42-0207
	34H29	広 島 女 学 院 高	730-0014	広島市中区上幟町11-32	082-228-4131	082-227-5376
	34H95	県 立 甘 日 市 西 高	738	廿日市市阿品台西6-1	0829-39-1571	

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	FAX番号
山口県 9校	34H96	近畿大学附属福山高	720	福山市佐波町389	0849-51-2695	0849-52-3581
	34H97	福山暁の星女子高	721	福山市西深津町3丁目4番1号	0849-22-1682	0849-25-1533
	34H98	英 数 学 館 高	721	福山市引野町980-1	0849-41-4115	0849-41-4118
	34H99	広島女子商業高	732	広島市南区段原町11-5	082-261-8161	
香川県 5校	35H01	久 賀 高	742-2301	大島郡久賀町第4851番地の2	0820-72-0024	0820-72-0096
	35H02	県立 下 関 西 高	751	下関市後田町4丁目10番1号	0832-22-0892	0832-22-0892
	35H03	県立 聖 光 高	743-0011	光市光井9丁目22-1	0833-72-1187	0833-72-1308
	35H04	田 布 施 工 業 高	742-1512	熊毛郡田布施町麻郷奥	0820-52-2306	0820-52-2269
	35H05	県立 田 布 施 農 業 高	742-1502	熊毛郡田布施町大字波野195番地	0820-52-2157	0820-53-0036
	35H06	県立 西 京 高	753-0851	山口市大字黒川2580番地の1	0839-23-8508	0839-32-0721
	35H07	県立 華 陵 高	744-0024	下松市朱武上屋町217-2	0833-44-1285	0833-41-5494
	35H08	県立 柳 井 高	742-1352	柳井市大字伊保庄田布路木2658	0820-22-5533	0820-22-5534
	35H09	県立 岩 国 工 業 高	741	岩国市錦見2丁目4-85	0827-41-1105	0827-41-1105
	35H10					
徳島県 5校	36H01	高 松 西 高	761-8025	高松市鬼無町山口257-1	087-882-6411	087-882-6413
	36H02	県立 観 音 寺 第 一 高	768-0060	観音寺市観音寺町甲648-1	0875-25-4155	0875-25-4145
	36H03	県立 尽 誠 学 園 高	765	善通寺市生野町855番地	0877-62-1515	0877-63-3860
	36H04	高 松 南 高	761	高松市一宮町531	0878-85-1131	0878-85-1133
	36H05	県立 高 松 東 高	761-0322	高松市前田東町690-1	0878-47-6221	0878-47-6223
愛媛県	38H01					
	38H02					
高知県 4校	39H01	高 知 小 津 高	780	高知市城北町1-14	0888-22-5270	
	39H02	県立 高 知 高	780	高知市北端町100	0888-40-1111	0888-44-7578
	39H03	構 原 高	785-0610	高岡郡構原町126	0889-65-0181	0889-65-0172
	39H04	県立 高 知 農 業 高	783-0024	南国市東崎957-1	088-863-3155	088-863-6209
福岡県 5校	40H01	県立 柏 陵 高	811-1353	福岡市南区柏原4丁目47番1号	092-566-3232	092-565-2109
	40H02	県立 折 尾 高	807-0863	北九州市西区大膳2丁目23番1号	093-691-3561	093-691-9529
	40H03	県立 門 司 北 高	800-0102	北九州市門司区猿喰1462-2	093-481-4673	093-481-5768
	40H04	県立 慶 成 高	800-0236	北九州市小倉北区皿山町15番1	093-561-1331	093-561-4844
	40H05	大 牟 田 高	837	大牟田市大字草木852	0944-53-5011	0944-53-8251
	40H06					
	40H07					
佐賀県 3校	41H01	高 志 館 高	840-0201	佐賀郡大和町尼寺1698	0952-62-1331	0952-51-2008
	41H02	県立 厳 木 高	849-3193	東松浦郡厳木町下厳木727	0955-63-2535	0955-51-5021
	41H03	県立 佐 賀 東 高	840-0016	南佐賀3-11-15	0952-24-0141	0952-25-7040
長崎県 11校	42H01	県立 大 村 工 業 高	856-0815	大村市森園町1079-3	0957-52-3772	0957-52-3720
	42H02	県立 講 早 東 高	854-0205	北高来郡森山町杉谷名317	0957-36-1010	0957-36-1010
	42H03	県立 長 崎 南 商 業 高	851-0242	長崎市北浦町2885-1	095-836-3021	095-836-2719
	42H04	鎮 西 学 院	854	諫早市栄田町1057	0957-25-1234	0957-25-1237
	42H05	県立 佐 世 保 工 業 高	857-01	佐世保市瀬戸越3丁目3-30	0956-49-5684	0956-49-8072
	42H06	佐 世 保 実 業 高	858	佐世保市母ヶ浦町8881	0956-48-8881	0956-48-8152
	42H07	玉 木 女 子 高	850-0822	長崎市愛宕1-21-6	0958-26-6321	0958-28-6837
	42H08	佐 世 保 南 高	857-1151	佐世保市日字町2525	0956-31-5291	0956-33-4103
	42H09	県立 長 崎 北 陽 台 高	851-2127	西波杵郡長与町高田郷3672	095-883-6844	095-887-2146

都道府県	学校番号	学 校 名	〒	所 在 地	電話番号	F A X 番号
	42H10	長崎女子商業高		長崎市栄町2番10	095-824-2701	095-820-5284
	42H11	長崎南山高	852-8544	長崎市上野町25-1	095-844-1572	095-846-1821
熊本県 7校	43H01	県立 第二高	862-0901	熊本市東町3-13-1	096-368-4125	096-365-5636
	43H02	有明高	864	荒尾市増永2200番地	0968-63-0958	0968-64-1366
	43H03	東海大学付属第二高	862-0970	熊本市渡鹿9-1-1	096-382-1146	096-385-2161
	43H04	私立 熊本フェイス学院	861-4106	熊本市南高江町7丁目3-1	096-357-7151	096-358-3044
	43H05	県立 水川高	869-4201	八代郡鏡町大字鏡村937	0965-52-3611	0965-52-5161
	43H06	県立 荒尾高	864-0041	荒尾市荒尾2620-1	0968-63-0384	0968-63-0385
	43H07	県立 多良木高	868-0501	球磨郡多良木町大字多良木1212	0966-42-2102	0966-49-1022
大分県 19校	44H01	別府溝部学園高	874-8567	別府市大字野田78	0977-67-6908	0977-67-8255
	44H02	明豊高	874-0903	別府市野口原3088番地	0977-27-3311	0977-27-3300
	44H03	大分櫻丘高				
	44H04	県立 別府鶴見丘高	874	別府市鶴見字横打4433-2	0977-21-0118	
	44H05	大分電波高	870	大分市新貝11-40	0975-58-3734	
	44H06	県立 別府羽室台高				
	44H07	県立 佐伯豊南高				
	44H08	大分東明高	870-8658	大分市千代町2丁目4-4	0975-35-0201	0975-33-2660
	44H09	県立 大分豊府高	870	大分市大字羽屋600番1	0975-46-2222	
	44H10	大分高	870-01	大分市横尾字丸尾	0975-51-1101	
	44H11	県立 大分上野台高	870	大分市上野丘2丁目10番1号	0975-43-6249	
	44H12	県立 中津工業高	871	中津市上如水145-3	0979-32-2222	0979-32-2224
	44H13	別府大学附属高	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-3326	0977-66-9688
	44H14	県立 中津商業高	871-0008	中津市大塚1番地	0979-22-0300	0979-22-3238
	44H16	県立 大分商業高	870-0931	大分市西浜4番2号	097-558-2611	097-552-8120
	44H17	県立 竹田高	878-0013	竹田市大字竹田2642	0974-63-3401	0974-63-1865
	44H18	県立 大分鶴崎高	870-0104	大分市南鶴崎3-5-1	097-527-2166	097-521-5443
	44H19	県立 大分西高	870-8560	大分市新春日2-1-1	097-543-1551	097-543-1553
宮崎県 2校	45H01	県立 都城泉ヶ丘高				
	45H02	県立 都城西高				
	45H03					
	45H04					
鹿児島県 6校	46H01	鹿児島純心女子高	890	鹿児島市鴨池町1847	0992-54-4121	0992-52-7688
	46H02	県立 鹿児島工業高	890-0014	鹿児島市草牟田2丁目57番1号	099-222-9205	099-222-9206
	46H03	鹿児島実業高	891-0181	鹿児島市五ヶ所府町3591	099-286-1313	099-281-0531
	46H04	県立 甲陵高	891-1105	日置郡郡山町み郡山100	099-298-2458	099-298-2474
	46H05	鹿児島修学館高	890-0023	鹿児島市永吉2-9-1	099-258-2211	099-258-2213
	46H06	鹿児島城西高		日置郡伊集院町清藤1938	099-273-1234	099-273-1651
沖縄県 5校	47H01	県立 豊見城南高	901-0223	豊見城村字翁長520	098-850-1950	098-850-9239
	47H02	県立 宜野湾高	901-2224	宜野湾市字真志喜2丁目25番1号	098-897-1020	098-897-4031
	47H03	県立 中部商業高	901-2214	宜野湾市字我如古2丁目2番1号	098-898-4888	098-898-4808
	47H04	県立 前原高	904-22	具志川市字田湯1827番地	098-973-3249	098-974-4951
	47H05	県立 鏡ヶ丘養護学校	901-2101	浦添市当山750	098-877-4940	098-877-9958

○都道府県数 47 (内46都道府県 高体連に加盟 平成18年12月現在)

○学 校 数 505校

○新規加盟校の指定学校番号は、各都道府県で指定学校番号を付記し本専門部へ通知すること。

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 登録状況一覧表

平成18年12月現在

番号	都道府県名	単独校		複数校	女子				男子				全 体			総合計	
		女子	男子		1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年	合計	1年	2年	3年		
1	北海道	1	4	10	25	25	32	82	52	68	22	142	77	93	54	224	
2	青森	2	1	8	36	20	14	70	45	43	35	123	81	63	49	193	
3	岩手	1	2	2	21	6	12	39	14	14	13	41	35	20	25	80	
4	宮城		2	3	9	5	5	19	27	37	13	77	36	42	18	96	
5	秋田	2	2	2	13	18	7	38	12	14	14	40	25	32	21	78	
6	山形	1	2	2	17	4	9	30	18	9	10	37	35	13	19	67	
7	福島			3	6	9	6	21	25	18	14	57	31	27	20	78	
8	茨城			1	6	1	5	12	1	1	5	7	7	2	10	19	
9	栃木	1	1	2	11	17	7	35	5	8	6	19	16	25	13	54	
10	群馬	2	5	2	13	20	18	51	27	34	13	74	40	54	31	125	
11	埼玉			9	54	37	19	110	69	36	28	133	123	73	47	243	
12	千葉			12	33	34	25	92	61	54	36	151	964	88	61	243	
13	東京	2	9	6	31	22	25	78	79	83	39	201	110	105	64	279	
14	神奈川			6	5	21	29	10	60	86	90	47	223	107	119	57	283
15	山梨	1		1	5			2	7	5	4	1	10	10	4	3	17
16	新潟	2	3	4	12	16	6	34	25	34	21	80	37	50	27	114	
17	長野	1	1	3	6	10	8	24	11	13	11	35	17	23	19	59	
18	富山			4	4	11	4	19	5	13	5	23	9	24	9	42	
19	石川			2	2	5	3	10	2	11	7	20	4	16	10	30	
20	福井			3	9	11	11	31	44	21	14	79	53	32	25	110	
21	静岡	5	5	10	29	23	17	69	67	53	47	167	96	76	64	236	
22	愛知			2	8	18	23	16	57	70	84	41	195	88	107	57	252
23	三重			2		13	2	15	4	4	8	16	4	17	10	31	
24	岐阜	1	1	2	6	21	9	36		20	15	35	6	41	24	71	
25	滋賀			7	20	6	21	47	35	29	10	74	55	35	31	121	
26	京都	1	1	5	24	29	13	66	42	31	31	104	66	60	44	170	
27	大阪	2	4	7	36	17	17	70	59	50	27	136	95	67	44	206	
28	兵庫	5	2	7	44	60	34	138	49	51	34	134	93	111	68	272	
29	奈良	1		5	25	10	15	50	27	23	10	60	52	33	25	110	
30	和歌山			3	16	4	6	26	20	12	8	40	36	16	14	66	
31	鳥取			1	4	19	13	9	41	13	13	9	35	32	26	18	76
32	島根			1	1		2	5	7	118	8	26		20	13	33	
33	岡山			5	12	18	7	37	9	20	18	47	21	38	25	84	
34	広島	2	3	11	46	15	18	79	59	46	43	148	105	61	61	227	
35	山口	1	1	4	20	11	16	47	22	15	11	48	42	26	27	95	
36	香川			3	10	9	7	26	19	14	19	52	29	23	26	78	
37	徳島			1	1	1		1	2	10	4	10	24	11	4	11	26
38	愛媛																
39	高知			2	2	4	6	12	8	5	2	15	10	9	8	27	
40	福岡			4	4	8	8	20	12	12	10	34	16	20	18	54	
41	佐賀		1	2	14	9	5	28	14	11	8	33	28	20	13	61	
42	長崎			3	9	7	7	23	13	10	14	37	22	17	21	60	
43	熊本	1		5	8	9	10	27	27	23	18	68	35	32	28	95	
44	大分	1		5	25	6	4	35	11	8	4	23	36	14	8	58	
45	宮崎																
46	鹿児島			1						3	5	4	12	3	5	4	12
47	沖縄	1		2	8	7		15	5	6	9	20	13	13	9	35	
	合 計	37	62	192	730	624	481	1835	1211	1172	772	3155	1941	1796	1253	4990	

第9回世界ジュニア選手権大会報告

メキシコ・メリダ
【イラナンブリカ競技場】

選手	男 子	金村 賢	京都府立菟道高等学校
		坂野 太一	愛知産業大学三河高等学校
		石井 是	広島県立吉田高等学校
	女 子	岡師 未希絵	山陽女学園高等部
		新海 彩	愛知産業大学三河高等学校
		青山 絵美子	愛知産業大学三河高等学校
監 督		宮崎 利張	大宮開成高等学校
男子コーチ		後藤 明男	栃木県立烏山女子高等学校
女子コーチ		金川 真二	広島県立吉田高等学校

選手選考は選抜上位18名と5月に12名そして7月の最終選考会で男女3名の選手を決定した。(今大会より選手は3名となる)

選手決定後9月にアジア大会、全ア連強化メンバー及び高体連ジュニア強化メンバーによる合同合宿を行い、10月12日よりメキシコへ向かった。

- 10月12日 新東京国際（成田）空港集合 出発
バンクーバー・メキシコシティー乗り換え
メリダ着（約23時間）
- 13日 練習会場にて練習 I D用写真撮影
- 14日 練習 男女別に2会場に分かれる
- 15日 公式練習・弓具検査 監督会議 開会式
- 16日 予選ラウンド 長距離 AM 女子70m・60m 男子90m・70m
PM キャデット
- 17日 短距離 AM 男女50m・30m
PM キャデット
- 18日 個人決勝ラウンド 準決勝まで
- 19日 団体決勝ラウンド 準々決勝まで
- 20日 団体決勝ラウンド 準決勝・3位決定
決勝（3本づつの交互射ち）
- 21日 個人決勝ラウンド 3位決定・決勝
表彰式・閉会式 パンケット
- 22日 ワールドカップファイナル
- 23日 メリダ発 ロサンゼルス着
- 24日 ロサンゼルス発 サンフランシスコ乗り換え
- 25日 新東京国際（成田）空港着 解散

参加者 女子 33ヶ国 70名 団体17チーム
男子 34ヶ国 73名 団体17チーム

この大会9回目になるが、チームの参加人數が3名となりまた、個人予選通過が128位までと結果的に、全ての選手が決勝に残ることとなつた。

今回のメンバーは女子においては、ジュニア記録や高校記録を作っている生徒であり、得点ではこれまでで最高の選手である。男子もアジア大会の出場権も同時につかんだ金村を中心まとまりのあるメンバーとなつた。

メリダは、連日30度を超える湿度も高く蒸し暑い日が続き、その上風も強く選手にとってはよいコンディションではなかった。会場も練習で射っているにもかかわらず、後方では看板を塗っていたり、開会式用の舞台がシーティングラインの前方にずらつと並んでいたりとさすが海外での大会だと変な意味で感心するところであった。スケジュールがどんどん変わるものもいつものことであるが、得点

集計用の端末の説明では、日本語も用意してあるなど心配りも感じられ、バスでの移動もこちらの予定に合わせてもらうことが出来、おおむね快適な日を過ごすことが出来た。

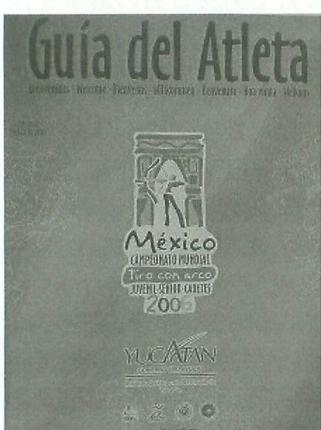
予選は、男子において金村が90mの途中経過で1位になるなど風の中で安定した射を続け4位で終わり他の日本の選手との違いを見せた。団体も予選5位通過と順位的には健闘したといえる。女子は、風の中自分の射型を見失う選手もあり不完全燃焼のまま終わった。

上位の選手の記録を見てもわかるように男女合わせても1300点を超える選手がいない中で女子は韓国男子はドイツの強さが目立っていた。

個人戦は2回戦からの出場で5名の選手が勝ち上がり特に男子は上位に食い込める勢いも感じたが、全て3回戦で敗退してしまった。

団体戦は女子は、1回戦インドに3回目までは1点差で競っていたが、風の中うまくコントロールすることが出来ず敗退しこの大会を終えることとなつた。普通の状態で望むことが出来たらもっと上位の成績を残すことの出来た選手達であつただけに、ユーチとして臨んだ私の未熟さを感じた。

男子は、1回戦で地元のメキシコに勝ち、準々決勝のインド戦では1回目に57点の高スコアを出しインドに快勝した。日を改めて、準決勝は予選1位のドイツと戦い、惜しくも破れ、3位決定戦もスペインに後一步で破れ4位となり選手達は悔しさを現





進行し、各部門の3位決定戦・決勝戦は、DJも入り、息をつかぬ展開で次々に対戦が行われ、見るものを飽きさせない演出となっていた。

今大会後は、ワールドカップのファイナルが行われ、女子では今大会で3位となったイタリアのTONETTA,ELENAが出場しており、若い力が世界のトップにいることを改めて感じるとともに日本もどんどん参加できる体制も必要だと感じた。

また、日本チームとしてキャデットの選手も男女1名ずつ参加し、他国の現状を見る中で、やはり中学世代での強化が必要である。高体連としても今年から、ようやく独自の強化事業が始まり来年以降の成果を期待していきたい。

今大会に出場した選手は大変貴重な経験をしたと思う。帰国後中1日しかなかった、山口での全日本選手権で、ほとんどの選手が世界選手権の2次選考に残り、世界大会へ向けまた、オリンピックみ向け第一歩を歩み始めており楽しみである。

していたが、これまでで最高の成績を残すことが出来き今後の活躍が期待できる。

この大会より決勝ラウンドも個人団体とも本数が減り、一つのミスが戦い方に大きく影響し、どんなときでも悪くても8点以内で止めることがより必要になったことを強く感じた。また、韓国の中堅はこのレベルでも相変わらずであり、アジアといえば次回世界ジュニア大会の開催国であるインドの活躍もめざましいものを感じた。

大会運営も競技が始まれば、スムーズに

成績

予選 女子

順位	選手名	国名	70m	60m	50m	30m	合計
1位	KIM,SOYUN	KOR	323	306	323	345	1297
2位	KIM,SUGYUNG	KOR	317	310	314	351	1292
3位	LOKLUOGLU,BEGUL	TUR	301	325	315	344	1285
23位	青山 絵美子		287	306	294	341	1219
35位	岡崎 未希絵		295	305	293	312	1205
54位	新海 彩		262	280	278	326	1146

団体

1位	KOREA	3851 (1297・1290・1262)
2位	RUSSIAN	3747 (1275・1350・1224)
3位	CHINESE TAIPEI	3674 (1251・1216・1207)
12位	日本	3570 (1219・1205・1146)

予選 男子

順位	選手名	国名	90m	70m	50m	30m	合計
1位	WEISS,CHRISTIAN	GER	291	304	330	348	1273
2位	FLOTO,FLORIAN	GER	297	309	312	352	1270
3位	CHIN-YU,CHEN	TPE	277	324	321	342	1264
4位	金村 賢		290	297	325	349	1261
20位	坂野 太一		278	300	308	339	1225
40位	石井 是		247	292	306	334	1179

団体

1位	GERMANY	3774 (1273・1270・1231)
2位	KOREA	3728 (1252・1239・1237)
3位	SPAIN	3719 (1255・1246・1218)
5位	日本	3665 (1261・1225・1179)



決勝 女子個人

		1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決
1位	KIM,SOYUN(KOR)	不戦勝	100	106	108	112	108	104
2位	KIM,SUGYUNG (KOR)	不戦勝	110	105	108	106	104	100
3位	TONETTA,ELENA(ITA)	不戦勝	102	107	110	109	101	114
4位	LOKLUOGLU,BEGUL(TUR)	不戦勝	104	109	104	108	101	102
20位	青山 絵美子	不戦勝	98	100				
22位	新海 彩	不戦勝	98	97				
45位	岡師 未希絵	不戦勝	92					

決勝 男子個人		1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決
1位 GIROUILLE,ROMAIN (FRN)	不戦勝	111	108	107	106	108	107	
2位 KANDIR,PRABHAT (IND)	不戦勝	104	107	106	103	108	101	
3位 FLOTO,FLORIAN(GER)	不戦勝	109	106	102	104	106	108	
4位 AUBERT,THOMAS(FRA)	不戦勝	110	105	100	107	105	106	
21位 坂野 太一	不戦勝	101	101					
24位 石井 是	不戦勝	110	99					
25位 金村 賢	不戦勝	103	98					
決勝 女子団体		1回戦	準々決勝	準決勝		決勝・3決		
1位 KOREA		220	209	223(WR)	221	444(WR)		
2位 RUSSIAN		208	205	213		208		
3位 GERMANY		193	200	201		215		
4位 CHINESE TAIPEI		204	194	210		202		
14位 日本		187						
決勝 男子団体		1回戦	準々決勝	準決勝	決勝・3決			
1位 GERMANY		218	208	216	223(WR)	439(WR)		
2位 KOREA		208	201	214	212			
3位 SPAIN		214	211	207	213			
4位 日本		206	207	209	208			

選手の感想より

女子 青山 絵美子

試合で海外へ行くのは初めてで、必要なものや、試合の雰囲気がわからず不安でした。言葉も通じず、どうなるかと思っていたけどみんなの助けがあり何とか過ごすことができました。

試合中に鼻血を出したのは初めてでびっくりしたけど、鼻栓をしながらでも射ててよかったです。これから先も試合中に鼻血がでたりすることもあるかもしれないけれど、落ち着いて対応できるようにしたいです。

国際大会では、日本語は通じず、英語か現地の言葉かフランス語とかで、日本語以外にわからない私には大変でした。英語をもっと勉強しなければとつくづく思いました。



新海 彩

初めての世界大会に来てとまどうことも多くありましたが、とても楽しく充実した試合、生活を送ることが出来ました。試合ではあまりうまくいかず、満足できる結果は残せませ

んでしたが、いろんな国の友達が出来たり、話したりして、普段ではあり得ないことを経験することが出来たと思います。

世界のレベルの高さを知って、頂点はまだまだ先でしたが常に上を目指していきたいです。今回の世界大会がただの思い出ではなくこれから先のアーチェリー人生に生きるように練習に取り組んでいきます。



図師 未希絵

2年前のキャデットに続き2度目の世界ジュニア・キャデット大会でしたけど、相変わらず沢山のものを得て、課題を見つけることが出来ました。

試合の中や練習の中では、動揺してMが続いてしまうこともありました。何度か世界を経験してもまだ学び足りないことが多いなと思いました。試合の進め方、トーナメントの進め方は特に学ぶことが多くあったのでこれから先の課題としてがんばりたいと思います。

金村 賢

自分のレベルがまだまだジュニアさえも通用しないということがわかりました。予選は4位で通過したけど結果的には25位だったので自分の中ではとても悔しいです。日頃の少しの甘さが積み重なってこんなさんざんな結果になりました。団体4位というのも終わってから考えるととても悔しいです。そこで自分がはずしたから・・・。という思いがありますが、いまさら考えてもただの過去の産物にしかすぎないので、そういうことがあったという事実だけを頭に入れておいて前に向かって進んでいこうと思います。

試合のことだけでなく他国文化の違いというものを感じることが出来たし、日本いうものがどういうものなのかわかった気がします。

石井 是

メキシコは水も飲めないし、環境も全く違うといわれたけれど、少し暑いぐらいで他に過ごしにくい所がなかったです。よい環境を作っていただいた連盟の方々に感謝しています。

周りの景色から自分とだけを切り出すと、普段の練習となにも変わらないということを意識して試合に臨んだけど、強風や高温や世界大会の舞台ということから脱却する事が出来なかった。

韓国やオーストラリアなどの強豪国を目の当たりにすることが出来、とても参考になりました。特に韓国のKIM, SOGYUN選手の射型は、自分のマイナスといえる部分がすべて完成されていたので、参考にしたいと思います。

団体戦では、最終的には4位という結果が残せたけれど、もっと上に行けたと思います。8点以内に全て収めるという世界のレベルで戦うためには、8点を意識した練習を普段から行なうことが大切だということを学んだので、これから練習でそういう意識をしてみようと思いました。

坂野 太一

今回世界ジュニア大会に出場して多くのことを経験することが出来ました。自分にとって初めての海外遠征だったので、色々戸惑うことがありました。特に食生活が普段と変わってしまったので、体調の管理をいつも以上にしっかりとしなければなりませんでした。周りがいつもと違うことで意識が散漫になり、忘れ物をしてしまうこともあります。しかし、試合中は自分に集中でき、悪いなりにも安定させることができたと思います。団体戦の時には、2回も引き戻してしまい先輩たちに迷惑をかけてしまったことがありますが、自分の力をちゃんと出せたと思いました。また、それぞれの対戦ごとの海外の選手がとても気持ちよい態度で接してくれたのを見て、自分もそうありたいと思いました。そして、この大会で学んだことを世界選手権やオリンピックに出場すると時に生かしたいと思います。



[インターハイ男子優勝校]

インターハイ男子団体二度目の優勝

京都府立菟道高等学校

アーチェリー部顧問 塩田 浩一

悲願の初優勝から5年、全国高校総体に於いて、本校アーチェリー部は船本・金村・中野・今和泉というメンバーで二度目の男子団体優勝を成し遂げることができました。

昨年のインターハイは惜しくも一点差で優勝を逃し、二位に甘んじてしまいました。借りを返そうと臨んだ国体でも個人で金村が優勝したものの、後一歩及ばずの二位でした。二位という成績それ自体は大変すばらしいのですが、やはり最後の優勝決定戦での敗北というのは選手たちにとって、準優勝したというよりも負けて二位になってしまったという悔しい思いの方が強く残ったと思います。来年こそは、一番高い表彰台に立つことを皆で誓い合い、毎日の練習に精進しました。

その成果が出たのか、金村はアジア選手権に出場し活躍しました。また、金村・船本の両名は全国高校選抜に出場し、ジュニアナショナルチーム入りを果たしました。特に金村の成長はめざましく、トルコで行われたワールドカップ優勝メンバーになり、世界ジュニア選手権、ドーハアジア大会日本代表になりました。中野は、国体少年男子代表になり、今和泉は、全国高校選抜出場が決定し、現在主将としてクラブを引っ張っています。

このような強力なメンバーでインターハイに臨みました。夏休みに入ってからの強化練習は、個人・団体優勝を目指し連日猛暑の中続きました。午前中は個人戦中心の練習を行い、午後からは団体戦練習を行いました。団体戦練習ではメンバーを固定せず、顧問・補欠等に入れ替えて行うという毎年恒例の方法ですが、選手にとってはよい刺激となり、効果を上げています。そして、日に日に成果を上げている選手たちを見て、「優勝」という思いが私の中にも固まって行きました。

個人戦では、予選53位通過の今和泉が7位通過の選手を破りがんばりましたが、二回戦で敗れました。また、運悪く三回戦では金村対船本という菟道同士の対戦となり金村が勝利しましたが、準々決勝で敗れ金村は5位にとどまりました。予選を一位で通過し、個人優勝をねらっていた金村にとっては不本意な結果に終わりましたが、明日の団体戦は他のチームメイトとともにがんばってくれるだろうと、皆で練習場に向かい最後の調整を行いました。

団体戦当日は、晴天弱風のまづまづのコンディションで始まりました。予選こそ3位通過でしたが、選手たちは次々と力強く勝ち進みました。団体戦では、監督が選手のそばで一射一射指示を出すことができるため、予戦・個人戦時とは異なり、選手達を常にベストな状態に持っていく事ができました。うだるような猛暑の中で、風を読んだりするのはとても精神力を消耗します。そこで風の読みなどはすべて私が引き受け、選手達をただ正確に打つ事だけに集中させる事ができました。これが優勝の大きな要因になっていると思います。

今回の優勝も本当に多方面にわたる多くの方々にお世話になり、支えていただいての優

勝であると心から感謝しております。3年生は卒業後もアーチェリーを続けます。2年生は新チームとして来年のアベック優勝を目指して毎日練習に励んでいます。それぞれの姿を見て、他の部員が日々の研鑽にさらに励んで欲しいと思っています。

3年 船本 武宏（前主将）

自分にとって近畿総体は二度目の総体でした。昨年は、決勝で一点差で敗れてしまいとても悔しい思いをしました。今年はその悔しさをバネに練習を積み、自信をつけて参加しました。団体だけでなく、個人でも良い結果を残そうと大会に臨みましたが、三回戦でチームメイトの金村君と当たってしまいました。彼とは昨年も対戦して敗れているので「今年こそ勝つぞ！」と思っていましたが、自分をベストな状態に持っていくことができず、またもや敗れてしまいました。悔しさでいっぱいでしたが、まだ明日があるのでいつまでも下を向いていてはいけないと思い、団体戦のことだけを考えました。翌日は、チーム全体の調子が良く、絶対に優勝できると思いました。準決勝までは何の不安もなく順調に勝ち進むことができましたが、決勝前になると昨年のことが思い出されて不安感がわき上がりました。そんなとき、金村君の「今年の俺らは強いから大丈夫やで。楽しんで試合をやろうな。」という一言で不安はなくなりました。決勝戦では風もあり自分は少しチームの足を引っ張ってしまいましたが、ほかの二人がうまくまとめてくれたので優勝することができました。優勝と準優勝とではその喜びが全く違います。この喜びを来年も後輩達に味わって欲しいと思います。

僕はアーチェリーを通して、人は目標に向かい努力し続ければ、その目標は必ず達成することができるということを身をもって知ることができました。また、知り合った先生や仲間の存在は、自分にとって大きな宝物です。皆に感謝の気持ちを忘れず、これからも新たな目標に向かって努力していきたいと思います。

3年 金村 賢（前副将）

二度目のインターハイ、そして高校最後のインターハイで優勝できた事は僕にとって他では味わう事のできない大切な思い出となりました。

昨年のインターハイでは、初めての全国大会だったので何もわからないまま試合が始まり、個人予選2位という結果にびっくりしました。翌日の決勝ラウンドでは、自分の打ち方が全くできず、あつという間に試合が終わってしまいました。結果は5位。しかし全国で5位という結果に少し満足していたように思います。団体戦では、高校新・ジュニア新を出す事ができました。この勢いでと臨んだ決勝戦ではわずか1点差で負けてしまいました。自分がチームの最後に打った矢が8点で、10点なら優勝、9点でシートオフだっただけにとても悔しかったのですが、不思議と満足している自分がいました。

今年のインターハイは、昨年とは違った思いで臨みました。それは「今年は個人・団体ともに優勝するぞ！」でした。調子自体はそんなに良くありませんでしたが、この二つの優勝が自分の中での目標でした。しかし結果は、個人は5位でした。昨年と同じ順位だったのですが思うところは全く違い、とても悔しい思いでいっぱいでした。目標が優勝だけに、自分の不甲斐なさにとても落ち込みました。しかし、ここで気持ちを切り替えなければもうひとつの目標も失ってしまうと思い、とにかくこのインターハイを楽しむ事にしました。

そして迎えた団体決勝ラウンドでは順調に勝ち上がり、昨年と同じ決勝の舞台に立つ事ができました。このときはとにかく楽しむ事を考えました。勝つ事でもなく、きれいに打つ事でもなく、ただ楽しむ事を考えました。今、自分がアーチェリーをしていて楽しむ事ができればそれでいいとただそれだけを考えました。そして優勝する事ができましたが、それよりこのメンバーで、最後のインターハイでアーチェリーを楽しむ事ができた事がとてもよい思い出になりました。

今回優勝できたのは、指導してくださった顧問の先生、応援してくれた両親、全国の友達、クラスメイト、学校の方々をはじめ多くの人の支えがあつたからこそだと思いとても感謝しています。僕は大学でもアーチェリーを続けますが、高校で学んだ事を活かしてこれからもがんばりたいと思います。

3年 中野 貴之（国体京都府代表）

自分は何をするにも緊張してしまう方なので、練習と試合の点差が大きく、全国大会などの大きな大会に出るのは無理だと思っていましたが、3年になり、エイミング方法を変えるというきっかけがあって、練習点が上がり、試合点もそれに伴って上がりはじめ、インターハイに出場する事ができました。

しかしインターハイでは状態が悪く、緊張もあり団体の決勝ラウンドでは控えに回りました。僕は何か選手達の気持ちを和らげられることをしようと思い、ポジティブな言葉がけをするように心がけました。

団体決勝の日は風が強く感じられ、かなり心配しましたがチームのメンバーが順調に勝ち進むのを見ているうちに、そんな心配はいつの間にか消え、安心して試合を見る事ができました。そしてじぶんはこんなにも強いチームの一員であることに誇りを持ちました。最終エンドが終わり、優勝が決まった時は実感がなかったのですが、相手校の選手と握手をした時初めて優勝の実感がわいてきました。表彰台の上はとても高く感じられ、優勝したという実感とともに、とても清々しい気持ちでした。

今までの生活が部活動中心という事で迷惑ばかりをかけてしまった家族、いつも的確な指導をしてくださった顧問の先生、調子が悪いときにアドバイスをくれた友人、自分を助けてくださった多くの方々にとても感謝をしています。そして「4人でチームやで」と言ってくれたチームメイトに最後に感謝の気持ちを込めて「ありがとう！」

2年 今和泉 輝紀（現主将）

僕は一年の時、他の部員と比べてアーチェリーの成績は良くなく、いつも試合では下の方の順位でした。このままだと三年間表彰されることなく、常に表彰される人に拍手を贈る側にまわり、全国大会に出場するなど「夢のまた夢」だと思っていました。そんな僕が主将という大役を任せられインターハイに出場することができ、さらに団体で優勝できた事は今でも信じられないくらいです。

僕はこのインターハイが初めての全国大会だったので、緊張や不安でいっぱいでした。でもその緊張や不安は、先輩方の励ましや先生のご指導もあって徐々になくなっていました。団体の決勝では、緊張や不安など忘れて自分らしく打つ事ができ、最高の試合をする事ができました。

今年のインターハイメンバーは、先輩方がとても強い方々だったので頼ってしまう事が多く、団体優勝も先輩方のおかげだと感謝しています。来年は先輩の後を継いで、僕がみ

んなに頼られる存在になり、またインターハイに出場し団体二連覇を目標に練習に励みたいと思います。

1年 北村 治伸（マネージャー）

僕はマネージャーという先輩方のサポート役としてインターハイに参加させていただきました。僕が持っていたインターハイのイメージは「全国から集まった強い選手達が行う大規模な試合」という漠然としたものでした。しかし自分の認識は違っていたという事を大会当日になり初めて気づかされました。会場には全国から集まった選手達が真剣な面持ちで試合に備えていました。僕はその緊張感に圧倒されました。試合が始まり、選手達が一斉にシューティングライン並んだその光景は壯觀でした。そしてこの会場の緊張感と興奮が「来年のインターハイには必ず出場してやる」という決意を僕にさせました。

先輩方は、団体決勝ラウンドで順調に勝ち続け、決勝戦に進みました。互いに気合いをぶつけ合いどうなるのかとドキドキしながら見ていきましたが、先輩方は見事に優勝されました。表彰式から帰ってきた先輩方の顔は喜びと満足感にあふれ、とても輝いて見えました。その顔を見て僕も「本当に優勝した」という喜びを実感する事ができました。

僕はこの四日間でとてもすばらしい経験をする事ができました。そして来年はこの大会で経験した事を活かし、二連覇する事ができるようみんなで力を合わせていこうと強く思いました。

〔インターハイ女子優勝校〕

合理的な射法を求めて －全国高校総体女子団体優勝に結びついたもの－

愛知産業大学三河高等学校アーチェリー部

顧問 新海輝夫

「やっと勝てた…。」これが私の監督としての実感です。平成7年度の全国高校総体初出場以来この12年間で優勝2回、準優勝2回、3位1回と、男子団体においては比較的順調に好成績を収めることができたのですが、学校自体が創立当初に男子校だったこともあり、女子の数が少なく、なかなか団体を組めない状況でした。本年度も3年生を除くと女子は1年生に初心者が1名いるのみです。

しかし、現3年生は入学当初から4名そろっており、しかもそのうち3名は中学でのアーチェリー経験者でした。“ひょっとしたら念願の女子団体優勝・宮杯獲得が狙えるかもしない。”そう思いました。そして、ついに“女子団体優勝”。ここ数年取り組んできた指導法が今年開花し、本当に嬉しく思っています。

まずは優勝メンバーに感想を書いてもらいました。

青山絵美子〔普通科3年・主将〕

インターハイ優勝は私たちの目標でした。2年生の時、初めてインターハイに出場しました。メンバーは全員2年生でした。予選3位で通過し、準決勝で和歌山高校に敗れました。結果は3位、私たちにとって初めての全国大会団体入賞は嬉しい反面、悔しさも残る結果でした。私はその後、自分の射法がわからなくなり、徐々に点数が落ちていきました。何をしてもよくならず、悔しい思いの中、ひたすら練習しました。冬を越え、春になった頃、私の点数は伸びました。皆の点も上がり、最後のインターハイ。昨年と同じメンバーで優勝を狙います。予選1位で通過し、準決勝で再び和歌山高校と当たりました。昨年のメンバーは一人だけでしたが、私たちの動きは固くなり、ひどい点数でした。何とか勝ったものの、負けたような気分でした。気持ちを切り替え、決勝戦。私は負ける気がしませんでした。4人の気持ちが一つになり、勝ちました。1位の表彰台は高く、晴れ晴れとした気分でした。

蟹江美貴〔普通科3年〕

目標は優勝でした。この目標は平成17年度のインターハイ前から皆が強く思っていたことです。この年は、優勝した和歌山高校に準決勝において1点差で敗れ、とても悔しい思いをしました。点数のことばかりに意識が向き、射型が崩れました。2年生だった私たちは技術面・精神面ともに未熟でした。その後の練習や試合で自分自身のレベルを上げるよう意識しながら1年間やってきました。今年度、予選1位で通過した私たちは順調に勝ち進み、準決勝の相手は昨年同様和歌山高校。「いつも通り射てば大丈夫。」と皆で声を掛け合い臨みました。第一エンドを終わってみるとかなりの点数でリードされました。

前日、矢が跳ねてミスをした私は、射型だけを考えてシューティングラインに立ちました。第二エンドを終え同点に並んだ私たちはさらに精神を集中し、昨年とは逆の1点差で勝つことができました。和歌山高校戦を乗り越えた私たちは、大分東明高校との決勝戦では気負うことなく戦うことができ、目標であった優勝を手にすることができました。1年生からずっと一緒に頑張ってきた仲間や指導していただいた先生方、まわりの方々のおかげでここまで来られたということを忘れてはいけないと思います。

山田幸【情報処理科3年】

1年生の時からインターハイで優勝することを目標に今までやってきました。1年生では優勝以前にインターハイに出場することすらできませんでした。2年生では準決勝において和歌山高校に1点差で敗れ3位でした。そして、今年はメンバー4人のうち3人が全国高校選抜大会で入賞しており、三河高校が優勝するだろうという周りの声が耳に多く入ってきました。そのような重圧の中、結果は優勝でしたが、それまでの対戦はとても苦しいものでした。殊にライバル和歌山高校との一戦は最後まで気の抜けない対戦でした。私はこの3年間、結果が出ず本当に嫌になることもあります。しかし、自分だけが苦しいのではなくて、皆、点数がでない時期があるのだと思い頑張りました。また、練習の厳しさや人間関係について行けないあまり、悩んだり、励まし合ったりしながらも、ここまで来られたのはこの4人であったからだと思います。先生方のご指導には本当に感謝しています。最後にこの4人で優勝を勝ちとれ、本当に嬉しく思っています。

新海彩【普通科3年】

2006年8月7日朝、澄み渡った青空の下、私たち4人は学校から持参した達磨にインターハイ団体優勝の願掛けをしました…。

私たちは入学した当初から、口癖のように「インターハイ、優勝しようね。」と言っていました。アーチェリーを始めたばかりの私にとって、インターハイの一番高い表彰台に上ることは大きな目標でした。しかし、それはとても困難なことで、何度も挫折を繰り返しました。インターハイの団体戦が始まったとき、私が一番恐れていたのは、1年前に負けたチームともう一度戦うことでした。不安と緊張で手が震え、思うように射られなくなり、大きなミスを繰り返していました。しかし、仲間のフォローのおかげで、何とか優勝までたどり着くことができました。一番高い表彰台に上ったときは、今まで苦しかったことや楽しかったことが思い出され、胸が熱くなりました。そして、いつからか私たちの口癖は、「みんなで世界大会に行こうね。」に変わりました。これから目標はオリンピック出場です。

私はここ数年来、アーチェリー競技の指導を通じてあることを感じていました。それは、私が教えていることは『はたして本当なのか』ということです。私はこれまで「こうしたらうまくいった」というパーツ・パーツを組み合わせ、その生徒に何が当てはまるかを探し、結果的に射る感じがよくなればその練習を続けさせるという、主観的な感覚のみにたよった指導を続けてきました。たしかに、アーチェリー競技は感覚のスポーツであり、最終的には感覚の部分が決定的な影響を与えるとは思うのですが、指導するということになるともっと真理となるべきものをあきらかにし、それを知ることが必要ではないか、別の言い方をすれば、弓具を使用し、矢を一定にまっすぐ飛ばすためには身体をどのように動

かせば最も合理的なのかという客観的(力学的・身体運動学的)な裏付けを明確にし、理解することができるならば、よりレベルアップにつながるのではないかと思ったのです。

たとえば、押し手の肩を落とすという指導について一例をあげると、私は今までただ単に「押し手の肩を落とせ」としか言つてきませんでした。しかし、押し手となる腕と肩の関節形状を考えると、腕の根元に当たる上腕骨頭は肩胛骨の上外側端にあるソケット状の関節窩につながっています。つまり、肩胛骨を下げることが結果的に肩を下げるということです。そして、肩胛骨を下げ、しかも前方に押し出す役割を果たす主な筋肉の部位と働きは、前鋸筋の収縮とその拮抗筋となる僧房筋上部の弛緩です。そこで、その部分を働かせるためには、セットからセットアップの時点で、取りかけを持ち上げることによって引き上げられた弓(ハンドル)に抵抗して押し手の腕(特に肘の部分)を下げながら押し出すことが必要であり、その結果、無理をせずに肩を下げることができるということがわかつてきました。このような理論が私にはありませんでした。何名かの韓国コーチにも機会あるごとに教えを請いましたが、押し手の肩を落とし、肩胛骨を正しい位置に置くということの繰り返しで、これというものは得られませんでした。そこで、4~5年前から身体運動学を研究されている先生に教えを請い、合理的に弓を引く(回転運動を直線運動に転換する)とはどういうことなのか、また、それを引き出すためにはどういう身体の使い方をしたらよいのかなど、解説された事柄から生徒に実践させるという活動を繰り返してきました。当初は理論と実践がうまく結びつかず、理解できなかつた事柄も、再三にわたる意見交換と指導実践を通して射法全体として消化できるようになり、その成果を現3年生が入学して以来、指導に反映させてきました。

その結果、まず、故障者が激減しました。以前は少し練習量を増やすと肩痛や前腕部の肩鞘炎を引き起こす生徒がでてきたのですが、それがなくなり、比較的豊富な練習量をこなすことが可能になりました。また、それについて矢のまとまりも良くなり、練習点が上昇しました。そして、今年度だけでも、女子のシングルラウンド高校記録はほとんど塗り替えることができ(30mはタイ記録でした。)、2006年度世界ジュニア大会には男女6名中、半数の3名の選手を輩出することができました。加えて、平成18年度全国高校選抜大会のランキング上位に1300点を超えて2の生徒をランクインさせることができました。本当に充実した1年でした。来年度の目標は全国高校総体男子団体での3度目の優勝、そして、その先は世界で活躍できる選手の育成です。

しかし、あくまでも私の仕事は「人づくりのお手伝い」。今後も、このことを絶対に忘れず、生徒それぞれがアーチェリー競技を通じ、より充実した時を刻んでいってくれるよう、拙い一指導者として努めてまいりたいと思っています。

最後に、このような成果が上がったのも、関係の皆様の甚大なるご協力、ご支援を賜ったおかげと心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



[学校紹介]

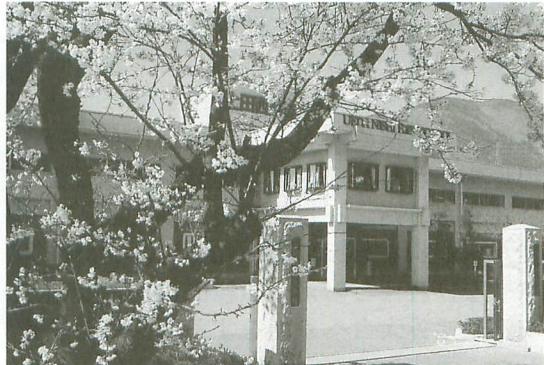
上田西高等学校アーチェリー部

長野県上田西高等学校アーチェリー部

顧問 白井道彦
渡邊武志

〈上田西高等学校の紹介〉

本校は昭和35年に創立され、長野県の東部の上田盆地の西側に位置し、しなの鉄道西上田駅を下車して5分のところにある私立高校です。生徒数約900人の全日制普通高校で、スポーツ・生徒会活動・情報教育・国際教育などの多様な力を養う指導を展開しているI類と進学指導を重視したII類とにわかっています。スポーツ活動は盛んで多くの部活動が県大会に出場しています。中でもレスリング部・サッカー部は全国大会で、野球部、男子硬式テニス部は北信越大会で活躍をしています。



〈アーチェリー部のあゆみ〉

本校アーチェリー部は、平成6年4月に男子5人女子8人の計13人の同好会として発足し、翌年4月に部に昇格しました。はじめのうちは学校裏の千曲川の川原で練習をしていたとのことですが、質のよい高い練習をするために放課後学校の会議の無い日は顧問の先生の車で20分、会議のある日は個々に電車で40分をかけて市営の射場に通うようになったと当時の顧問の市川忠臣先生(15年3月まで)に聞いております。私(白井)が顧問に就任したのは平成11年4月でした。この年は、選抜大会で男子が1名入賞しており、岩手総体では男女そろって団体出場し男子個人で入賞者がでて、男子団体も3日目まで残りました。そして平成14年、北信越大会で団体1位となった男子団体チームは茨城総体に出場し予選17位で敗退してしまいました。この大会は市川先生が監督をされた最後の大会となりました。その頃市川先生が引率顧問であった私に「来春で退職なので、後のクラブ運営はお前がしっかりやるよう!」と言われたことを思い出します。部員たちは総体の悔しさをバネにして長野県アーチェリー協会からの指導を受けながら練習に励み高知国体では男子団体7位、個人でも入賞する者がいました。しかしこの国体の団体戦は、初戦が広島県チームとの対戦となり、大差で敗退しその時に、「団体戦に勝つためには何をすべきか」ということをこれから考えていかなければならぬと思いました。この年の7月、今までの部活動を学校が評価してくれて校内に7人が30m行射可能の射場が設置されました。しかし距離練習をしなければならないため、部活動は従来どおり市営射場でほとんどを行い、私の方針で市営の射場への移動は往復1時間20分をかけて自転車で移動させることにしました。そのためか3年生が引退すると部員数は男子7人女子2人の合計9人になってしまい、冬期練習は2~3人で行う日もありました。私は廃部の危機を前にしてア

一チエリー部の歴史と校内射場の重みとで苦悩する日々を過ごしていたことを思いだします。翌年開催された長崎総体には男子団体で辛うじて出場することができましたが、結果は惨憺たるものでした。そしてそれ以上に出場をしている他校と比べて、生活指導や生徒指導に関する基本的な指導が行き渡っていないことを痛感させられる大会でもありました。

〈現在のアーチェリー部〉

平成15年4月には、アーチェリーの経験のある渡邊先生が顧問として加わりました。またこの年は、運動部経験のある1年生が男女各5名入部をしてくれました。これを機会に、渡邊先生と共に「基本的生活習慣の確立」と「集団行動の習得」をめざした部活動の運営をすることに決めました。そしてそのためには、生徒たちが身をもって他を知ることを経験させなければと考え、積極的に他校との交流や県外大会へ参加をするようにしました。競技レベルの高い大会や一流のチームとの合宿や練成会に参加をさせていただく中で、生徒たちも私たちも勝つためには、どのようなチームになればよいのかということが、漠然とですが意識できるようになってきたのではと思うようになりました。また基礎体力をつけるために、生徒たちと話し合いながら、冬期の早朝トレーニングをはじめることにしました。はじめは生徒たちに抵抗があったようですが、1年生が3年生になる頃には、あたりまえのこととして行うようになりました。平成17年の千葉総体では、岩手総体以来7年ぶりに、男女そろって3日目に駒を進めることができました。しかしここで力尽きてしました。この時、高知国体での課題が再び脳裏をよぎりました。また高校総体で入賞することの難しさを痛感させられました。続く岡山国体では、他校生1名の応援を得て、夏の悔しさをバネに男子が出場し大奮闘をしてくれました。その後、生徒たちも私たち顧問も是非とも高校総体で8位入賞をしたいと思うようになりました。冬期のトレーニングを熱心に取り組む一方で多くの大会や強豪校との合同合宿や練成会に参加するようになりました。そして本年度の近畿総体ではじめて女子団体が8位入賞をはたすことができました。現在本校のアーチェリー部は1、2年あわせて23人が毎日練習に励んでいます。



〈今後の課題〉

本年度11月に念願であった校内射場の延長工事が行われ、70mを7人で行射することが可能になりました。これにより、市営アーチェリー場に通うための時間が大幅に削減されます。メリットとしては、①生徒の帰宅時間が早くなること②往復の時間が練習に当たられ、交通事故等の危険が回避できること③生徒の自主的な練習を促すことができることがあげられます。特に、①②に関しては通学に片道1時間以上かかる生徒もいることから、保護者に大変喜ばれています。デメリットとしては、①行射人数、距離が限られてしまうこと②今まで以上に顧問がアーチェリーに詳しくならなくてならないということがあげられます。デメリットについては、行射中心の練習から、近射・筋トレ・距離練習を平行し

て行う内容に切り替え、顧問として練習内容について研究を重ねていくことで、より充実したものを作り上げていきたいと考えています。具体的に今考えていることは、練習内容の変化に伴い、今まで以上に射形指導に重点を置きたいと考えています。全国の強豪校は、基本+ α で、独自の射形を持っていると感じています。また、弓具の選定やチューニングにも積極的に取り組み、なるべくお金をかけずにベストな状態に近づけるようにしていきたいと考えています。

〈おわりに〉

アーチェリー経験のない私が顧問になって8年が過ぎようとしています。右も左もわからない手探り状態の中でここまで何とか顧問を続けてこられましたのは、応援とご協力をいただいた長野県高体連の先生方と大会や練成会そして合宿に暖かく迎え入れていただきご指導をいただいた全国高体連の先生方のお陰と思っております。末筆にてはなはだ失礼ではありますが、感謝申し上げます。ありがとうございました。(白井)

教師になって4年。アーチェリーがすべての中心であったように思います。県内外問わず遠征や大会でお会いした全国で活躍されている先生に、技術的なことはもちろん、部活動のあり方、顧問としてのあり方、さらには、教師としてのあり方を、惜しむことなく教えていただきました。心から感謝申し上げます。(渡邊)



[学校紹介]

丹南高校アーチェリー部

福井県立丹南高等学校アーチェリー部

顧問 田中真徳

<丹南高校の紹介>

本校は福井県鯖江市の中心部に近い西部の日野川沿いの長閑な田園地帯の中に位置します。鯖江市の地場産業には眼鏡（国内シェア90%、世界シェア20%以上）、越前漆器、織維があり、その振興に力を注いでいます。

本校は1980年に普通科高校として開校し、1996年より普通科1学年5学級のうち3学級を総合学科に改編しました。人文系および美術系を主におき、人文科学・情報科学・アート・デザイン・地域文化の5系列でスタートでのスタートでした。その後2004年に総合学科単独校になり、新たに自然科学・生活福祉の2系列を設置して7系列



体制で現在に至ります。県内の県立高校で唯一の総合学科校で、豊富な選択科目を設定し、眼鏡や陶芸などの特色ある講座も開講されています。「苟日新 日日新 又日新」を校訓とし、「昨日よりも今日、今日よりも明日というように、日を追って自分を磨き、立派になること」を基本方針としています。

部活動では、「なぎなた」「美術」「吹奏楽」が全国大会に出場するなど、体育・文化両面での活躍が目立ってきています。また、間もなく開校30周年を迎えるにあたり、今までの歴史を振り返りつつ、更に魅力ある学校にするために生徒・教職員・PTAが活気づいています。



<アーチェリー部の紹介>

開校とともに創部し今年で26年目となります。現在3年女子4名、2年男子2名・女子3名、1年男子6名の計15名で活動しています。平日は放課後3時間程度、土日は6時間程度の練習をしています。部訓は、「心・技・体」です。競技・部活動を、社会に役立つ人間を育成する一助としてとらえて部活動運営にあたっており、挨拶・礼儀・感謝の念を持つことのできる人間を目指しています。それを指導の根幹に置くため、シューティングやトレーニングの時間よりも、部員全員で挨拶の声出しや、エル交換に時間を使うことがあります。



創部後、15年間程は全国高校総体や国体での個人・団体を通しての連続入賞が多数ありました。その後、全国高校総体や国体での連続入賞がほとんどないのが現状です。現在はその過去の栄光に追いつき追い越せと地道に活動しています。

最近の主な成績

平成14年	・全国高校総体 团体男子 21位 個人男子 出 場
平成15年	・県春季総体女子個人優勝 ・北信越高校総体 個人女子 優 勝 ・全国高校総体 個人男子 出 場 個人女子 34位
平成16年	・県春季総体 個人女子 優 勝 ・北信越高校総体 男女団体 出 場 個人女子 優 勝 ・全国高校総体 個人女子 準優勝 個人男子 出 場 ・北信越国体 少年女子個人 優 勝 ・新人戦 団体男子 優 勝 個人男子 優 勝
平成17年	・県春季総体 個人女子 優 勝 団体女子 優 勝 個人男子 優 勝 ・北信越高校総体 団体女子 出 場 個人男子 出 場 ・全国高校総体 団体女子 38位 個人男子 出 場
平成18年	・県春季総体 個人女子 優 勝～3 位 団体女子 優 勝 個人男子 準優勝 ・北信越高校総体 団体女子 優 勝 個人女子 準優勝 ・全国高校総体 団体女子 33位 個人男子 出 場

[学校紹介]

天竜林業高アーチェリー部

静岡県立天竜林業高等学校アーチェリー部

顧問 青木 誠

〈天竜林業高校の紹介〉

本校は、林業を校名に冠する全国唯一の高校として、森林資源の町・天竜に位置しています。「木の文化の継承と創造」を目標として、農業の森林科学科・環境システム科、工業の建築デザイン科、商業の情報経営科を設置しています。各学年4クラス、全校で452名の生徒が学んでいます。「ものづくり」に力を入れ、充実した授業を展開しています。今年で創立82年目となり、これまでの卒業生は9,000名を超えていました。



〈天竜林業アーチェリー部の歴史〉

昭和61年春、浜松工業高校でアーチェリー部監督をされていた中村忠志先生が本校に赴任し、同好会を立ち上げました。全国大会・国体において監督として活躍された中村先生は、射場を作ることから始めました。校内の工場脇の通路がちょうど50Mあり、練習場として整備しました。その年に東海大会へ出場し、翌年からは部活動として認められます。生徒3名・顧問1名でのスタートでした。

その後、平成10年度には部員数が2名に減少し、廃部の危機を迎えます。しかし、その年に本校アーチェリー部として初の全国選抜大会・翌年には全国総体への出場を果たし、新入部員が増加しました。その後は、選抜大会に2回・全国総体に1回出場しています。

〈現在のアーチェリー部〉

現在の部員は31名（1年13名・2年7名・3年11名）です。50M・30Mの練習場があり、的小屋や4脚・ベンチはすべて顧問と選手による手作りです。冬期には、校内の工場で18Mまで射することができます。長距離の練習は、外部で行います。移動に往復2時間近くかかりますが、少しでも多く練習できるよう、努力しています。

練習時間は16時から19時までです。そのあと希望者は、居残り練習として、20時から21時まで練習します。土曜日は午前中に全体練習を行い、居残り希望者は午後まで練習します。

活動について、次の3点を心がけています。



・弓が好きである

全員が高校から競技を始めています。初めて弓を手にした感動を大切にし、活動しています。



・感謝の気持ちを持つ

アーチェリーは、多くの人に支えられなければ続けることができません。支えてくれる家庭・学校・仲間そして弓具に、感謝の気持ち忘れないよう心がけています。

・1射の責任を感じる

うまくいった射も失敗も、すべて自分で矢を放った結果です。技術や取り組み・精神を含め、アーチェリーを通して大きく成長していきたいと考えています。

〈目標と課題〉

本年度の目標は、各大会で勝ち残り、少しでも長くシューティングラインに立っていることです。様々な選手と出会い、そして学びたいと思います。自分たちに足りないものを知り、向上していきたいと考えます。

練習においては、時間の使い方を工夫したいと思います。元気のある充実した練習を、選手の力で作っていってもらいたいです。



[学校紹介]

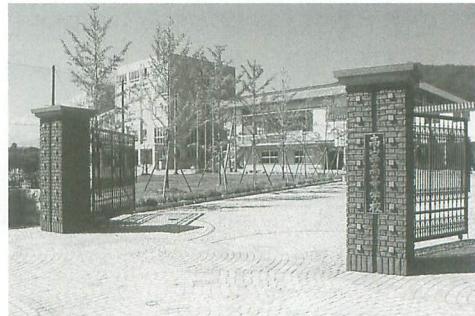
高山西高校アーチェリー部

高山西高等学校アーチェリー部

顧問 津田博司
蟹江信介

＜高山西高校の紹介＞

本校は、日本のど真ん中といわれる岐阜県の北端に位置し、観光地として全国的に知られる「飛騨の小京都高山」（飛騨高山）の地にあります。春・秋の絢爛豪華な高山祭、優れた伝統工芸など独自の文化を持っています。特に、さんまちの古い街並は観光客にとても人気があります。本校は、市街地の西端の自然豊かな文教地区にあり、昭和38年創立で、生徒数700人の全日制普通科の私立高校です。平成元年より学校改革に取り組み、「文武両道」を掲げ進学指導・生徒指導・特別活動指導に着実な成果をあげてきました。その独自の指導が評判となり、毎年全国からたくさんの公私立を問わず、視察に訪れます。また、高校ではめずらしい国際環境規格「ISO14001」の認証を取得し、「エコスクール宣言」を制定、環境教育にも力を入れております。部活動も活発で、アーチェリー部男女・ハンドボール部男子・スキーパー部がインターハイ出場、剣道部男女・バスケットボール男女・卓球部女子は県ベスト4以上の実力有しています。また、ウインドアンサンブル（吹奏楽）部もマーチングなどの全国大会で優秀な成績を収めており、学校全体が非常に活気のある学校です。



＜部の歴史＞

平成元年から学校改革に取り組んだ本校は、手始めに「学校の活性化」をめざしました。当時、特別活動部門の改革を担当していた私は、そのためには「生徒会活動」・「部活動」の活性化を図らねばならないと考えました。また時を同じくして、県教委より私学の特性を生かした「なぎなた」「ボーリング」「アーチェリー」などの特殊な部活動を取り入れたらどうかとの指導がありました。そこで校長と協議の結果、高山西高校にアーチェリー部を創設しようということになったのです。そして、創設に関わった私に顧問の白羽の矢が立ったのです。

「アーチェリー競技」とはどんな競技だろう。まったく見たことも聞いたこともないゼロからのスタートでした。手探り状態の中、出会えたのが全国専門部前委員長の田中康彦先生でした。田中先生との出会いが本校アーチェリーの躍進のきっかけになりました。それからは、合宿等に参加させてもらいながら、創部2年目の平成3年、初めて高校選手権大会（山形県鶴岡市）に出場したのが全国デビューとなりました。その後は、部員が集まらない、練習に出てこない、退部するなど苦難の草創期でしたが、何とか乗り越えてきました。そして、平成12年に岐阜県でインターハイ開催が決定したことが、部にとって躍進のチャンスとなりました。県の強化指定を受け、競技会場が高山市に決まったこともあ

り、部員数も増えて有望な選手が出てくるようになりました。私学教員としては、あまり前例がないとのことでしたが、インターハイ準備のため高山市役所に出向して大会に向けての強化・準備・運営等に直接関わられたことも、大きな力となりました。平成9年にコーチとして近大OBの蟹江信介君（現顧問）を迎えた、また、富山国体に向け強化していた富山県の浦田先生・杉浦先生やSEAの金相勲コーチ（現日体大コーチ）の合同合宿・練習等での指導などもあって、平成10年の香川インターハイ（丸亀市）で初めて男子団体3位入賞を果たすことができました。11年の岩手IH（松尾村）では、女子個人で3位入賞・同年の熊本国体（菊陽町）で女子団体8位入賞と個人2位、12年の地元岐阜IH（高山市）で男子個人2位と連続して全国入賞するまでに成長することができました。そして、昨年の千葉IH（船橋市）で女子団体2位・女子個人3位と、創部以来、念願である「全国制覇」は夢ではないと感じさせてくれるまでになりました。

これまでの道程はけっして平坦ではありませんでしたが、田中先生（前委員長）はじめ、水上先生（現副委員長）・富山の浦田先生・杉浦先生（泊高校）やSEAの韓国コーチのみなさん、それに新海先生（愛産大三河高校）など、沢山のよき先生方に出会い、ご指導いただいたからこそ、ここまで来ることができたのだと思っています。ただただ感謝の一言です。ありがとうございました。今年からは教員となった蟹江先生にバトンタッチして、サポート役に徹しながら「高山西高校アーチェリー部」を見守っていきたいと思っています。



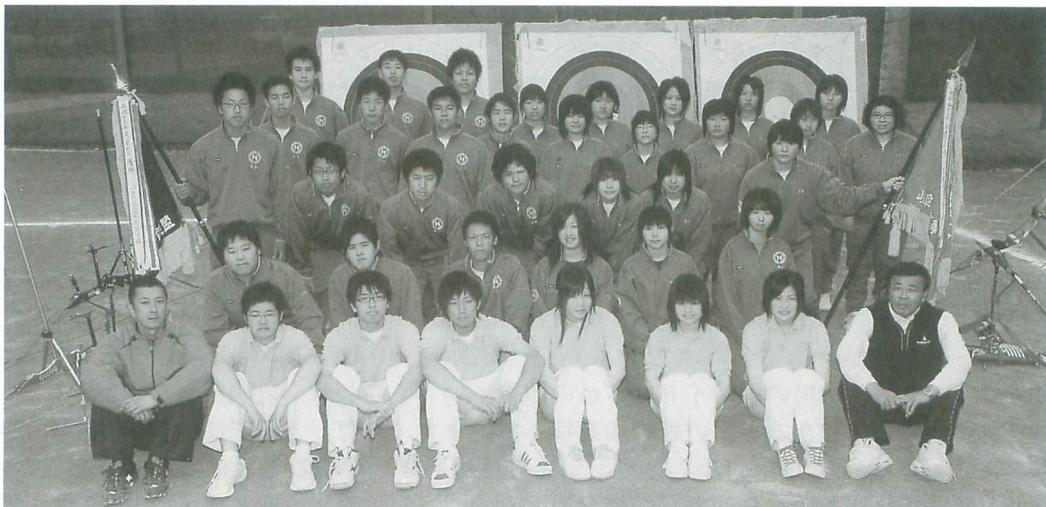
＜部の現状＞

現在の部員は、3年男子3名・女子3名、2年男子7名・女子6名、1年男子7名・女子10名の計36名です。練習場はグラウンド南端にあり、80cm的で10~12的、122cm的で6~7的貼れます。70mだけなら10~12人、90mはその半分の幅で5~6人が同時に射てます。射場の両サイドは6mの防矢ネットで囲われ、夜間照明も設備され、いつでも安全に使用できる専用の練習場を持っています。ただ、冬期間は積雪が多く冷え込みも厳しいため、11月中旬から3月下旬までは射場で練習することはできません。そのため、冬期間は空き教室2つを室内練習場として使用します。近射とウエイトトレーニングを中心に射込み・フォームのチェック・筋力アップを図っています。インドア大会にも出場しますが、18mの距離練習はまったくできないので、会場でぶつけ本番で臨みます。それでも上位入賞する選手もありますので、やはり日々の地道な練習が正確なショットにつながるものだと確信しています。平成8年から冬期間の室内練習を計画的に行うようになって、ようやく全国大会で入賞することができるようになりました。室内練習は単調になりやすいため、近射の重要性・筋力アップの必要性を説き、毎日200~300本の射込みが力になると、毎日の本数を記録させ競争させてモチベーションを高めています。

本校は、全員入部制で変則的な時間割を組んでいます。通常の授業は1~8時限まであり、水・木・金曜日の7~8時限は授業内で部活動を行います。進学クラスは部活動を一切行わず、授業に専念します。8時限終了は16時40分で17時より放課後の練習に入ります。進学クラスは17時より9時限の授業に入るという体制を取っています。したがって、ほとんどの生徒が19時ころまで何らかの活動を行って学校内にいます。このシステムが

確立してきた平成7～8年から、部活動においても進学においても徐々に成果があがってきました。それと、何よりも生徒指導上の問題が激減し、学校全体がすべてに活性化してきました。そんな中で、アーチェリー部も全国で活躍できるようになってきました。平成12年の岐阜インターハイの高山市開催は、本校の全職員・生徒が一丸となってアーチェリー競技を支えました。その甲斐あって、男女の活躍と大会を成功裏に終えることができました。

本校は年間4回の長期強化合宿を行います。ゴールデンウイーク・夏休み・冬休み・春休みの4回を県外で行ない、時には他校・他県との合同合宿で強化を図っています。他に2～3回の短期遠征を行い、交流を深めています。全国で戦うには学校の練習だけでは戦えないと思っています。最近、全国のレベルがどんどん高くなっています。本校生徒は、全員が入学後に初めてアーチェリーに取り組みます。これからはジュニアの育成が重要になります。幸いにして、岐阜県は平成24年に国体開催が決定し、競技会場は高山市に内定しました。地元高山市でも国体に向けてのジュニアの育成に取り組みました。地元の期待も日々高まります。これらの選手が、高山西高校アーチェリー部員としてインターハイ・国体で活躍し、将来、世界に羽ばたくような選手に成長してくれればと願っています。



<主な成績>

平成10年度	全国高校総体	男子団体3位	香川県丸龜市
平成11年度	全国高校総体	女子個人3位	岩手県松尾村
	熊本国体	女子個人2位	熊本県菊陽町
		女子団体8位	
	全国高校選抜	男子個人5位	つま恋
		女子個人7位	
平成12年度	全国高校総体	男子個人2位	岐阜県高山市
平成15年度	全国高校選抜	女子個人4位	つま恋
平成17年度	全国高校総体	女子団体2位	千葉県船橋市
		女子個人3位	
平成18年度	全国高校総体	女子個人6位	奈良県橿原市

〔技術セミナー〕

「リリースの時に何が起きているのか（その2）」

大阪市立大学 都市健康・スポーツ研究センター 渡辺一志
日本体育大学 大学院体育学研究科 高井秀明

昨年度、全日本アーチェリー連盟の強化専門部（医・科学スタッフ）と国立スポーツ科学センター（JISS）との共同研究「アーチェリーのエイミングにおけるクリッカーリテクニカル技術の分析」を実施し、パフォーマンスの差異と伸び合いのパターン、筋活動、重心動揺、心拍変動について分析を試みた。今年度は、上級者を対象として、射距離70mで、36射（昨年度は、50m、6射）を分析し、その変動について検討した。さらに、選手が捉えた感覚の中で良い射と悪い射で差異が見られるのかについても分析を試みた。

Table 1 実験に参加した被験者

被験者	性別	身長	体重	競技開始年齢	弓歴	試合最高点	練習最高点	実質ボンド	最大筋力	今回の得点
R.M.	男	173.8	69.7	15	6	1336	1335	47.5	99.1	326
T.F.	男	174.4	75.2	15	7	1334	1308	49.1	84.2	332
T.W.	男	165.9	57.1	18	11	1325	1352	46.9	61.8	337
T.B.	男	174.1	61.3	12	4	1311	1280	45.1	84.0	280
M.A.	女	165.4	73.1	16	14	1344	1360	39.9	48.5	335
S.K.	女	164.3	57.2	16	11	1340	1332	37.2	42.1	321
M.Z.	女	163.2	55.8	8	8	1300	1384	33.6	64.0	322
A.S.	女	158.2	56.0	15	2	1295	1303	36.9	51.6	306

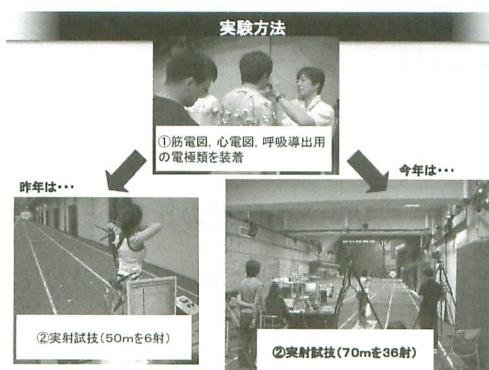


Fig. 1 実験方法1

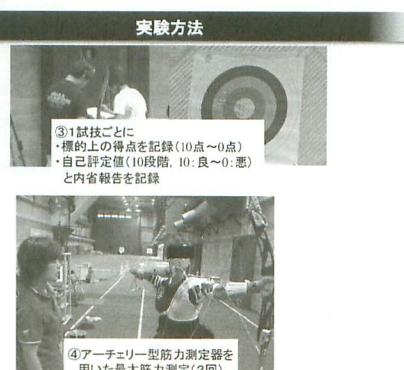
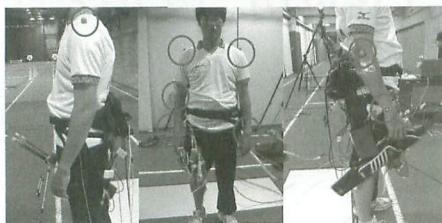


Fig. 2 実験方法2

今年度は…

- 三次元動作解析を行い、得点と動作の関係を検討した



両肩(肩峰), 引き手肘先, 引き手手首(尺骨骨頭), 押し手手首(とう骨骨頭), 弓(ハンドルのグリップ付近)に反射マーカーを貼付した

Fig. 3 動作分析1

今年度は…



5台の赤外線カメラにより、三次元座標データを取得した

Fig. 4 動作分析2

昨年度のまとめと今年度のねらい

- 上級者は、中級者・初級者に比べて、
 フォロースルーまで力を維持できている
 特に…
 - 中級者は上級者に比べて、引き手側僧帽筋中部と
 押し手側三角筋中部の力が維持できていない
 = 引き手の肩甲骨を寄せる動きと押し手の肩の支えが
 きいていない
 - 初級者群は上級者・中級者に比べて、引き手側・押し手側
 とも僧帽筋の力が維持できていない
 = 肩甲骨を寄せる動きをしていない

- 各筋の筋活動は得点と関係があるのか?
 各筋の筋活動は成功射と失敗射で違うのか?
 フォロースルーまでの筋活動維持は得点と関係があるのか?

Fig. 5

筋活動(筋電図について)

- 表面筋電図測定
機材:ホルター筋電計ME3000P (Mega Electronics, Finland)

電極貼付部位:11部位

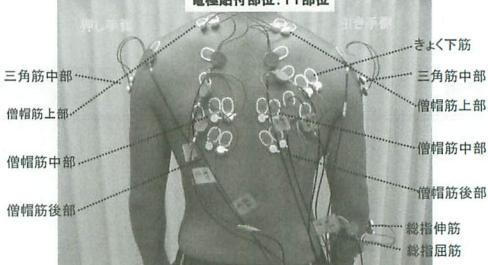


Fig. 6 筋電図の電極貼付

筋活動(筋電図について)

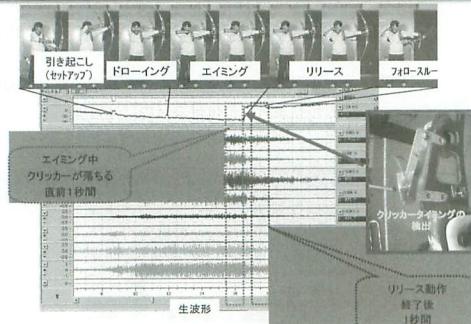


Fig. 7

エイミング中の筋活動が選手の選手が捉えた感覚の中で良い射と悪い射で差異が見られるのか分析した。

成功射と失敗射の比較(被験者R.M.)

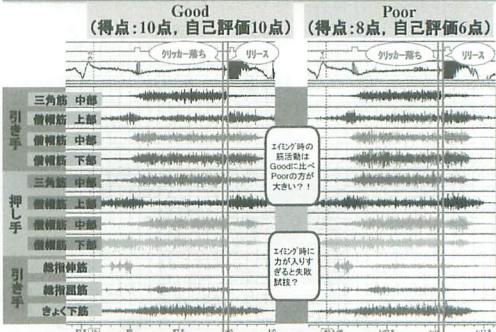


Fig. 8 成功射と失敗射の比較

成功射と失敗射の比較(被験者A)

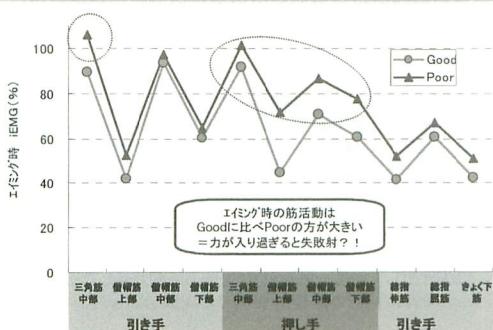


Fig. 9 成功射と失敗射の筋活動1

成功射と失敗射の比較(被験者D)



Fig. 10 成功射と失敗射の筋活動2

成功射と失敗射の比較(他の6名の被験者)

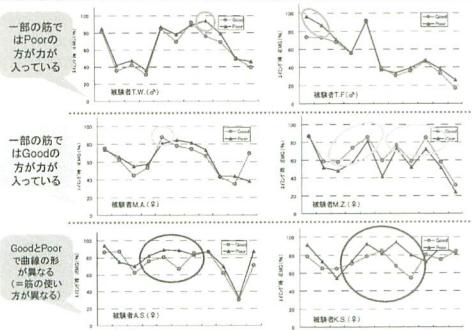


Fig. 11 成功射と失敗射の筋活動

イミング中の筋活動と自己評価の関係(被験者D)

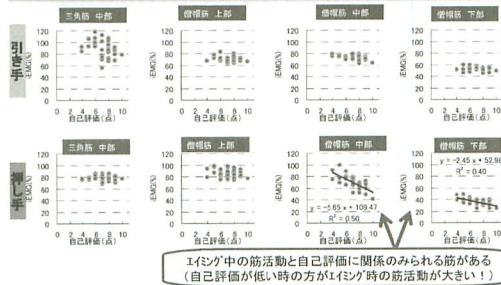


Fig. 12 筋活動と自己評価の関係(D)

- 各筋の筋活動は得点と関係があるのか？
- 各筋の筋活動は成功射と失敗射で違うのか？

- 各筋の筋活動は得点や自己評価と関係のある人もいたが、関係がない人もいた⇒個人差が大きい
- 成功射と失敗射で筋活動を比較すると、3つのパターンがみられた。
 - パターン1: 失敗射の方が筋活動が大きい筋がある
 - パターン2: 成功射の方が筋活動が大きい筋がある
 - パターン3: 成功射と失敗射で筋の使い方が異なる

Fig. 13 筋活動について

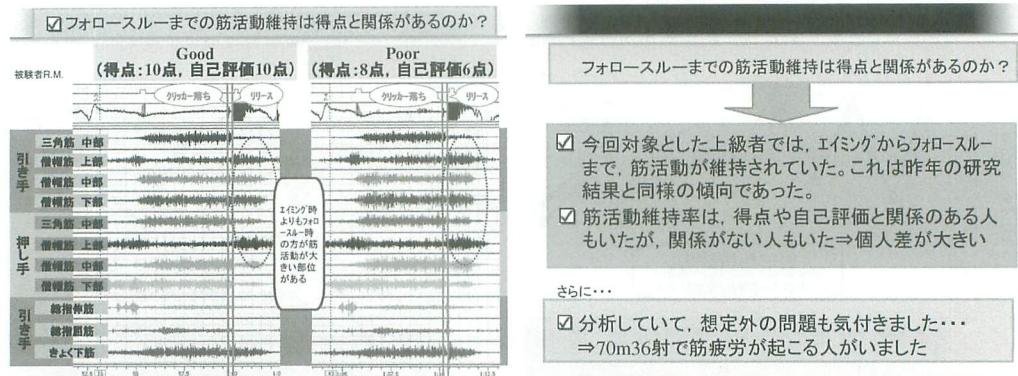


Fig. 14, 15 フォロースルーまでの筋活動維持と得点

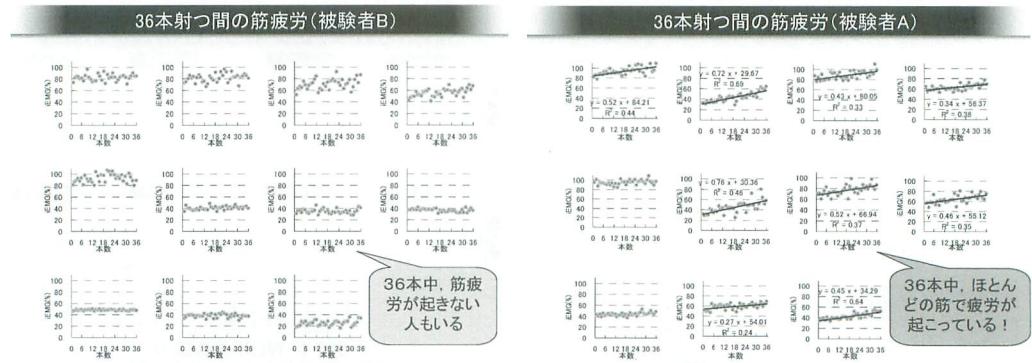


Fig. 16 筋疲労が見られない選手

Fig. 17 筋疲労が多く見られる選手

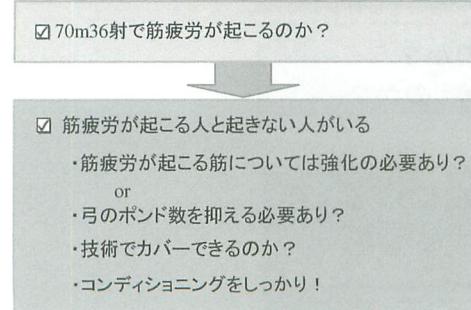


Fig. 18



4

Fig. 19 重心動揺の分析

重心動揺については、重心動揺軌跡長は、得点とも自己評価とも有意な関係は認められなかった。

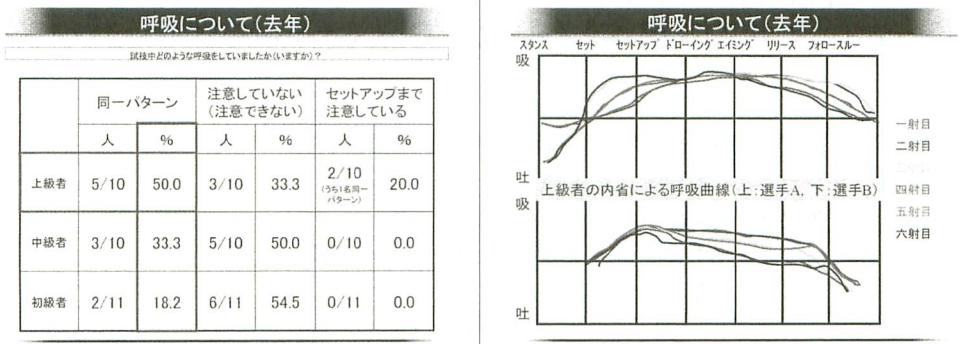


Fig.20 呼吸の内省報告のまとめ

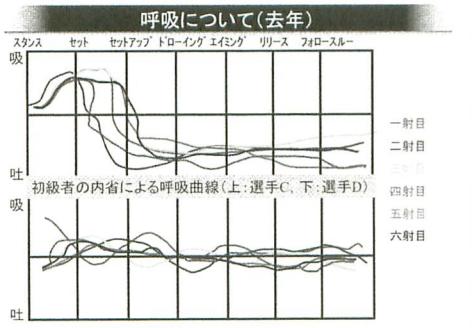


Fig.22 初級者における呼吸の内省報告の例

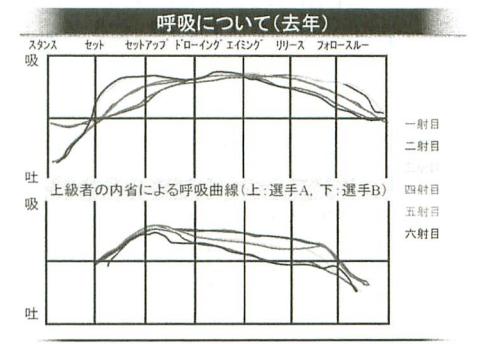


Fig.21 上級者における呼吸の内省報告の例

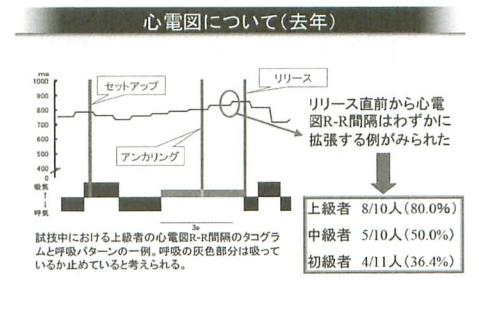


Fig.23 試技中の心電図のまとめ

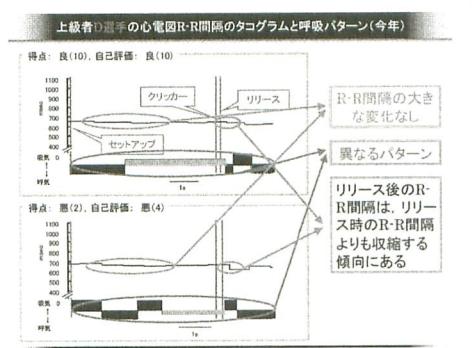


Fig.24 上級者D選手の試技中の心電図と呼吸

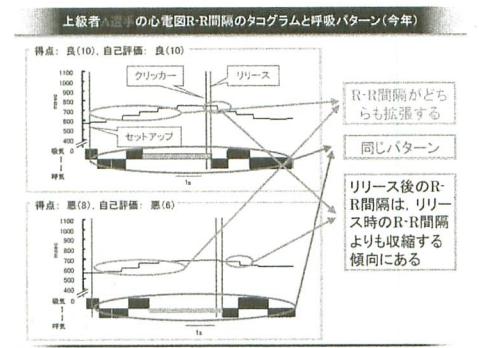


Fig.25 上級者A選手の試技中の心電図と呼吸

呼吸において、上級者で「呼吸に注意している」と報告する者は、呼吸の内省報告で全て同一パターンを示した。また、競技レベルが高くなるにしたがい、呼吸に注意を向ける割合が高くなることが明らかとなった。

心電図R-R間隔は、競技レベルが高くなるにしたがい、リリース時に拡張する割合が高くなっている。

2006年度 全国指導者研修会フリートーキング

◎3グループに分かれ、それぞれのグループでフリートーキングをした。その内容の一部を紹介する。

部活動運営や生徒のモチベーションを持続させる練習内容について

協議内容① トレーニング方法について

グループ内の参加された高校毎の練習時間は

2時間未満・・・2校 2時間以上3時間未満・・・10校 3時間以上・・・4校

この中でトレーニングの時間や内容について

- ・生徒に合わせた体力向上を目標としたトレーニングを主にシーズンオフに行い、トレーナーと相談しながら実施している。
- ・週に2~3回程度、ダンベルを使用して行っている。ただし、間近の試合に合わせてトレーニングの有無を決めている。
- ・毎日1時間程度、ペットボトルを利用したトレーニングを行っている。
- ・弓を引く為の筋肉、つまりインナーマッスルを強化するトレーニングが必要である。自分の体重を利用した練習をゴムの上下運動などで行っている。
- ・利き腕と逆の手で引かせることも有効である。特に初心者の段階で取り入れている。
- ・ラダーを利用したトレーニング
- ・剣道の練習なども肩甲骨の動きを意識させるのに有効である。
- ・2人1組になってストレッチなどを取り入れると有効である。

トレーニングは負荷のかかる筋肉を意識させながら、かつ指導者が理解していないと効果的ではない。特に弓を引くときの体のバランスが崩れず安定させることを目的としたトレーニングを工夫していく必要がある。

協議内容② 近射について

これから冬の時期を迎え、近射が多くなる。

- ・単調になりがちなため、何のために行うかを意識し、練習の最初から最後まで同じ意識を持たせなければならない。
- ・目を閉じて射ったり、サイトを下げて射たりすることも有効である。
- ・距離に入ったときに出来ないことを近射で直し、補正する。紹介されたカコロクなどを有効活用できる。
- ・近射で点取りをするのも良い。近射1本毎に生徒は的にのった矢をイメージした点数をつけ、先生は技術（射型）点をつけ、比較していく。
- ・ペアボウの状態で近射させ、ポンドアップをさせる目的もある。
- ・練習用のハンドルの上部に水を入れた500mlのペットボトルを付けて近射したり、あるいはゴムの先端に取り付け、ゴム引きすると良い。重心を意識させることができる。

単調になりがちで目的意識が希薄になりそうだが、そならぬよう工夫していく必要がある。

その他

- ・弓具のチューニングなど生徒が自分で出来るようにさせておく必要がある。
- ・シューティングでの呼吸については、10のうち、6だけ吸って吐きながら射つとよいのではないか。

会員登録用紙について

今年度高校生の社団法人全日本アーチェリー連盟ならびに全国高体連アーチェリー専門部への登録の処理に当たり指定学校番号・男女別選手登録欄・集計欄・登録料等お間違えのないように、確認の上登録手続きを5月20日必着（一次締め切り）までに行って下さい。

なお 各都道府県専門委員長、代表者の方は各加盟高等学校に配布し登録手続きをスムーズに運営していただきたいと思います。

登録に関する送付書類

1. 新登録用紙（A4判）
(学校・選手登録用紙と指導者登録用紙)
2. 登録用紙の記入例見本
3. 指定都道府県番号一覧表資料
4. 登録用紙の流れの手順について説明

【注意】

- ◎登録料・負担金は各都道府県でまとめて一括で振り込んで下さい、提出締め切り日をお忘れなく、早めに処理をお願いします。
- ◎不足登録用紙が発生したときはお手数ですがコピーをして処理して下さい。
- ◎学校番号は会報の学校登録一覧表（P9～）を参考に、お間違えのないように記入を、お願いします。
- ◎新規学校は新たな番号で、昨年登録し今年度未登録学校の番号は空き番号で処理お願いします。
- ◎男子番号・女子番号の間違い、学校登録番号等のミスを無くして下さい。
- ◎選手登録用紙・指導者登録用紙がA4判に変わりました、旧録用紙は廃棄。
- ◎個人登録番号は男子は→1001　・ 女子は→5001　より各学校で付記します。
(例) ○○H00-1001男子　○○H00-5001女子

専門部会員登録加盟方法 費用の送金方法について

選手登録料・学校登録料は各都道府県でまとめて一括振り込みをお願いします、振込金額を確認し、会員登録の提出締め切りを厳守して、遅れないように登録手続きを行って下さい。

なお 財団 法人全日本アーチェリー連盟・指導者登録を受け付けております。別紙登録用紙に記入し登録料金（顧問一人千円）の支払いをお願いします。

連盟の規定により、審判資格取得者は一般登録か指導者審判員登録でお願いします。

1. 加盟・登録方法について（高等学校生徒の場合）

各都道府県で登録用紙・登録料・学校負担金を集計され、一括して全国高体連アーチェリー専門部事務局へ登録用紙5部すべてを簡易書留にて郵送して下さい。

【各都道府県での登録用紙を学校別（5枚一組）にまとめ、学校数すべての用紙を、銀行振込証明書と共に郵送すること】

2. 会員登録料及び学校負担金について

各都道府県で取り纏めて、代金を指定の銀行振り込み用紙を用いて振込手続きを行い、会員登録料振込済証明書を登録用紙に添付（1枚目の登録用紙）し、事務局へ簡易書留にて郵送する。

1) 会員登録料について

- ① 選手1人につき1,300円（送付金は1人1,100円）

各所属都道府県ア協会に支部登録料として選手1人200円を支払い残りの1,100円を全国専門部事務局まで

② 学校負担金について

・単独校（男子のみ女子のみの学校） 一校につき 4,000円

・複数校（男女共学で両方に登録がある場合） 一校につき 8,000円

・複数校（男女共学でいずれかしか登録しないとき） 一校につき 4,000円

- ③ 指導者登録（顧問登録）1人につき1,000円。

公認審判員有資格者は所属協会事務局を経由して、一般会員と同じように登録を行ってください。

一般会員登録 競技者登録 1人 4,000円

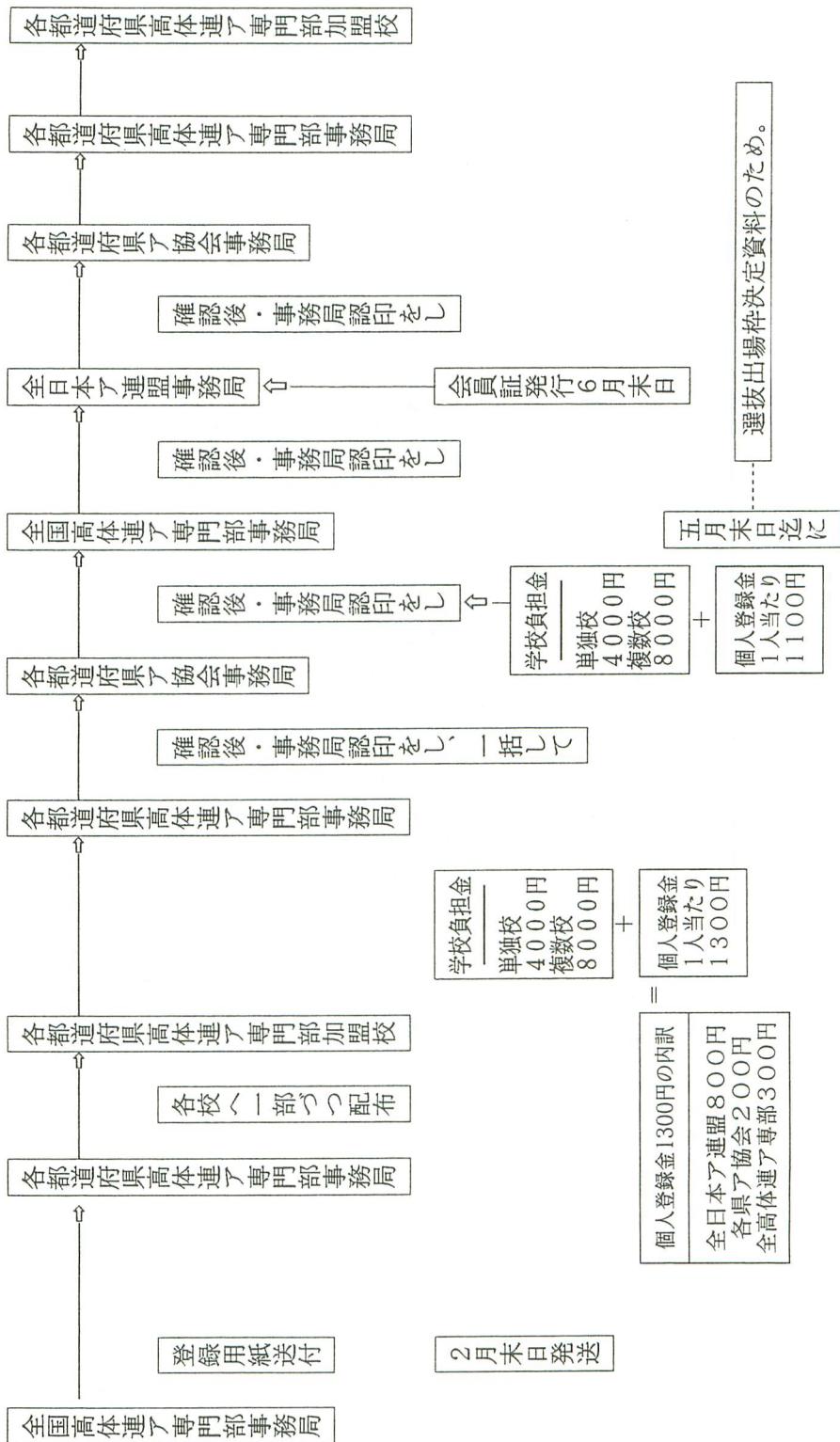
審判登録 1人 3,000円

※一般会員登録用紙は各支部協会事務局に準備されております。

高校生と締め切り日が異なりますのでご注意ください。

=高校生登録者締め切り 5月20日 全国高体連アーチェリー専門部事務局必着

全国高等学校体育連盟ア専門部・全日本ア連盟 登録(届用紙)の流れについて



会員届け入方法

西暦で記入

都道府県名を記入し
該当項目に○をす

該当項目に○をして
正式学校名を記入

(選手用) 20 年度(社)全国高等学校体育連盟・(財)全国高等学校アーチェリー専門部会員登録用紙

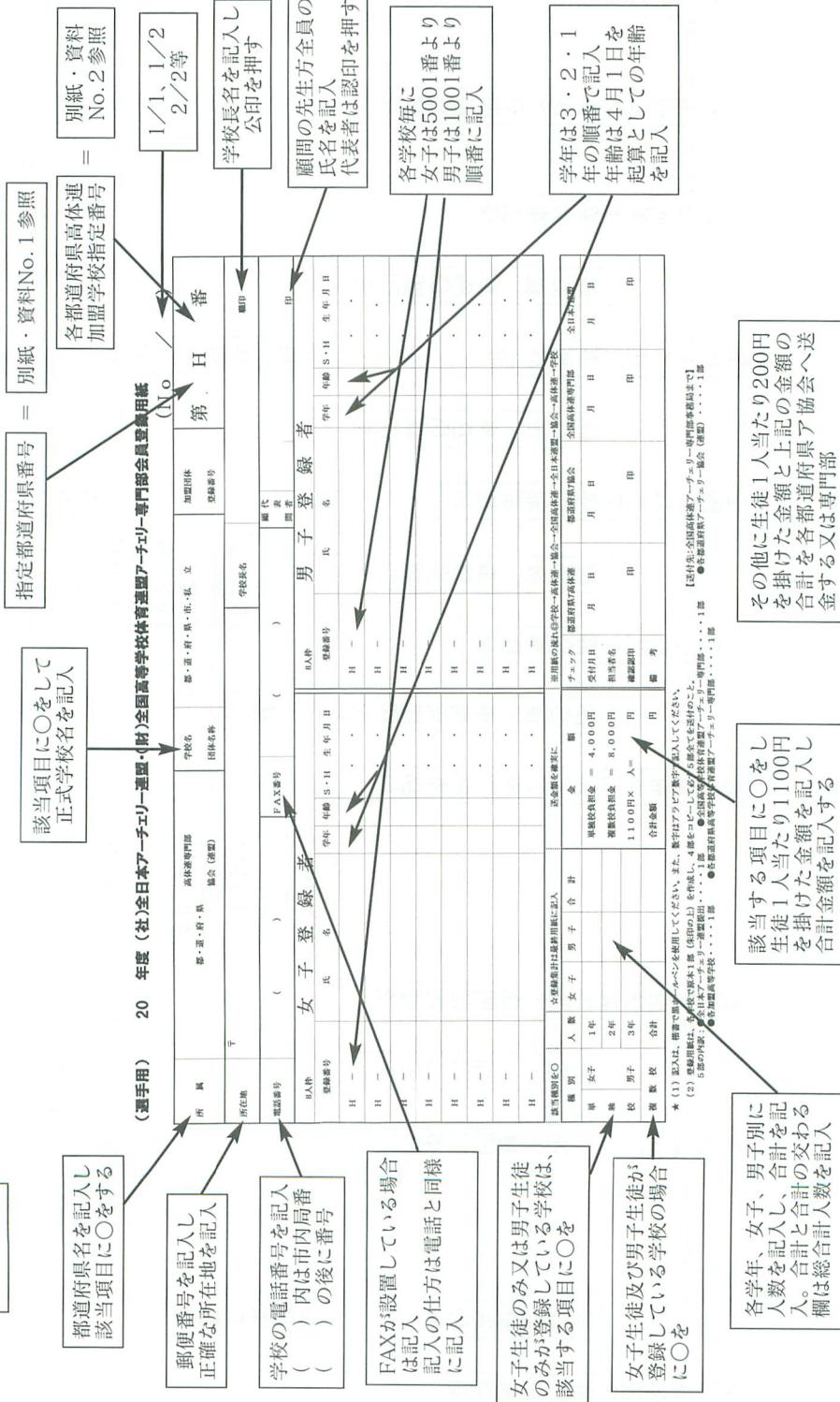
郵便番号を記入し
該当項目に○をす

学校の電話番号を記入
() 内は市内局番
() の後に番号

FAXが設置している場合
(は記入
記入の仕方は電話と同様
に記入)

女子生徒のみ又は男子生徒
のみが登録している学校は、
該当する項目に○を

女子生徒及び男子生徒が
登録している学校の場合
に○を



指定都道府県番号表

指 定 都 道 府 県 番 号	都道府県名	指 定 都 道 府 県 番 号	都道府県名	指 定 都 道 府 県 番 号	都道府県名
1	北海道	17	長野	33	岡山
2	青森	18	富山	34	広島
3	岩手	19	石川	35	山口
4	宮城	20	福井	36	香川
5	秋田	21	静岡	37	徳島
6	山形	22	愛知	38	愛媛
7	福島	23	三重	39	高知
8	茨城	24	岐阜	40	福岡
9	栃木	25	滋賀	41	佐賀
10	群馬	26	京都	42	長崎
11	埼玉	27	大阪	43	熊本
12	千葉	28	兵庫	44	大分
13	東京	29	奈良	45	宮崎
14	神奈川	30	和歌山	46	鹿児島
15	山梨	31	鳥取	47	沖縄
16	新潟	32	島根		

★個人登録番号の付記について

1) 指定都道府県番号はHの前に

例：東京都の場合 13 H -

2) 指定学校番号はHに続いて

例：東京都の
玉川学園高校の場合 13 H 06 -

3) 個人登録番号をーの後に男子は1001・女子は5001より各学校で付記

例：東京都の玉川学園高校の場合 13 H 06-1001 (男子の場合)
13 H 06-5001 (女子の場合)

(選手用) 20 年度 (社)全日本アーチェリー連盟・(財)全国高等学校体育連盟専門部会員登録用紙
(N o /)

所 属	都・道・府・県 高体連専門部 協会(連盟)	学校名 団体名称	都・道・府・県・市・私・立	加盟団体 登録番号	第 H 番	
所在地				学校長名	職印	
電話番号	()	FAX番号	()	顧代表者 開	印	
8人件	女子登録者 氏 名	学年 年齢 S・H 生年月日	8人件 登録番号	男子登録者 氏 名	学年 年齢 S・H 生年月日	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
H -		.	H -		.	
該当欄別を○			☆登録集計は最終用紙に記入	送金額を確定に	※用紙の流れ◎学校→高体連→協会→全国高体連→協会→高体連→学校	
種 別	人 數 女 子 男 子 合 計	金 額	チ ェ ッ ク	都道府県高体連	全国高体連専門部	全日本7連盟
単 独	女子 1年 2年 3年 男子 1年 2年 3年 複 数 校	単数校負担金 = 4,000円 複数校負担金 = 8,000円 1100円× 人= 円 合計金額 円	受付日 担当者名 確認印 備考	月 日	月 日	月 日

★ (1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。

(2) 登録用紙は、各学校で原本1部(朱印の上)を作成し、4部をコピーして必ず5部全部で送付のこと。
5部の内訳:
● 全日本アーチェリー連盟提出・・・・1部
● 全国高等学校体育連盟アーチェリー協会(連盟)・・・1部
● 各都道府県アーチェリー専門部・・・1部
● 各加盟店提出・・・・1部

【送付先: 全国高体連アーチェリー専門部事務局まで】
● 各都道府県アーチェリー協会(連盟)・・・1部

指導者登録

20 年度 (社) 全日本アーチェリー連盟・(財) 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部会員登録用紙

(No. /)

所属	高体連専門部 都・道・府・県 協会(連盟)			加盟 都道府県番号	第 番	
加盟団体 名 称				専門部長名 又は会長名	職	
委員長名 責任者名	㊞					
事務局 住 所	〒			電話		FAX
登録者						
登録番号	氏 名	性別	年齢	生年月日	自宅住所	所属学校・事業所名
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	
H -				・・	〒	

8枚

登録集計		金額	チェック	都道府県ア高体連	都道府県ア協会	全国高体連専門部	全日本ア連盟
男子		1,000 円 × 人	受付月日	月 日	月 日	月 日	月 日
女子		1,000 円 × 人	担当者名				
合計		合計金額 = 円	確認印	㊞	㊞	㊞	㊞

- ★ (1) 記入は、楷書で黒ボールペンを使用してください。また、数字はアラビア数字で記入してください。
- (2) 登録番号の割り振りは、Hの頭に都道府県番号・Hの次に指導者が所属している学校番号・ーの次に4桁番号で頭に必ず9を付けて記入する。
(例 01H01-9001 → 北海道番号 H 指導者の所属している学校番号 ー 指導者登録番号)
↑ 番号は千の桁に9を必ず付けて、百桁より登録順に整理する、001~順に。
- (3) 登録用紙は、各都道府県で原本1部(押印の上)を作成し、4部をコピーして必ず5部すべてを送付すること。

審判半袖シャツ、帽子の斡旋について

審判半袖シャツ

サイズ 新JASPOサイズ（従来のサイズより大きめです）

	バスト・身長
S S	84-3 (84・160)
S	88-4 (88・165)
M	92-5 (92・170)
L	96-6 (96・175)
L L	100-7 (100・180)
3 L	104-8 (104・185)
4 L	108-9 (108・190)

価格 ¥4,900-（消費税、送料込み）

審判帽

サイズ M (56cm)、L (58cm)、O (60cm)

価格 ¥3800-（消費税、送料込み）

注文方法

- ・都道府県ごとに取りまとめ、配送先も都道府県ごとに一ヵ所でお願いいたします。
- ・申込書に必要事項を記入し下記までFAXまたは郵送でお送り下さい。
- ・申込期限は6月9日(土)、発送は7月中旬の予定です。
- ・代金は申込と同時に下記口座へ入金してください。

注 振込先が一昨年と変更になっています。

申込先 〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町大字波野195

田布施農業高校 山本一博

TEL 0820-52-2157 FAX 0820-53-0036

送金先 山口銀行 田布施支店(71) 普通口座 6131609

全国高体連アーチェリー総務 山本一博

審判シャツ・審判帽 申込書

申込者

学校名 _____

代表者名 _____

T E L _____ F A X _____

送付先

住所(学校名) _____
〒 _____

名 前 _____

T E L _____ F A X _____

審判シャツ

サイズ	数量
S S	
S	
M	
L	
L L	
3 L	
4 L	
合 計	

審 判 帽

サイズ	数量
M	
L	
O	
合 計	

申込先
〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19
大阪女子高校 佐幸 修
TEL 06(6719)2801 FAX 06(6714)0045
送金先 りそな銀行 阿倍野支店(107)
普通口座 0014418
全国高体連アーチェリー総務 佐幸 修

審判シャツ ￥4,900円×_____枚=￥_____円

審 判 帽 ￥3,800円×_____個=￥_____円

合計金額_____円

アーチェリースラックス 価格表

アーチェリースラックス

サ イ ズ 70~88cm (ウエストサイズ) 3cm刻み

¥6,500 (税込)

別注サイズ 91~116cm (ウエストサイズ) 5cm刻み

¥8,450 (税込)

アーチェリーハーフパンツ

サイズ S S、S、M、L、O、X O (男女兼用)

¥5,300 (税込)

送料

北 海 道	北海道	950円
東 北	青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島	600円
関 東	栃木・茨城・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川	450円
中 部 甲 信 越	静岡・山梨・長野・愛知・岐阜・三重	500円
北 陸	新潟・富山・石川・福井	600円
近 畿	滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山・兵庫	650円
中 国	岡山・広島・鳥取・島根・山口	750円
四 国	徳島・香川・愛媛・高知	800円
九 州	福岡・大分・長崎・熊本・佐賀・宮崎・鹿児島	900円
沖 縄	沖縄	2,500円

※1~4本までは、上記送料を別途頂戴致します。

尚、5本以上のご注文につきましては、送料はサービスとなります。

【申し込み】

商品の申し込みは別紙申込書を用いて下記まで直接お申し込み下さい。

東京体育用品株式会社

〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘1-5-3

Tel 045-901-8300

Fax 045-901-8344

アーチェリースラックス・ハーフパンツ申込書

フリガナ		
お名前 (学校名)		
フリガナ		
代表者名 (学校の場合)		
フリガナ		
ご住所	〒	
Tel		Fax

【スラックス】

サイズ	数量
70	
73	
76	
79	
82	
85	
88	

【ハーフパンツ】

サイズ	数量
91	
96	
101	
106	
111	
116	

サイズ	数量
S S	
S	
M	
L	
O	
XO	

アーチェリースラックス

6,500円 × _____ 本 = 合計金額 _____ 円

8,450円 × _____ 本 = 合計金額 _____ 円

ハーフパンツ

3,500円 × _____ 本 = 合計金額 _____ 円

送 料 _____ 円

総合計金額 _____ 円

選手権大会 栄光の歩み

(第1~19回：1日制、第20回~：男女別2日制で実施)

回数	男・女	団体の部	個人の部
第1回大会 (68'8.10.大阪府・東大阪グランド)			
男子	浜松興誠高(静岡) 1639.	福川篤郎(浜松興誠高)	577.
女子	同志社高(京都) 1419.	布浦裕子(同志社高)	503.
第2回大会 (69'8.10.静岡県・県営草薙運動場)			
男子	岸和田産業高(大阪) 1689.	下向辰法(岸和田産高)	573.
女子	同志社高(京都) 1470.	布浦裕子(同志社高)	529.
第3回大会 (70'8.9.東京都・駒沢第一球技場)			
男子	岸和田産業高(大阪) 1606.	伊藤寿彦(岸和田産高)	601.
女子	同志社高(京都) 1505.	熊谷登美(同志社高)	527.
第4回大会 (71'8.1.京都府・府立大グランド)			
男子	浜松工業高(静岡) 1622.	亀井孝(同志社高)	600.
女子	甲南女子高(兵庫) 1493.	井上典子(同志社高)	534.
第5回大会 (72'8.4.神奈川県・三ツ沢球技場)			
男子	横浜高(神奈川) 1702.	角井和夫(広島工業高)	583.
女子	浜松北高(静岡) 1601.	辻紀子(甲南女子高)	552.
第6回大会 (73'8.5.東京都・駒沢第一球技場)			
男子	愛知高(愛知) 1764.	鈴木優(静岡三ヶ日高)	621.
女子	同志社女子高(京都) 1553.	辻紀子(甲南女子高)	558.
第7回大会 (74'8.3.滋賀県・県営彦根総合運動場)			
男子	同志社高(京都) 1707.	河内敏雄(同志社高)	600.
女子	同志社女子高(京都) 1644.	後藤有理子(同志社女高)	573.
第8回大会 (75'8.3.愛知県・愛知学院大グランド)			
男子	大阪工業大高(大阪) 1753.	梅内秀和(八戸工大第二)	646.
女子	同志社高(京都) 1586.	小里頼子(札幌啓成高)	551.
第9回大会 (76'8.1.北海道・札幌真駒内アイスアリーナ)			
男子	三本木農業高(青森) 1810.	市川松治(三本木農高)	633.
女子	富士見高(静岡) 1686.	佐野敦子(富士見高)	592.
第10回大会 (77'7.31.宮城県・秋保森林スポーツ公園)			
男子	慶応義塾高(神奈川) 1817.	神野浩(慶応義塾高)	627.
女子	浜松商業高(静岡) 1724.	松永弘子(富士見高)	607.
第11回大会 (78'7.27.青森県・十和田市陸上競技場)			
男子	愛知高(愛知) 1785.	山本博(横浜高)	639.
女子	三本木農業高(青森) 1641.	山内京子(浜松商業高)	570.
第12回大会 (79'7.29.広島県・県営総合グランド)			
男子	浜松工業高(静岡) 1836.	山本博(横浜高)	630.
女子	山陽女子高(広島) 1641.	大道理枝(山陽女子高)	582.
第13回大会 (80'8.3.滋賀県・秦荘町民スポーツセンター)			
男子	横浜高(神奈川) 1925.	山本博(横浜高)	670.
女子	千葉英和高(千葉) 1739.	大道理枝(山陽女子高)	618.
第14回大会 (81'8.2.東京都・駒沢第二球技場)			
男子	名古屋電気高(愛知) 1888.	岐部恭史(大阪工大高)	640.
女子	大津商業高(滋賀) 1794.	名倉裕子(浜松工業高)	621.
第15回大会 (82'8.1.群馬県・川場中学校グランド)			
男子	丹南高(福井) 1817.	薄井雅美(馬頭高)	625.
女子	富士見高(静岡) 1682.	平田さゆみ(札幌月寒高)	598.
第16回大会 (83'8.7.奈良県・三宅健民運動場) ⑫雷雨の為、団体・個人共に63射迄の記録			
男子	馬頭高(栃木) 1650.	池田辰弥(慶応義塾高)	571.
女子	大津商業高(滋賀) 1587.	岩波ひろみ(大津商業高)	543.
第17回大会 (84'8.5.鳥取県・東郷湖羽合臨海公園スポーツ広場)			
男子	米子北高(鳥取) 1904.	松田武文(米子北高)	643.
女子	札幌啓北商業高(北海道) 1816.	山本和美(札幌啓北商高)	620.
第18回大会 (85'8.11.山梨県・敷島総合公園運動場)			
男子	米子北高(鳥取) 1889.	室伏優一郎(横浜高)	650.
女子	大津商業高(滋賀) 1789.	児玉晶子(米子北高)	648.
第19回大会 (86'7.27.沖縄県・宜野湾市海浜公園多目的広場)			
男子	横浜高(神奈川) 1787.	蓮田秋二(東京学園高)	629.
女子	札幌啓北商業高(北海道) 1753.	申込恵子(甲府第一高)	612.

第20回大会 (87'7.25~26.京都府・日吉胡麻総合運動広場)		
男 子	三本木農業高 (青森) 1876.	鎌田芳彰 (幕別高) 643.
女 子	折尾高 (福岡) 1775.	大城春野 (宜野湾高) 611.
第21回大会 (88'7.26~27.北海道・旭川市)		
男 子	北大津高 (滋賀) 1883.	吉田 賢 (甲府第一高) 657.
女 子	折尾高 (福岡) 1881.	岩山美保 (折尾高) 635.
第22回大会 (89'7.26.~27.福岡県・北九州市)		
男 子	柏陵高 (福岡) 1685.	山本敦 (永谷高) 603.
女 子	旭川北高 (北海道) 1802.	鈴木知子 (桜丘高) 634.
第23回大会 (90'7.27.~28.石川県・柳田村)		
男 子	柏陵高 (福岡) 1917.	宮永雅史 (柏陵高) 657.
女 子	折尾高 (福岡) 1796.	森本淳子 (同志社高) 626.
第24回大会 (91'7.27.~28.山形県・鶴岡市)		
男 子	同志社高 (京都) 1813.	藤原悟 (広島工業高) 630.
女 子	折尾高 (福岡) 1681.	岡野善恵 (甲南女子高) 578.
第25回大会 (92'7.26.~28.香川県・財田・仲南町)		
男 子	横浜高校 (神奈川) 1880.	木村正純 (横浜高校) 650.
女 子	横浜学園 (神奈川) 1828.	川上祐佳里 (柏陵) 639.
平成5年度 全国高等学校総合体育大会 第26回大会 ('93 8.1~4.栃木県・馬頭町)		
男 子	横浜 (神奈川) 234.	木村正純 (横浜) 656.
女 子	大分東明高 (大分) 205.	山岡麗子 (横浜学園) 629.
平成6年度 全国高等学校総合体育大会 第27回大会 ('94 8.6~8.富山県・宇奈月町)		
男 子	柏陵 (福岡) 244.	桜井隼 (東京工業) 654.
女 子	甲南女子 (兵庫) 218.	河崎由加里 (山陽女子高) 639.
平成7年度 全国高等学校総合体育大会 第28回大会 ('95 8.2~4.広島県・広島市)		
男 子	愛産大三河 (愛知) 221.	村越永人 (田村高) 669.
女 子	山陽女子 (広島) 207.	富島優 (甲南女子高) 643.
平成8年度 全国高等学校総合体育大会 第29回大会 ('96 8.2~5.山梨県・竜王町)		
男 子	大分東明 (大分) 222.	山県朝太郎 (富士見) 102.
女 子	兎道子 (京都) 218.	大津留由香 (大分東明) 79.
平成9年度 全国高等学校総合体育大会 第30回大会 ('97 8.4~8.京都府・日吉町)		
男 子	東海大二 (熊本) 224.	藤原真也 (横浜) 105.
女 子	氷川 (熊本) 196.	勝俣比呂美 (小田原城内) 99.
平成10年度 全国高等学校総合体育大会 第31回大会 ('98 8.8~11.香川県・丸亀市)		
男 子	愛産大三河 (愛知) 221.	加藤桂規 (愛産大三河) 100.
女 子	鳥取商業 (鳥取) 183.	梅田舞 (氷川) 104.
平成11年度 全国高等学校総合体育大会 第32回大会 ('99 8.2~5.岩手県・松尾村)		
男 子	奈良高 (奈良) 224.	青山哲也 (愛産大三河) 105.
女 子	菟道高 (京都) 205.	松下紗耶末 (明星) 103.
平成12年度 全国高等学校総合体育大会 第33回大会 ('00 8.9~12.岐阜県・高山市)		
男 子	高志館高校 (佐賀) 221.	林毅幸 (甲南) 105.
女 子	氷川高校 (熊本) 224.	木津絵里奈 (慶應女子) 95.
平成13年度 全国高等学校総合体育大会 第34回大会 ('01 8.3~6.熊本県・菊陽町)		
男 子	菟道高 (京都) 231.	本山隆道 (高志館) 108.
女 子	大宮開成高校 (埼玉) 224.	大塚妙子 (清水ヶ丘) 100.
平成14年度 全国高等学校総合体育大会 第35回大会 ('02 8.9~12.茨城県・波崎町)		
男 子	北大津高 (滋賀) 227.	天野良太 (大分東明) 104.
女 子	氷川高 (熊本) 224.	平野愛弥 (氷川) 87.
平成15年度 全国高等学校総合体育大会 第36回大会 ('03 7.29~8.1.長崎県・諫早市)		
男 子	千葉黎明高 (千葉) 228.	菊地栄樹 (広島工業) 109.
女 子	大分東名高 (大分) 220.	柴尾かなえ (大分東明) 98.
平成16年度 全国高等学校総合体育大会 第37回大会 ('04 8.3~8.6.山口県東和町)		
男 子	大村工業高校 (長崎) 211.	辻野希志章 (貴志川) 105.
女 子	宮代高 (埼玉) 191.	南知里 (草津東) 102.
平成17年度 全国高等学校総合体育大会 第38回大会 ('05 8.8~8.11.千葉県・船橋市)		
男 子	東海大相模高校 (神奈川) 244.	小野剛輝 (折尾) 107.
女 子	和歌山高 (和歌山) 218.	佐藤綾 (横手城南) 97.
平成18年度 全国高等学校総合体育大会 第39回大会 ('06 8.4~8.7.奈良県・橿原市)		
男 子	菟道高 (京都) 234.	松尾政博 (大村工業) 105.
女 子	愛産大三河 (愛知) 220.	蓑田可菜子 (岸和田産業) 95.

選 手 権 大 会 記 錄

団体の部

【女 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大 会 記 錄	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	3人×72射	愛産大三河高・愛知	1782	深海・青山・蟹江・山田	2006.8.5	奈良／樅原市
MATCH	3人×9射×2	氷川高・大分	442	緒方・平野・福田・野村	2002.8.12	茨城／松崎村
MATCH	3人×9射	和歌山高・和歌山	227	張間・前山・吉田	2006.8.7	岐阜／高山市

【男 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大 会 記 錄	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	3人×72射	米谷工業・宮城	1851	赤坂・小野寺・猪股・岩淵	2001.8.4	熊本／菊陽町
MATCH	3人×9射×2	甲南高・兵庫	474	藤井・鹿島・林・高垣	2001.8.6	熊本／菊陽町
MATCH	3人×9射	菟道高・京都	246	金村・木下・舟本・藤間	2005.8.11	千葉／船橋市

個人の部

【女 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大 会 記 錄	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	72射	明星高・大分	612	松下紗耶未	1999.8.3	岩手／松尾村
MATCH	18射	大村工・長崎	161	牧尾華奈	2001.8.5	熊本／菊陽町
MATCH	12射	氷川高・熊本	110	梅田舞	1998.8.10	香川／丸亀市
MATCH	36射	氷川高・熊本	312	梅田舞	1998.8.10	香川／丸亀市

【男 子】 70m

種 別	内 容	学 校 名 ・ 県 名	大 会 記 錄	氏 名	日 時	会 場
予選ラウンド	72射	大宮開成・埼玉	646	嶋村健一	2001.8.5	熊本／菊陽町
MATCH	18射	愛産大三河・愛知	168	青山哲也	1999.8.4	岩手／松尾村
MATCH	12射	大宮開成・埼玉	112	嶋村健一	2001.8.5	熊本／菊陽町
MATCH	36射	大分東明・大分	324	天野良太	2003.7.31	長崎／諫早市

選抜大会 栄光の歩み

【男 子】

回数	選 手 名	学校名	TOTAL	90m	70m	50m	30m	期 日	開 催 地
1	河 合 徳 之	浜 松 工	1199	246.	309.	306.	338.	'83.3.25-27	愛 知・森林公園
2	角 田 信 一	馬 頭	1154	259.	277.	294.	324.	'84.3.25-27	静 岡・富 士 市
3	松 田 武 文	米 子 北	1131	208.	288.	301.	334.	'85.3.25-27	滋 賀・秦 莊 町
4	田 中 喜 美 男	横 浜	1198	265.	300.	294.	339.	'86.3.25-27	福 井・芦 原 町
5	和 田 和 則	馬 頭	1174	234.	269.	307.	317.	'87.3.25-27	東 京・駒 沢 公 園
6	荒 金 利 剛	米 子 北	1164	237.	282.	318.	327.	'88.3.25-27	大 阪・久 米 田 高
7	於 久 直 人	北 大 津	1250	273.	319.	315.	343.	'89.3.25-27	神 奈 川・横 浜 高
8	赤 井 雅 宏	北 大 津	1200	252.	307.	306.	335.	'90.3.25-27	兵 庫・神 戸 市
9	田 中 勝 美	横 浜	1214	277.	321.	291.	322.	'91.3.26-28	愛 知・愛 學 院 大
10	厚 海 善 栄	田 村	1216	259.	316.	307.	334.	'92.3.25-27	京 都・山 城 総 合
11	木 村 正 純	横 浜	1232	249.	312.	326.	345.	'93.3.25-27	静 岡・草 蘿
12	園 田 孝 史	横 浜	1282	292.	322.	322.	346.	'94.3.27-28	滋 賀・長 浜 市
13	松 田 浩 行	柏 陵	1288	296.	322.	322.	348.	'95.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
14	高 松 大 輔	三 重	1238	264.	309.	323.	342.	'96.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
15	牧 山 雅 文	佐 賀 厳 木	1131	214.	278.	298.	341.	'97.3.26-28	茨 城・波 嶺 町
16	伊 藤 進 一	愛 産 大 三 河	1239	272.	317.	322.	328.	'98.3.26-28	静 岡・掛 川 市
17	青 山 哲 也	愛 産 大 三 河	1266	279.	318.	325.	344.	'99.3.26-28	静 岡・掛 川 市
18	小 泉 直 也	水 戸 桜 ノ 牧	1192	259.	292.	308.	333.	'00.3.26-28	静 岡・掛 川 市
19	高 木 裕 太	柏 陵	1166	215.	285.	320.	346.	'01.3.26-28	静 岡・掛 川 市
20	島 村 健 一	大 宮 開 成	1255	276.	307.	327.	345.	'02.3.26-28	静 岡・掛 川 市
21	永 田 雅 也	東 海 大 付 翔 泊	1243	274.	311.	317.	341.	'03.3.26-28	静 岡・掛 川 市
22	松 本 彰 平	可 部	1245	282.	309.	314.	340.	'04.3.26-28	静 岡・掛 川 市
23	大 野 貴 慎	大 分 東 明	1227	280.	303.	313.	331.	'05.3.26-28	静 岡・掛 川 市
24	小 林 史 弥	広 島 工 業	1258	276.	315.	327.	340.	'06.3.26-28	静 岡・掛 川 市
25	坂 野 太 一	愛 産 大 三 河	1289	296.	323.	321.	349.	'07.3.26-28	静 岡・掛 川 市

【女 子】

回数	選 手 名	学校名	TOTAL	70m	60m	50m	30m	期 日	開 催 地
1	上 鹿 渡 由 美	北海道清水	1183	285.	303.	270.	325.	'83.3.25-27	愛 知・森 林 公 園
2	田 中 志 律	千 葉 英 和	1124	257.	268.	274.	325.	'84.3.25-27	静 岡・富 士 市
3	藤 本 正 美	大 津 商 業	1195	265.	299.	296.	335.	'85.3.25-27	滋 賀・秦 莊 町
4	大 城 春 野	宜 野 湾	1153	276.	286.	272.	319.	'86.3.25-27	福 井・芦 原 町
5	松 宮 真 由 美	丹 南	1207	283.	299.	306.	319.	'87.3.25-27	東 京・駒 沢 公 園
6	近 藤 真 弓	信 愛 学 園	1216	287.	312.	292.	325.	'88.3.25-27	大 阪・久 米 田 高
7	小 山 美 代 子	兎 道	1237	291.	314.	304.	328.	'89.3.25-27	神 奈 川・横 浜 高
8	高 木 祐 子	富 士 見	1177	263.	289.	305.	320.	'90.3.25-27	兵 庫・神 戸 市
9	谷 口 和 子	折 尾	1214	288.	316.	280.	330.	'91.3.26-28	愛 知・愛 學 院 大
10	大 内 愛	山 陽 女 子	1215	294.	304.	293.	324.	'92.3.25-27	京 都・山 城 総 合
11	山 岡 麗 子	横 浜 学 園	1235	293.	313.	295.	334.	'93.3.25-27	静 岡・草 蘿
12	今 福 織 江	大 分 東 明	1297	315.	321.	318.	343.	'94.3.27-28	滋 賀・長 浜 市
13	富 島 優	甲 南 女 子	1271	292.	319.	318.	342.	'95.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
14	田 原 雅 代	岡 崎 東	1269	306.	319.	307.	337.	'96.3.26-28	滋 賀・長 浜 市
15	田 口 香 奈 子	東 海 大 二	1208	261.	303.	307.	337.	'97.3.26-28	茨 城・波 嶺 町
16	松 下 紗 耶 未	明 星	1216	281.	311.	297.	327.	'98.3.26-28	静 岡・掛 川 市
17	渡 迂 万 由 美	甲 南 女 子	1232	291.	313.	301.	327.	'99.3.26-28	静 岡・掛 川 市
18	橋 本 晃 子	水 川	1219	280.	289.	316.	334.	'00.3.26-28	静 岡・掛 川 市
19	瀬 川 ゆ か り	甲 南 女 子	1239	280.	311.	306.	340.	'01.3.26-28	静 岡・掛 川 市
20	瀬 川 ゆ か り	甲 南 女 子	1244	296.	315.	299.	334.	'02.3.26-28	静 岡・掛 川 市
21	柴 尾 佳 な え	大 分 東 明	1220	299.	306.	286.	329.	'03.3.26-28	静 岡・掛 川 市
22	安 田 聰 美	札幌啓北商	1218	288.	300.	310.	320.	'04.3.26-28	静 岡・掛 川 市
23	坂 井 綾 乃	大 分 東 明	1219	306.	288.	290.	335.	'05.3.26-28	静 岡・掛 川 市
24	林 享 美	市 立 前 橋	1238	299.	311.	303.	325.	'06.3.26-28	静 岡・掛 川 市
25	國 師 未 希 絵	三 陽 女 学 園	1287	313.	332.	319.	323.	'07.3.26-28	静 岡・掛 川 市

選 抜 大 会 記 錄

11回大会以前・15回大会以降（アウトドア）

2006年3月18日現在

【男子の部】

TOTAL	坂野 太一	1289 (296・323・321・349)	愛知・愛知大三河・第25回大会
90m	臼井 辰朗	301	兵庫・甲南・第25回大会
70m	坂野 太一	323	愛知・愛知大三河・第25回大会
50m	島村 健一	327	埼玉・大宮開成・第20回大会
30m	上平 章弘	347	青森・名久井農業・第19回大会

【女子の部】

TOTAL	団師 未希絵	1287 (313・332・319・323)	広島・山陽女学園・第25回大会
70m	団師 未希絵	332	広島・山陽女学園・第25回大会
60m	池田 敦美	316	山形・天真学園・第7回大会
50m	合澤 さや香	320	大分・大分東明・第19回大会
30m	林 勇気	342	兵庫・松蔭・第20回大会

12回大会以降～14回大会（インドア）

【男子の部】

TOTAL	松田 浩行	1288 (296・322・322・348)	福岡・柏陵・第13回大会
90m	松田 浩行	296	福岡・柏陵・第13回大会
70m	園田 孝史	322	神奈川・横浜・第12回大会
50m	板倉 幹郎	322	神奈川・三浦学園・第12回大会
30m	松田 浩行	348	福岡・柏陵・第13回大会

【女子の部】

TOTAL	今福 織江	1297 (291・314・304・328)	大分・大分東明・第12回大会
70m	今福 織江	315	大分・大分東明・第12回大会
60m	小出 美沙都	325	大分・明星・第12回大会
50m	今福 織江	318	大分・大分東明・第12回大会
30m	熊谷 愛	344	福岡・柏陵・第12回大会

日本高校記録

2006年12月4日現在

OUTDOOR RECURVE 男子

OUTDOOR RECURVE 女子

FITA ROUND

144 FITA ROUND	大井 隼	富山県立泊高校	1320	1999年
90M FITA ROUND	赤坂 清	米谷工業高校	316	2002年
70M FITA ROUND	坂野 太一	愛知産大三河高校	336	2006年
50M FITA ROUND	守屋 龍一	岸和田産業高校	336	2002年
30M FITA ROUND	島村 健一	大宮開成高校	354	2002年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	松本 康太 守屋 龍一 赤坂 清	1299 1275 1252	— — —	3826 日本

FITA ROUND

144 FITA ROUND	青山 絵美子	愛知産大三河高校	1317	2006年
70M FITA ROUND	松永安紗子	甲南女子高校	326	2006年
60M FITA ROUND	青山 絵美子	愛知産大三河高校	334	2006年
50M FITA ROUND	青山 絵美子	愛知産大三河高校	330	2006年
30M FITA ROUND	大塚 妙子	清水ヶ丘高校	350	2003年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	瀬川ゆかり 馬場可那子 林 勇氣	1289 1270 1270	— — —	3829 日本

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	田畠 隼剛	東海大付属相模高校	657	2005年
18 Elim.Match	青山 哲也	愛知産大三河高校	168	1999年
12 Final Match	岩本 雅英	宮代高校	114	2005年
36 Final Total	坂野 太一	愛知産大三河高校	332	2006年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	菊地 栄樹 大石 哲寛 永田 雅也	650 646 618	— — —	1914 日本
O.R.TEAM MATCH 24 Team Match	小林 史弥 松本 靖太 炭本 拓郎 市川 雅裕	廣 島	210	2006年
O.R.TEAM MATCH 2×24 Team MatchFinal Total	小林 史弥 松本 靖太 炭本 拓郎 市川 雅裕	廣 島	414	2006年

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	新田 智訪	泊 高校	640	2005年
18 Elim.Match	新田 智訪	泊 高校	167	2005年
12 Final Match	梅田 舞	氷川高校	110	1998年
36 Final Total	梅田 舞	氷川高校	312	1998年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	松下紗耶未 村上亜裕美 山路 陽子	613 586 585	— — —	1784 日本
O.R.TEAM MATCH 24 Team Match	青山 絵美子 新海 蟹江 美貴 山田 萌恵	愛 知	194	2006年
O.R.TEAM MATCH 2×24 Team MatchFinal Total	松山 千晶 林 淳美 小林 恵美 片岡 由夏	群 馬	376	2006年

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	甲斐 祐樹	大分東明高校	685	1997年
50M	甲斐 祐樹	大分東明高校	336	1997年
30M	牧山 雅文	佐賀県立厳木高校	353	1997年
50・30M ROUND Team Total	長村 邦彦 山本 祥詩 大石 哲寛	667 658 657	— — —	1982 佐賀県立北大津高校

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	川内紗代子	福岡県立折尾高校	667	1996年
50M	小出美沙都	大分明星高校	322	1996年
30M	横田 知子	大分東明高校	346	1994年
50・30M ROUND Team Total	横田 知子 今福 織江 三浦 洋子	646 645 616	— — —	1907 大分東明高校

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	島村 健一	大宮開成高校	2587	2002年
----------------	-------	--------	------	-------

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	小出美沙都	大分明星高校	2539	1995年
----------------	-------	--------	------	-------

日本ジュニア記録

2006年11月13日現在

OUTDOOR RECURVE 男子

OUTDOOR RECURVE 女子

FITA ROUND

144 FITA ROUND	大井 隼	富 山	1320	1999年
90M FITA ROUND	赤坂 清	宮 城	316	2002年
70M FITA ROUND	坂野 太一	愛 知	336	2006年
50M FITA ROUND	守屋 龍一	大 阪	336	2002年
30M FITA ROUND	島村 健一	埼 玉	354	2002年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	松本 康太 守屋 龍一 赤坂 清	1299 1275 1252	— — —	3826 日本

FITA ROUND

144 FITA ROUND	青山絵美子	愛 知	1317	2006年
70M FITA ROUND	圖師未希絵	広 島	326	2005年
60M FITA ROUND	青山絵美子	愛 知	334	2006年
50M FITA ROUND	青山絵美子	愛 知	330	2006年
30M FITA ROUND	大塚 妙子	神 奈 川	350	2003年
3×144 FITA ROUND (TEAM)	瀬川ゆかり 馬場可那子 林 勇氣	1289 1270 1270	— — —	3829 日本

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	田畠 隼剛	神 奈 川	657	2005年
18 Elim.Match	青山 哲也	愛 知	168	1999年
12 Final Match	岩本 雅英	埼 玉	114	2005年
36 Final Total	坂野 太一	愛 知	332	2006年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	菊地 栄樹 大石 哲寛 永田 雅也	650 646 618	— — —	1914 日本
O.R.TEAM MATCH 24 Team Match	小林 史弥 松本 崑本 市川 拓郎	広 島	210	2006年
O.R.TEAM MATCH 2×24 Team MatchFinal Total	小林 史弥 松本 崑本 市川 雅裕	広 島	414	2006年

OLYMPIC ROUND

72 Qual.ROUND	新田 智訪	富 山	640	2005年
18 Elim.Match	新田 智訪	富 山	167	2005年
12 Final Match	梅田 舞	熊 本	110	1998年
36 Final Total	梅田 舞	熊 本	312	1998年
3×72 Qual.ROUND (TEAM)	松下紗耶未 村上亜裕美 山路 陽子	613 586 585	— — —	1784 日本
O.R.TEAM MATCH 24 Team Match	青山絵美子 新海 彩 蟹江 美貴 山田 萌恵	愛 知	194	2006年
O.R.TEAM MATCH 2×24 Team MatchFinal Total	松山 千晶 林 淳美 小林 恵美 片岡 由夏	群 馬	376	2006年

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	甲斐 祐樹	大 分	685	1997年
50M	甲斐 祐樹	大 分	336	1997年
30M	牧山 雅文	佐 賀	353	1997年
50・30M ROUND Team Total	長村 邦彦 山本 祥詩 大石 哲寛	667 658 657	— — —	1982 滋 賀

50M・30M ROUND

50・30M ROUND	川内紗代子	福 岡	667	1996年
50M	小出美沙都	大 分	322	1996年
30M	横田 知子	大 分	346	1994年
50・30M ROUND Team Total	横田 知子 今福 織江 三浦 洋子	646 645 616	— — —	1907 大 分

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	島村 健一	埼 玉	2587	2002年
----------------	-------	-----	------	-------

DOUBLE FITA ROUND

288 FITA ROUND	小出美沙都	大 分	2539	1995年
----------------	-------	-----	------	-------

日本記録・FITA世界記録

OUTDOOR TARGET ARCHERY
OLYMPIC DIVISION
MEN

2007年2月3日現在

FITA ROUND

FITA ROUND	山本 博	(埼玉)	1352	2002年	OH,Kyo-Moon	KOR	1379	2000年
90M	山本 博	(日本)	326	2002年	JANG,Young-Ho	KOR	337	2003年
70M	山本 博	(埼玉)	344	1990年	CHUNG,JaeHun	KOR	348	2006年
50M	山本 博	(埼玉)	344	2000年	KIM,Kyung Ho	KOR	351	1997年
30M	山本 博	(埼玉)	358	2002年	KYE,Dong-hyun	KOR	360/17	2002年
TEAM FITA ROUND (3×144)	山本 博 松下 和幹 加藤 秀人	1333 1320 1295	3948 (日本)	1999年	JANG,Young-Ho CHOI,Young-kwang IM,Dong-Hyon	KOR	4074	2003年

OLYMPIC ROUND

O.R.MATCH TOTAL (72)	松下 和幹	(埼玉)	672	2000年	IM,Dong-Hyon	KOR	687	2004年
O.R.MATCH (18)	茂木 健二	(北海道)	171	1997年	JANG,Yong-Ho	KOR	177	2001年
O.R.MATCH (12)	山本 博	(埼玉)	117	2002年	CHOI,Won-Jong	KOR	120	2005年
O.R.MATCH TOTAL (36)	山本 博	(埼玉)	346	2002年	PAEK,Jong-Min	KOR	346	2001年
O.R.TEAM MATCH (3×72)	山本 博 脇野 智和 稻本 雅由	679 654 646	1979 (日本)	2006年	JANG,Young-Ho KIM,Bo-Ram OH,Kyo-Moon	KOR	2031	1996年
O.R.TEAM MATCH 24 Team Match	山本 博 守屋 龍一 金村 賢	(日本)	223	2006年	XUE, Haifeng JIANG, Lin WU, FengBo	China	229	2006年
O.R.TEAM MATCH 2×24 Team Match Final Total	山本 博 守屋 龍一 金村 賢	(日本)	439	2006年	GALIAZZO, Marco DI BUO, Ilario FRANGILLI, Michele	Italy	450	2006年

50, 30M ROUND

50,30m ROUND	山本 博	(神奈川)	690	1988年
50M	山本 博	(神奈川)	336	1988年
30M	山本 博	(神奈川)	354	1988年
TEAM TOTAL	山本 博 松下 和幹 石鉢 利明	680 669 669	2018 (埼玉)	1995年

〈日本最高記録〉

DOUBLE FITA ROUND

DOUBLE FITA ROUND	山本 博	(埼玉)	2663	2002年
70M	山本 博	(埼玉)	633	2002年
60M	松下 和幹	(神奈川)	664	1987年
50M	松下 和幹	(日本)	669	1985年
30M	松下 和幹	(日本)	707	1990年
TEAM DOUBLE FITA ROUND	山本 博 松下 和幹 古橋 照司	2581 2580 2535	7696 (日本)	1988年

女子

FITA ROUND 日 本

世 界

FITA ROUND	浅野 真弓	(佐賀)	1344	2003年	PARK,Seong-Hyun	KOR	1405	2004年
70M	浅野 真弓	(佐賀)	331	2003年	PARK,Seong-Hyun	KOR	351	2004年
60M	林 勇氣	(日本)	342	2006年	KIM,YuMi	KOR	351	2004年
50M	浅野 真弓	(佐賀)	335	2003年	PARK,Seong-Hyun	KOR	350	2003年
30M	浅野 真弓	(佐賀)	355	1999年	YUN,Mi-Jin	KOR	360/15	2004年
TEAM FITA ROUND (3×144)	浅野 真弓 松下紗耶未 山路 陽子	1321 1317 1292	3930 (日本)	2002年	PARK,Sung-Hyun YUN,Mi-jin YUN,Ok-Hee	KOR	4129	2005年

O L Y M P I C R O U N D

O.R.MATCH TOTAL(72)	川内紗代子	(日本)	654	2000年	PARK,Sung-Hyon	KOR	682	2004年
O.R.MATCH (18)	川内沙代子	(日本)	167	1997年	Kin,Won-Jeong	KOR	175	1998年
O.R.MATCH (12)	浅野 真弓	(学連)	113	1997年	SONG,Mi-Jin	KOR	118	2001年
O.R.MATCH TOTAL(36)	森田 由美	(広島)	321	2005年	CHOI,Nam-Ok	KOR	345	2000年
O.R.TEAM MATCH (3×72)	林 勇氣 浅野 真弓 早川 浪	653 648 638	1939 (日本)	2007年	PARK,Sung-Hyun LEE,Sung-Jin Yun,Mi-Jin	KOR	2030	2004年
O.R.TEAM MATCH 24 Team Match	浅野 真弓 林 勇氣 北畠紗代子	(日本)	214	2006年	KIM, Yu Mi LEE, Sung Jin LEE, Tuk Young	KOR	226	2006年
O.R.TEAM MATCH 2×24 Team Match Final Total	浅野 真弓 林 勇氣 北畠紗代子	(日本)	419	2006年	KIM, Yu Mi LEE, Sung Jin LEE, Tuk Young	KOR	449	2006年

50, 30M R O U N D

50,30m ROUND	浅野 真弓	(学連)	672	1998年
50M	浅野 真弓	(学連)	327	1998年
30M	児玉 晶子	(神奈川)	349	1987年
TEAM TOTAL	浅野 真弓 児玉 絹枝 濱本 統子	671 640 612	1923 (佐賀)	1996年

〈日本最高記録〉

D O U B L E F I T A R O U N D

DOUBLE FITA ROUND	浅野 真弓	(学連)	2653	1997年
70M	浅野 真弓	(佐賀)	650	2002年
60M	児玉 晶子	(日本)	664	1986年
50M	浅野 真弓	(佐賀)	659	2003年
30M	浅野 真弓	(学連)	700	1997年
TEAM DOUBLE FITA ROUND	児玉 晶子 柴田 晶与 石津 裕子	2531 2495 2463	7489 (日本)	1986年

INDOOR TARGET ARCHERY
OLYMPIC DIVISION

男 子

18m (60)	山本 博	(日本)	593	1999年	FRANGILLI,Michele	ITA	597	2001年
25m (60)	山本 博	(埼玉)	592	1994年	FRANGILLI,Michele	ITA	598	2001年
O.R.MATCH (18)	山本 博	(埼玉)	178	1996年	BISIANI Matteo	ITA	180	1996年
O.R.MATCH (12)	末口 広宣	(大阪)	119	2000年	JOHNSON,Richard	USA	120	1995年
O.R.MATCH TOTAL (36)	濱野 裕二	(学連)	351	2000年	FRANGILLI,Michele	ITA	358	2002年
O.R.TEAM MATCH (27) (3×9)	山本 博 古川 高晴 稻本 雅由	(日本)	259	2005年	TOLLJS,Richard PARKER,Shane WUNDERLE,Victor	USA	268	1999年
O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)					FRANGILLI,Michele CASSAVECCHIA,Mario GALIAZZO,Marco	ITA	533	2002年

女 子

18m (60)	榎本 静香	(学 連)	586	2004年	HERASYMENKO,L.	UKR	591	1997年
25m (60)	池垣 優子	(北海道)	569	1994年	ERICSSON Petra	SWE	592	1991年
O.R.MATCH (18)	川内紗代子	(福 岡)	177	2004年	BURDEYNAY,Natalia	UKR	179	1999年
O.R.MATCH (12)	大塚 妙子	(学 連)	120	2006年	VALEEVA Natalia	MLD	120	1995年
O.R.MATCH TOTAL (36)	河崎由賀里	(広 島)	346	2002年	VALEEVA Natalia	ITA	358	2002年
O.R.TEAM MATCH (27)	川内紗代子 浅野 真弓 大塚 妙子	(日 本)	256	2005年	ERDYNIEVA,Gerelrna KOZLOVA,Oxana POUTSEVA,Anna	RUS	265	2003年
O.R.TEAM MATCH TOTAL (2×27)					NULLE,Wiebke PFOHL,Cornelia SACHSE,Sandra	GER	520	1997年

記録収集について

競技委員会

記録収集の意義につきましては組織の歴史であり、同時に将来的な発展の最も大きな原動力となるべきものであります。競技力の向上、組織の活性化、競技の普及拡大、すべてこの記録無しには考えられません。つきましては記録送付及び記入要領は下記のとおりお願いします。

【1】送付記録は原則としてコンピュータデータの形式とする。

【2】種別、種目、項目は次の通りとする。

男女別 個人 歴代100傑 (シングル)、シングルラウンド
70mWラウンド、インドアー18m (W) 旧年度分

【3】各都道府県で【2】の2種別、8種目について競技者のランキングを作成し、そのデータを送付する。

【4】送付用フロッピーは競技委員会より配布するので、その中に入力する。

【5】記録送付競技会

全国高体連に登録した競技会 (3競技) } 年間事業計画様式 [1]
全ア連公認競技会 (他県の競技会は不可) } で提出してあること。

データ入力上の注意

【1】各項目への入力について

配布されたフロッピーの“例”に従って入力すること。

各項目の氏名は1人1回になるように各県で整理をしてください。

ランクは消去して下さい。

登録番号は必ず入力して下さい。

氏名

全角左詰めとします。(全角6文字)

例	氏2文字	名2文字	□□	□□
	氏2文字	名1文字	□□	□
	氏1文字	名2文字	□	□□□
	氏3文字	名3文字	□□□	□□□
	氏3文字	名1文字	□□□	□

記録入力期間

当該年度の 4月1日～11月20日迄とする。

【2】得点記録集計のフロッピーについて

エクセルで作成されたデータとする。

フロッピーは3.5インチ (2HD) を使用する。

フロッピーは必ずコピーディスクにラベルをつけ、県名、入力責任者、学校名、電話番号を記入して送付する。

フロッピーの返却はしないので、必ずバックアップを取ってください。

Eメールの添付ファイルでの送付也可。

メールアドレス

未定

【3】送付締切期日

締切期日 当該年度の**11月20日** (必着)

受け付けは11月1日～ 遅れると入力されませんので注意してください。

【4】送付先

平成19年度変更予定

【5】ランキング表購入依頼

ランキング表は1冊1000円です。

全国高体連に登録されている学校は、最低一冊以上の購入をお願いします。

全国総合体育大会専門委員長会議の時点で注文部数は決定する。

支払いは全国高体連アーチェリー専門部ランキング担当の口座（P86参照）に振込むか、又は全国選抜アーチェリー大会会場にてお渡しください。

【6】Eメールでデータ送付の注意事項

エクセルで作成されたデータとする。

夏の専門委員長会議で配布したフロッピーの中に入力すること。

上記のデータでないと集計はできません。

記録担当者は、データが完成したら各校へFAXを送るなどして確認を取ること。

高 校 公 認 記 錄 規 程

- 第1条 全日本アーチェリー連盟（以下「全ア連」という。）規約第6章第138条にもとづき、全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「本専門部」という。）事業計画（様式Ⅰ）により提出し認められたもの。
- 第2条 本連盟の加盟・登録者が、この規定の定めるところにより、その加盟学校および登録構成員が、以下にかかげる諸条項のもとに行われた競技会において作られた記録に限り公認申請することができる。
- 第3条 日本高校記録は、全ア連競技規則第138条の外、次の条件を満たすこと。
- 1) 当該年の4月1日現在18歳未満の高校生の記録であること。ただし、定時制生徒は19歳未満とする。
 - 2) (1)全ア連が公認した競技会における記録。
(2)各都道府県単位または地域高校競技会の記録。
ただし、印刷したプログラムがあり、競技委員長・審判長・射場長は公認審判員であること。
 - (3)50M・30Mラウンド及びハーフラウンド団体の記録は、ハーフラウンドの競技会の記録であること。
- 第4条 個人の距離別の記録公認については、第3条に規定された競技会において樹立されたものを申請することができる。
- 第5条 前条に定める競技会の記録公認申請は、競技の日より原則として1ヵ月以内に主催または主管団体長が前条の確認をなし、全ア連所定の記録承認申請書（連盟様式一6）に必要事項を記載し、全ア連事務局に提出するものとする。
- 第6条 全ア連理事会で審査の結果、新記録として承認されたときは、その旨を本専門部においても発表し、高等学校記録証を交付する。
- 第7条 毎年12月10日付をもって、各都道府県高体連ア専門部または各都道府県ア協会は第3条に定めた競技会による当該都道府県の高等学校最高記録を保管し、その写しを毎年12月20日までに本専門部事務局まで送付しなければならない。
- 第8条 本規定は、本専門部理事会において改廃する。
- 第9条 本規定は昭和57年5月9日より施行する。

昭和60年4月1日一部改正

昭和63年2月11日一部改正

平成6年8月5日一部改正

平成8年3月26日一部改正

申請書送付先

〒150 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内 全日本アーチェリー連盟 宛

平成 年 月 日

全日本アーチェリー連盟

会 長 殿

主 催 者 名

主 管 団 体 名

会 長 名

印

新記録の樹立承認申請書の送付について
(申 請)

標記のことについて、下記の通り新しい記録が樹立されましたので、
ここに関係書類を添えて申請いたします。

なお、関係書類の到着のうえは、書類内容の点検をいただくとともに
念のため受領確認書を送付くださるようお願いします。

記

1. 内容記録：記録申請
2. 送付書類：ア) 記録承認申請書……… 1 部
 - イ) スコアーシート（写） … 1 部
 - ウ) 競技会プログラム……… 1 部
 - エ) 競技会成績表……… 1 部

以 上

受 領 確 認	全 日 ア 連	受付月日： 月 日
確 認 者： 氏 名： (印)		

(上記記入のうえ、複写書類を返送下さい)

(競技・様式第4号)

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

競技団体名 _____

競技団体会長名 _____ 印

新記録承認申請書

下記の競技会において、新記録〔日本記録、日本国際記録、日本ジュニア記録、日本高校記録（参考記録）〕が作られましたので、この記録の承認を申請・報告いたします。

競技会名									
開催日									
競技会場									
(所在地)	都道府県			市町村（区）					
競技責任者	印（競技委員長の署名・捺印）								
競技種目				得点記録					
(選手名又はチーム名)			(勤務先名又は学校名)個人記録の時のみ記入						
記録内容	区分	選手名	登録番号	m	m	m	m		
	個人	＼＼＼＼＼＼＼＼							
	団体	①							
		②							
		③							
(備考) 1. 申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。 新記録対象項目を丸印で囲むこと。 2. 添付書類の ①スコアカード ②競技会プログラム ③競技会成績一覧表を必ず提出すること。									

本連盟は、上記の記録を承認いたしました。

平成 年 月 日
社団法人 全日本アーチェリー連盟
会長 印

専門部競技会計画

平成19年度（2007年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《佐賀県》

第26回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

アジアグランプリ《タイペイ・6月》

平成20年度（2008年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《埼玉県》

第27回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

第10回世界ジュニア選手権大会《会場・期日 未定》

平成21年度（2009年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《滋賀県》

第28回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

平成22年度（2010年）

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）アーチェリー競技《沖縄県》

第29回全国高等学校アーチェリー選抜大会《静岡県掛川市「つま恋」》

大会開催地（予定）

和歴	西歴	I H・選手権	選抜大会	国体
平成19年	2007	佐賀	静岡県・掛川市	秋田県・阿仁町
平成20年	2008	埼玉	静岡県・掛川市	大分県・挾間町
平成21年	2009	滋賀	静岡県・掛川市	新潟県・吉田町
平成22年	2010	沖縄	静岡県・掛川市	

I Hは、東地区・・・北海道・東北・関東地区（15都道府県）

中地区・・・北信越・東海・近畿地区（15府県）

西地区・・・中国・四国・九州地区（17県）

のローテーション（東・中・西）で9年に1回の開催。

平成19年度全国高等学校アーチェリー選手権大会競技方法について

高円宮賜牌 第40回全国高等学校アーチェリー選手権大会

主 催 (財)全国高等学校体育連盟・(社)全日本アーチェリー連盟
佐賀県・佐賀県教育委員会・多久市・多久市教育委員会
後 援 文部科学省・(財)日本体育協会・日本放送協会
(財)佐賀県体育協会・(財)多久市体育協会
主 管 (財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部
佐賀県高等学校体育連盟・佐賀県アーチェリー協会
協 賛 コカ・コーラ

1. 期 日

(1) 公式練習	平成19年8月8日 (水)	11時10分～14時50分
(2) 開会式	平成19年8月8日 (水)	9時15分～10時30分
(3) 競 技	平成19年8月9日 (木)～11日 (土)	3日間
(4) 閉会式	平成19年8月11日 (土)	競技終了後

2. 会 場

(1) 開会式	多久市陸上競技場
	所在地 〒846-0002 多久市北多久町大字小侍286番地24
	TEL 0952-75-3573
	(荒天時) 多久市体育センター
(2) 競 技	多久市陸上競技場
(3) 閉会式	多久市陸上競技場
	(荒天時) 多久市体育センター
(4) 練習会場	多久市野球場
	所在地 〒846-0002 多久市北多久町大字小侍1100番地3
	TEL 0952-75-4335

3. 競技種目

競技の種目・種類・種別は次のとおりとする。

(1) 種 目	リカーブ部門、団体競技・個人競技
(2) 種 類	予選ラウンドにおいては、団体競技・個人競技ともにFITA70m予選ラウンドとし、決勝ラウンドでは団体競技・個人競技ともにマッチラウンドとする。
(3) 種 別	男子の部・女子の部

4. 競技日程

日程	実施内容	時間帯	摘要
	8月7日(火)	10:00~16:00	練習会場開設
	8月8日(水)	9:15~10:30 11:10~12:40 13:20~14:50 11:00~16:00	開会式 公式練習男子・弓具検査女子 公式練習女子・弓具検査男子 練習会場開設
1日目	8月9日(木) 団体・個人競技 予選ラウンド	8:40~12:20 13:20~17:00 13:00・17:30 9:00~16:30	男子 予選ラウンド 女子 予選ラウンド 男子・女子予選通過校(選手)発表 (掲示発表による) 練習会場開設
2日目	8月10日(金) 個人競技 決勝ラウンド (マッチラウンド) 3位決定戦より 男女交互進行による	9:00~9:45 10:00~10:45 11:00~11:30 11:45~12:15 12:30~13:00 13:30~14:00 14:15~14:45 15:00~15:30 16:00~ 9:00~16:00	個人男女1回戦1組目 個人男女1回戦2組目 個人男女2回戦 個人男女3回戦 個人男女準々決勝戦 個人男女準決勝戦 個人男女3位決勝戦 個人男女優勝決勝戦 個人戦表彰式 練習会場開設
3日目	8月11日(土) 団体競技 決勝ラウンド (マッチラウンド) 3位決定戦より 男女交互進行による	9:00~9:30 9:50~10:20 10:35~11:05 11:10~11:40 12:10~12:40 12:50~13:20 14:10~15:00	団体男女1回戦1組目 団体男女1回戦2組目 団体男女準々決勝戦 団体男女準決勝戦 団体男女3位決勝戦 団体男女優勝決勝戦 団体表彰式・閉会式

* タイムテーブルは予定時間のため、天候その他により変更することもあります。

5. 競技規則

2006~2007年(社)全日本アーチェリー連盟競技規則及び大会運営規定による。

全国高体連アーチェリー専門部部活動要綱(安全対策)

1. 活動目的

クラブ活動としてアーチェリーを正しく真剣に学び、技術の向上をはかるとともに、心身を練磨して、礼節を尊び、自己の修養に努め、立派な人間形成を目指すものとする。また、部活動を通じ、先輩後輩の集団生活の中から、和の大切さを学び、部員相互の親睦を深めることをもって目的とする。

2. 活動内容

- (1) 練習日 学校長または顧問の承諾を得た日とする。
- (2) 合宿 学校長の承諾を必要として以下のとおりとする。
 - 1) 学校（部活）主催の合宿
 - 2) 各都道府県アーチェリー協会主催の合宿
 - 3) 各都道府県高体連主催の合宿
- (3) 対外試合
 - ・高体連主催の各種大会
 - ・県または市協会（競技団体）が主催し、県高体連が共催する大会
 - ・競技団体が主催し 一 体連が共催する大会
 - ・全国高体連主催の大会
 - ・競技団体が主催し、全国高体連が共催する大会
 - ・国民体育大会及び予選大会
 - ・教育委員会が主催する都道府県内の市区町村大会
 - ・競技水準の高い者を選抜して開催する大会
 - ・学校長の（承諾を得て参加する）練習試合及び招待試合

3. 練習内容

- ・練習内容は、主将が他の役員と相談し、顧問教員の許可を得て決定する。
- ・随時筋力トレーニング、ランニング等のトレーニングを導入する。
- ・部員は、いかなる場合も指導教員及びコーチの指示に従わなければならない。

4. 安全対策（アーチェリーメンバーの遵守項目）

- ・弓具は常に点検すること（特に弦切れ）
- ・他人の弓具に無断でふれること
- ・アームガード等は、必ず使用すること
- ・ストリンガーで弦を張るとき、弓の真上に顔をおかないようする
- ・身体にフィットした服装で行射する事（上着のポケットに物を入れたりして行射しないこと）
- ・的の方向に人がいたら決して行射しないこと
- ・人のいる方向に向いてたとえ矢をつがえてなくても弓をひかないこと
- ・セットアップの時、弓を頭の高さより上段に構えて引き込み（ドローイング）を行わない。

- ・空引き（矢をつがえずに弦を離すこと）はしない
- ・矢取りは、全員同時に合図をもって行うこと
- ・矢を抜くとき、矢の後方に人がいないことを確認してから抜くこと（他人の目をつくことがある）
- ・的の後方に矢取りに行くときは安全を確認しておこなうこと
- ・弓矢は土の上におかず、グランドクイーバー等を使用する。

5. 健康管理

- ・体調の悪い場合は無理に参加しないこと。
- ・練習中気分が悪くなったら先生にすぐに知らせること。
- ・日々規則正しい生活をし、各自健康に留意すること。

6. その他

- ・練習を遅刻、欠席する場合は責任者に届け出ること。
- ・先生、先輩はもちろん、お互いにきちんと挨拶をかわすこと。
- ・アーチャーとして気品ある行動をとること。

服 装 規 定

競技部 競技委員会 細則
昭和62年2月11日改定
平成5年3月26日改定
平成8年7月31日改定
平成12年8月8日改定
平成17年8月10日改定

I ユニフォームは、チーム内で統一されていること。統一の範囲は上衣・下衣とする。

1、上 衣

学校名は背面もしくは前面に、都道府県名は右腕の袖口に、それぞれ1ヶ所明示しなければならない。なお、いずれも弓具装着時に視認できる位置に表示する。
その他の名称等は表示してはならない。

(その他の名称等には学校名、クラブ等の愛称も含む)

長袖、短袖は同一デザインならば、混在し着用できる。シャツの裾は下衣の中にいれ、外に出してはならない。

2、下 衣

スポーツにふさわしいスタイルのウェアを着用すること。無地（単一色）で男子はスポーツスラックス又はショートパンツとし、女子はスポーツスラックス又はスカート・ショートパンツを着用する。

ショートパンツについては、競技者が腕を垂らした時に指先より長く、かつ膝頭が見えること。スラックスとショートパンツの混在は認めない。

なお、綿パン、オーバーサイズ、バギーパンツ、スエット、デニム等は競技用として認めない。

II 靴、靴下に関して

すべて白を基調としたものとする。

1、靴

アーチェリー競技に適した運動シューズとする。

(カジュアル、ダンス、タウン等の競技に適さないと認められるものは使用できない。)

2、靴下

ルーズソックス等は認めない。

III その他

1、チームとは登録選手、マネージャーとする。

2、監督が競技場内に立ち入るときは、選手と同じ上衣を着用しなければならない。

下衣については上記規定を厳守することが望ましい。靴は白地を基調とする運動シューズとする。

3、使用頻度、経年による上衣等の退色等は認める。

4、大会の場にふさわしくない服装は認めない。

5、視認できる部分の商標の大きさ基準は縦、30cm以内とする。

6、帽子は、白を基調とし、統一する。

IV 上記の規定外の服装に関しては、審判長および大会実施責任者の裁定に委ねる。

V 競技用ゼッケンの装着位置

上衣背面に四隅で止め、ゼッケンにより学校名等の視認が妨げられない位置に装着すること。下衣に装着してはならない。

主催者側で用意するゼッケンは縦15cm、横25cm。

尚、本規定は平成18年4月1日より実施するものとする。

得点記録の方法についての一部変更

本専門部が定める得点記録方法を下記規定に変更し、平成18年4月1日より実施する。

全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技会大会要項

VI 得点記録について

- ・その矢を所有する競技者の呼称にしたがって、高い得点から順にスコアカードに記入する。
その標的の他の競技者は、呼称・記録される矢の得点を確認する。
- ・矢の所有者および他の同一標的を使用する全選手が、それぞれを分担して確認を行い、適正確実に実施するものとする。
- ・競技者自身が関与する得点記録業務の内容は、他の競技者の得点記録や順位に関する権利にも影響を及ぼす部分である。それぞれが、下記の順序と各々の分担業務を確実に行うこと。役割等を拒んだ場合は、競技会への参加権利を失うものとする。虚偽が発生した場合は、該当選手又は同標的選手全員を失格とすることもある。
- ・全国大会(学校総合体育大会)では得点記録は、主管地で配置する記録補助生徒が記入をおこなう。

順序	得点記録の順序／業務分担例	ゼッケンA	ゼッケンB	ゼッケンC	ゼッケンD
1	Aの得点記録	得点呼称	呼称確認	記入確認	呼称確認
2	Bの得点記録	呼称確認	得点呼称	呼称確認	記入確認
3	Cの得点記録	記入確認	呼称確認	得点呼称	呼称確認
4	Dの得点記録	呼称確認	記入確認	呼称確認	得点呼称

全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約

第 1 章 名 称

第1条 本専門部は全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部と称する。

第2条 本専門部の事務局は部長指定の学校に置く。

第 2 章 目 的

第3条 本専門部は全国高等学校体育連盟（以下「全国高体連」と称する）規約第3条に基づき、高等学校におけるアーチェリー競技の健全な育成発展を図ることを目的とする。

第 3 章 事 業

第4条 本専門部は第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 全国大会開催に関する事項の審議並びに執行。
- (2) アーチェリーの普及並びに競技力の向上に関する事項。
- (3) アーチェリーの講習及び調査研究。
- (4) 関係団体との連絡。
- (5) その他目的達成に必要な事項。

第 4 章 組 織

第5条 本専門部は全国高体連規約第6条に基づき、各都道府県アーチェリー専門部をもつて組織する。

第 5 章 役 員

第6条 本専門部は次の役員を置く。

- (1) 役員
 1. 部長 1名
 2. 副部長 若干名
 3. 委員長 1名
 4. 副委員長 若干名
 5. 常任委員（ブロック代表9名+若干名）
 6. 委員（各都道府県より1名）
 7. 監事 2名
 8. 事務局長 1名
- (2) 本専門部は顧問を置くことができる。

第7条 役員の任期は2ヶ年とする。但し、再任は防げない。補欠によって就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第8条 本専門部の役員は校長、教諭より選出する。但し、顧問を除く。

- (1) 部長及び副部長は委員の推薦により、全国高体連理事会の承認を得て、部長これを委嘱する。
- (2) 常任委員は全国9ブロック（北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州）において選出された1名と若干名の推薦者を部長これを委嘱する。
- (3) 委員は各都道府県高体連アーチェリー専門部より1名を選出する。
- (4) 委員長及び副委員長並びに事務局長は常任委員会にて選出し、全国専門委員長会（以下委員会と称する）にて承認する。
- (5) 監事は委員会で選出する。
- (6) 顧問は委員会で推举することができる。

第9条 役員の任務及び構成は次のとおりとする。

- (1) 部長は本専門部を代表し、会務を統轄し全国高体連理事会に出席する。
副部長は部長を補佐し、部長事故あるときはその職務を代行する。
- (2) 三役は三役会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長）を構成し代表者会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長、競技委員長、強化委員長、審判委員長、総務委員長）とともに本専門部の企画、立案する。
- (3) 常任委員は、常任委員会（部長、副部長、委員長、副委員長、事務局長、常任委員）を構成し、本専門部の企画立案するとともに委員会の承認をえてその執行にあたる。
- (4) 委員は委員会（各都道府県代表、部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、監事、顧問）を構成し、本専門部の重要事項を審議決定する。
- (5) 監事は本専門部の会計を監査し、その結果を委員会に報告する。
- (6) 顧問は本専門部の組織運営について委員会並びに常任委員会の諮問に応ずる。

第 6 章 会 議

第10条 委員会は年1回部長が召集し、次の事項を審議する。但し、部長が必要と認めた場合または委員の1/3以上から会議の目的事項を示して請求があった場合は、速やかに委員会を召集しなければならない。

- (1) 会議では次の事項を審議する。
ア. 事業報告並びに計画 イ. 決算並びに予算
ウ. 役員の選出 エ. 規約の改正 オ. 他の重要な事項

第11条 常任委員会は必要に応じ、部長がこれを召集する。常任委員は常任委員会の開催を要請できる。

第12条 委員会及びに常任委員会は総会の $\frac{1}{2}$ 以上の（委任状を含む）の出席がなければ開くことができない。すべての会議は部長が議長となる。

第 7 章 専門委員会

第13条 本専門部の事業遂行のため、各種の専門委員会を設けることができる。

(1) 専門委員会の名称・目的及び委員は委員会の決議を経て部長が定める。

(2) 専門委員会の規定は別にこれを定める。

第 8 章 事務局

第14条 本専門部に事務局をおく。事務局の規定は別にこれを定める。

第 9 章 規約の変更

第15条 本専門部の規約は委員会において、委員の $\frac{2}{3}$ 以上の同意を得て変更することができる。

第 10 章 会計

第16条 本専門部の経費は補助金・助成金その他の収入によってこれをあてる。

第 11 章 付則

第17条 規約の施行については必要な事項は委員会の議決を経て部長が定める。

附則 この規約は平成元年2月11日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

総務委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき総務委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第4条の事業に必要な資金を調達すること。
 2. 優秀選手の表彰に関すること。
 3. 関係功労者の表彰に関すること。
 4. 規約改正に関すること。
 5. 機関誌の発行に関すること。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

競技委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき競技委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 競技会に関する基本方針を確立すること。
 2. 全国高等学校アーチェリー選手権大会および選抜大会の実施方法その他の重要事項を審議すること。
 3. 本専門部関係の競技会の調整をはかること。
 4. 各競技会の記録整理および認定保存をはかること。
 5. その他競技に関する必要事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じて臨時の委員を置くことができる。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長ならびに副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

昭和60年8月10日一部改正

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

審判委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき審判委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 競技会への審判員派遣に関する基本方針を確立すること。
 2. 審判員養成および研修事業に関すること。
 3. 審判資格修得および更新に関すること。
 4. その他、競技規則および審判に関する必要な事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。ただし、必要に応じて臨時の委員を置くことができる。
1. 全国9地区（ブロック）の審判委員会委員長および専門部長が常任委員の中から指名する若干名の委員。
 2. 委員会で推薦された若干名の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

強化委員会規程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第13条に基づき強化委員会（以下本委員会と称する）を設ける。
- 第2条 本委員会は次の事業を処理する。
1. 強化ならびに普及活動に関する計画立案と、その推薦および指導に関すること。
 2. 國際競技等に代表選手を派遣すること。
 3. 指導者の養成および活動に関すること。
 4. その他、強化、普及に関する必要な事項。
- 第3条 本委員会は次の委員をもって組織する。
1. 本委員会において推薦された若干名の委員。
 2. 部長が常任委員の中から指名する若干の委員。
- 第4条 本委員会は委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
- 第5条 委員長および副委員長は、委員の互選とし部長が委託する。
- 第6条 委員長は本委員会を代表し、本委員会の会務を掌握する。
- 第7条 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- 第8条 委員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。補欠によって就任した委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 第9条 本委員会は委員長が召集し、その議長となる。
- 第10条 本委員会が事業を処理するにあたっては、常任委員会にはかり、承認を受ける。
- 第11条 緊急事項で本委員会に付議することができないときは常任委員会が代行し、次の本委員会に報告し承認を受ける。

附則 この規程は昭和58年8月1日から施行する。

平成元年7月27日一部改正

平成5年8月1日一部改正

事務局規程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部規約第14条に基づき事務局に関わる規定を定める。

第2条 事務局は次の事業を処理する。

1. 全国高等学校体育連盟との連絡等に関すること。
2. 各大会における関係機関への連絡等に関すること。
3. 全日本アーチェリー連盟と各都道府県アーチェリー協会（連盟）との連絡等に関すること。
4. 各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部との連絡に関すること。
5. 会員登録に関すること。
6. その他部長が指定する事項を処理する。

第3条 事務局には次の職員を置く。

事務局長 1名 事務員 若干名

第4条 事務局長は、事務局を統轄し、事務局員を指導監督する。

第5条 事務局員の数並びにその任命は常任委員会の承認を得て事務局長が行う。

第6条 事務局員は事務局長の命を受け、本専門部会の事務を処理する。

第7条 事務局長の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

附則 この規程は平成元年7月27日より施行する。

平成5年8月1日一部改正

アーチェリー専門部表彰 規 程

- 第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下専門部と称する）では、表彰に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し表彰する。
- 第2条 この規程は全国高等学校体育連盟アーチェリー競技の普及振興に功績があった者等に対し表彰を行うとともに、全国高等学校体育連盟表彰規程の被表彰者の推薦母体に資することを目的とする。
- 第3条 前条に定める被候補は、次の各号から推薦するものとする。
1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
 2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
 3. その他。
- 第4条 表彰者の選考は部長・副部長・委員長・副委員長・事務局長があたり、常任委員会の承認を受けるものとする。
- 第5条 表彰は、常任委員会または全国高等学校アーチェリー選手権大会において行う。
- 第6条 本規程表彰者推薦のための基準は次の通りとし、重複表彰はしない。
1. 本専門部長・専門委員長・専門部役員。
 - 1) 専門部役員については、3期（6年）以上とする。
 2. 各都道府県専門部長・専門委員長。
 - 1) 専門委員長については6年以上とする。
 3. その他、特に功績のあった者。
- 第7条 推薦手続きは毎年4月中旬・10月中旬までに本専門部事務局宛に提出する。
- 第8条 経費は本専門部一般会計より支出する。
- 附則 この規程は昭和58年8月1日より施行する。

平成元年7月27日一部改正。

平成3年7月25日一部改正。

アーチェリー専門部慶弔 規 程

第1条 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部（以下「専門部」と称する）では、慶弔に関する規程を次の通り定め、その該当者に対し敬意を表わすことができる。

第2条 その基準と範囲は次のとおりとする。

1) 慶事に関して

ア) 功績者および関係役員等が、他からの栄誉を称えられた場合。

2)弔事に関して

ア) 功績者および関係役員等に不幸が生じた場合。

3) 範囲

ア) 記念品または弔慰金等およびこれらの電文とする。

第3条 その他、この規程に定めない特別の場合については、常任委員会の承認を得て敬意を表すことができる。

ただし、緊急の場合は部長がこれを出し、常任委員会に報告・承認を得るものとする。

第4条 経費は本専門部一般会計より支出する。

附則 この規程は、平成2年4月1日より施行する。

連絡先および口座番号

1. 事務局

〈登録担当〉

〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19 大阪女子高校内

TEL 06-6719-2801

FAX 06-6714-0045

2. 競技部

〈記録登録〉

平成19年度変更予定（未定）

3. ランキング表支払い口座

平成19年度変更予定（未定）

4. 全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部事務局の口座

（銀行名） りそな銀行阿倍野橋支店（店番107）

（預金種目・口座番号） 普通預金 0057839

（名称） （財）全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

佐幸 修

ザイ）ゼンコクコウトウガッコウタイイクレンメイ

5. 全日本アーチェリー連盟

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館4F

TEL 03-3481-2402

競技会の公認についての連絡

全国高体連アーチェリー専門部
事務局

全国高等学校アーチェリー選抜大会の要項を発送致しましたが、各都道府県で実施している全日本アーチェリー連盟公認試合の申請及び結果報告についてさまざまな問題が発生しております。

通達や登録用紙送付・全国委員長会議等において指示をして参りましたが、依然として申請並びに結果報告に問題があり、出場資格の公認において重大なるミスが明らかになっている都道府県があります。特に、ランキング表上位20名の出場審査におきまして、全日本アーチェリー連盟に結果報告書の提出されていない大会があります。

今回に限り、全日本アーチェリー連盟競技部の特別の計らいにより参加を認めましたが、次年度大会より公認申請と結果報告がなされていない記録に関しては失格とする処置を取ります。

生徒の将来にかかる重大な問題でもありますので、くれぐれも公認規定と各種の報告書の処理を熟読・理解し対処お願い致します。

- ◎高体連事務局に年間行事計画を提出 4／20締め切り (指定用紙)
- ◎全日本アーチェリー連盟に競技公認申請書 4月下旬までに提出 (指定用紙)
☆大会終了後速やかに ・公認競技会成績報告書 ・プログラム
・成績一覧表

全日本アーチェリー連盟に原本 全国高体連事務局にその写しを送付

以上

高体連主催競技会の公認について

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

高体連主催の競技会を本連盟の公認を得たい場合は次の要領で手続きをおこなってください。また、本連盟の公認競技会とするには本連盟の競技規則に基づいて競技会が運営されていなければならない。(特に競技役員は公認審判員で構成する必要がある。)

1. 公認競技会の回数と公認料について

高体連主催の競技会は県大会は年3回、地区大会は年1回の公認料は免除する。これを超えて開催したい場合は規定の公認料(1試合につき10,000円)が必要となる。

2. 県大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

県高体連は5月下旬(選手登録〆切期日)までに「競技会公認申請書」に必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請してください。

その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

県高体連は公認競技会が終了した1ヶ月以内に「公認競技会成績報告書」に競技成績表を添えたものを県協会の承認を得てから本連盟事務局へ送付・報告をおこない全国高体連事務局へは成績表のみ送付する。

3. 地区大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

地区大会を主管する県高体連は5月下旬までに「地区大会公認申請書」必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請をおこなってください。その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

公認競技会の成績報告については主管団体が2.(2)と同様の処理をおこなうものとする。

4. 大会の申込期日近くに開催した公認競技会の処理方法について

出場申込をする大会の申込期日近くに開催した公認競技会の得点記録をその大会の申請点とする場合は、FAXによる(仮)報告をおこなってください。後日、正式な報告をおこなってください。

以上

(注 意)

この手続(競技会公認申請・成績報告)がされていない場合、この競技会の記録は公認されないことになり、この記録で本連盟主催の選手権大会等に出場申込をした場合、失格する場合がありますのでご注意ください。

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

公認競技会(公認記録)について

本通達は、全日本アーチェリー連盟(以下、本連盟という。)が、日本記録等の認定並びに本連盟が主催する選手権大会等の選手選考の対象となる公認記録について次のように定める。

1. 公認記録

公認記録とは、本連盟が公認した競技会で記録された得点記録のことであり、本連盟に記録の報告があったものをいう。

2. 公認競技会

本連盟が公認する競技会は次のものである。

- [1] オリンピック、世界選手権大会等のFITAが公認した競技会
 - [2] 本連盟を代表として参加した国際競技会
 - [3] 本連盟の承認を得て参加した国際競技会
 - [4] 本連盟が主催または共催する競技会
 - [5] 本連盟が後援する競技会…各地区大会
- ※申請手続き等は「地区大会の競技会公認申請・成績報告についての説明文」を参照する。
- [6] 本連盟の加盟団体が主催する競技会で、事前に本連盟の公認を得ており、本連盟の競技規則、その他の規定に基づいて実施されている競技会

3. 申請手続

- (1) 加盟団体の本連盟への競技会公認申請手続きは次のとおりである。

①各都道府県アーチェリー協会(連盟)(以下、県協会という。)

年初(4月末まで)に競技会公認申請書(競技・様式第2号)により公認料を添えて申請する。なお、県協会の構成団体が本連盟の公認を得たい場合は下記の条件を満たしていること。公認申請は県協会が自協会分と合わせて申請すること。

・県協会の共催および主管を得ていること。

・競技会は本連盟の競技規則、その他の規定に基づいて実施されていること。

②全日本学生アーチェリー連盟(以下、学連という。)

年初(4月末まで)に各地区学連分も合わせて競技会公認申請書により公認料を添えて申請する。

③各都道府県高等学校体育連盟アーチェリー専門部(以下、県高体連という。)

県高体連は5月下旬(選手登録締切日)までに競技会公認申請書を県協会の承認を得てから公認料を添えて申請すること。

- (2) 公認競技会の追加申請

公認競技会を追加したい場合、その競技会の開催日の1か月前までに競技会公認申請書を提出されなければならない。公認料は全て有料である。

- (3) 雨天等により公認競技会の延期または中止した時の処理

速やかに公認競技会中止・変更(延期)届書(競技・様式第5号)を提出すること。

4. 公認料

公認料の金額および免除回数は理事会において別途定めて通達する。

5. 申請単位

公認競技会の申請単位は開催日が複数日であっても連続していれば1競技会と計算する。

そして、開催日が異なる場合はどんな場合でも別の競技会と見なす。

以上

日本記録、日本国際記録および日本高校記録の承認手続および記録管理要領

日本記録、日本ジュニア記録・日本キャデット記録・日本高校記録の承認手続および管理は次の要領でおこなうものとする。

1.記録の種類

全日本アーチェリー連盟(以下本連盟という。)で公認する日本記録、日本国際記録、

日本ジュニア記録・日本キャデット記録および日本高校記録は(別表-1)のとおりとする。

2.新記録の対象記録

新記録の対象となる得点記録は本連盟が公認している競技会の得点記録でなければならない。

3.新記録の申請手続方法

公認競技会の種類により申請手続は次のとおりとする。

①オリンピック・世界大会、国際大会および本連盟主催競技会(選考会も含む)

記録が更新された時点で直ちに承認をおこない、後日開催される理事会において確認する。(新記録の申請は不要)

②上記以外の公認競技会

競技会を主催(または主管)した団体が新記録承認申請書(競技・様式第4号)にスコア・シート、競技会プログラムおよび成績表を添えて次のタイミングにより本連盟に申請する。

記録更新日	申請締切日	最終締切日
4月1日～6月30日	記録樹立後1ヶ月以内	7月31日
7月1日～9月30日	"	10月31日
10月1日～12月31日	"	1月31日
1月1日～3月31日	"	4月30日

4.新記録の承認手続

本連盟競技委員会は申請締切日からの1ヶ月間で提出された申請書に基づき「日本記録承認願」を作成し、理事会の承認を得るものとする。

ただし、理事会の開催時期の都合により、文書による場合がある。

5.新記録の広報

本連盟競技委員会は理事会で新記録が承認されたら、「日本記録一覧表」の更新をおこない、各加盟団体に送付する。

6.記録の保存管理

本連盟競技委員会は年度末には日本記録一覧表(3月31日現在)と主要競技大会の成績表のダイジェスト版で「年度競技会報告書」を作成し、各加盟団体に送付する。

ただし、本連盟が保存するものについては、主要競技大会の成績表(全)を添付するものとする。

7.日本国際記録

日本国際記録については次のような取扱いをするものとする。

①日本国内で開催された公認競技会において、本連盟に競技者登録をおこなっている外国籍の選手および海外からの招待選手が日本国内において日本記録を更新した場合、日本国際記録として公認をおこない、日本記録がその国際記録を更新するまで管理を行う。

②記録の申請および承認手続は日本記録と同様の処理とする。

以上
(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員会

(社)全日本アーチェリー連盟
競技委員長

高体連主催競技会の公認について

高体連主催の競技会を本連盟の公認を得たい場合は次の要領で手続をおこなってください。また、本連盟の公認競技会とするには本連盟の競技規則に基づいて競技会が運営されていなければならない。(特に競技役員は公認審判員で構成する必要がある。)

1. 公認競技会の回数と公認料について

高体連主催の競技会は県大会は年3回、地区大会は年1回の公認料は免除する。これを超えて開催したい場合は規定の公認料(1試合に付き10,000円)が必要となる。

2. 県大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

県高体連は5月下旬(選手登録〆切期日)までに「競技会公認申請書」に必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請してください。

その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

県高体連は公認競技会が終了した1ヶ月以内に「公認競技会成績報告書」に競技会成績表を添えたものを県協会の承認を得てから本連盟事務局へ送付・報告をおこない全国高体連事務局へは成績表のみ送付する。

3. 地区大会の公認方法について

(1) 競技会の公認申請方法

地区大会を主管する県高体連は5月下旬までに「地区大会公認申請書」に必要事項を記入して県協会の承認を得てからその申請書を本連盟事務局へ送付申請をおこなってください。その写しを全国高体連事務局へ送付してください。

(2) 競技会の成績報告

公認競技会の成績報告については主管団体が2.(2)と同様の処理をおこなうものとする。

4. 大会の申込期日近くに開催した公認競技会の処理方法について

出場申込をする大会の申込期日近くに開催した公認競技会の得点記録をその大会の申請点とする場合は、FAXによる(仮)報告をおこなってください。後日、正式な報告をおこなってください。

以上

(注意)

この手続(競技会公認申請・成績報告)がされていない場合、この競技会の記録は公認されないことになり、この記録で本連盟主催の選手権大会等に出場申込をした場合、失格する場合がありますのでご注意ください。

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

競 技 会 公 認 申 請 書

○公認料

(公認競技会回数 回 - 免除回数 3回) × 10,000円 = 円

○公認申請競技会

日 程	競 技 会	競 技 会 場	種 目

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

地 区 大 会 公 認 申 請 書

下記の競技会について、貴連盟の公認を申請いたします。

大 会 名			
主 催			
主 管			
開 催 日		公 認 料	要 ・ 不 要
種 目			
種 別 (定 員)			
參 加 資 格			
選手選考方法			

平成 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

公 認 競 技 会 成 績 報 告 書

下記の競技会について、添付成績表のとおり記録公認を申請いたします。

競 技 会			
主 催			
主 管			
開 催 日			
氣 象 状 況			
競 技 会 場			
(所 在 地)	都道府県		市町村 (区)
競技会責任者	印 (競技委員長の署名・捺印)		
競 技 役 員	担 当	氏 名	公認審判員 (級)
	競 技 委 員 長		
	D O S		
	審 判 長		
	審 判 員		

(競技・様式第4号)

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

専門部名 _____

専門部部長名 _____ 印

新記録承認申請書

下記の競技会において、新記録〔日本記録、日本国際記録、日本ジュニア記録、日本高校記録(参考記録)〕が作られましたので、この記録の承認を申請・報告いたします。

競技会名								
開催日								
競技会場 (所在地)	都道府県			市町村(区)				
競技会責任者	印 (競技委員長の署名・捺印)							
競技種目				得点記録	点			
(選手名又はチーム名)		(勤務先名又は学校名)個人記録の時のみ記入						
記録内容	区分	選手名	登録番号	m	m	m	m	
	個人							
	団体	①						
		②						
③								
(備考) 1.申請書は、新記録が樹立された種目毎に1枚あて提出すること。 新記録対象項目を丸印で囲むこと。 2.添付書類の ①スコア・カード(コピー可) ②競技会プログラム ③競技会成績一覧表を必ず提出すること。								

本連盟は、上記の記録を承認いたしました。

平成 年 月 日
社団法人 全日本アーチェリー連盟
会長 印

(競技・様式第5号)

20 年 月 日

(社)全日本アーチェリー連盟 会長 様

[都道府県高校体育連盟アーチェリー専門部]

専 門 部 名 _____

専門部部長名 _____ 印

[都道府県アーチェリー協会(連盟)]

競 技 団 体 名 _____

競技団体会長名 _____ 印

公認競技会（変更・中止・延期）届

下記対象競技会の（変更・中止・延期）をご報告いたします。

○中止対象競技会名（公認申請済み競技会）

日 程	競技会名	競技会場	種 目

○変更、延期報告

申請済み日程・競技会名・変更前：「報告内容」欄に届出内容を記入する。

日 程	競技会名	競技会場	種 目	報告内容

変更後の状況報告・変更後

日 程	競技会名	競技会場	種 目

まったく新しいシューティング感覚を実感するだろう。

INNO BOW

INSPIRATION. INGENUITY. INNOVATION

RECURVE BOW

PROFESSIONALISM AND STRENGTH



INNO POWER LIMBS

1. タワー効果

2. ケブラーハイブリッドフォーム

フォームにケブラーを1~4ミリ間隔で挟むことにより両素材の利点を最大限に引き出しています。

3. ダブルアンダルカーボンの驚異的効果:

Patented #391535

WIN&WIN の45度カーボンバイアスはシューティングを

より安定させると同時にリム全体を保護し、優れたねじれ剛性を発揮します。

■ 28~48ポンド (2ポンド刻み)

■ S (64、66インチ)、M (66、68インチ)、L (68、70インチ)

NEW



NEW

INNO CARBON RISER

1. 2つのカーボンフレームによるデザイン

リムの動きを安定させ、より一定したアローグルーピングを実現します。

2. 精度

極限まで高めたストレート性と最小限に抑えたねじれ剛性。

3. 容易なセンターショット調整システム

ストリングを張ったまま、簡単にセンターショット調整ができます。

■ カラー: レッド/ホワイト、ブルー/ホワイト、ブラック/ホワイト、シルバー/ホワイト、ホワイト/シルバー

■ 25インチ (RH, LH)

■ 1220g



W&W Japan

ネクストアーチェリー

矢速とドローイングの滑らかさを兼ね備えてねじれにも強いリム

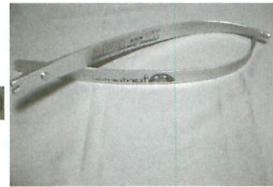
初心者から上級者のレベルアップに貢献するリム

エヌ・プロ ホイット ウィン サミック などのハンドル対応リム

それが **RADERxxxTX(レータートリフルエックス)**



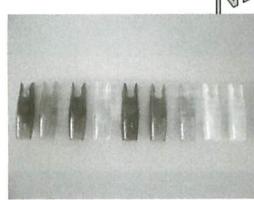
販売価格 126,000円
リムカラー・ホワイト・シルバーがあります。
ショート・ミディアム・ロング



RADERxxxTX

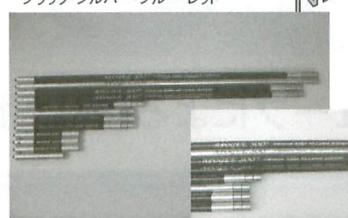
アポジーX10用アウトサートノック ¥210

ブラック・ルビー・モスグリーン・グリーン
ブラウン・ブルー・オレンジ・ホワイト・イエロー



アポジー2カーボンスタビライザー

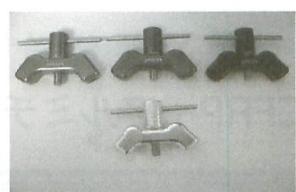
センターロッド 26"~28" ¥18,900
サイドロッド 10"~11" ¥9,450
エクステンダー 4.5"~6" ¥6,300
ブラック・シルバー・ブルー・レッド



アポジーVバー ¥6,300

ブルー・レッド・ブラック・シルバー 43×0 39×0 33×0

NEW



ネクストコンパクトターゲットマット

約500mm × 500mm × 55mm

100%ラバ使用 屋内の近射に最適、持ち運び簡単 1個 5,250円
1枚 2,100円(送料別途)



ネクストカウンターバランス

約150g 約100g

1個 5,250円



ネクストアンカーパット付コードパンタブ ¥3,780

ネクストスペアーパット ¥2,625

アンカーパットのみ ¥1,155



ネクストターゲットマット 11,550円

一枚物(送料別途)

1300mm × 1300mm × 55mm

ネクストアーチェリー

870-0921 大分県大分市萩原3-15-3

TEL 097-551-3183 FAX 097-551-3287



ネクスト4脚 52,500円

移動が簡単で便利
(送料別途)

HASCO

HOYT CARBON GRAPHITE STABILIZER

ホイット・カーボングラファイトスタビライザー

新構造が剛性の常識を変えた

根本と先端の振動減衰性能と剛性を変えることにより、“しなやかさ”とハンドルとの優れた一体感を実現。

次世代スタビライザー、HASCOから登場！

CFRP+アルミチューブによる優れた振動減衰システム



エクステンションロッド
CFRP+アルミチューブのダブル構造
+アウトサート式ブッシングなので、
大幅に剛性アップ！
専用レンチがついているので、着脱時の
過度な締め付けによるトラブルも解消。

HOYTカーボングラファイトスタビライザー

- センタースタビライザー 18,900円
サイズ：28、26インチ（5/16, M6）
ウェイト：A・B・C（3個付き）
カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド
- Wロッド 10,500円
サイズ：12、11インチ（5/16, M6）
ウェイト：A・C（2個付き）
カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド
- Mロッド 5,250円
サイズ：5、4、3インチ（5/16）
カラー：ブラック、シルバー、ブルー、レッド
専用レンチ付き

HASCO ARCHERY ☎543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝2-5-4 TEL.06-4305-1666 FAX.06-4305-1686
e-mail : info@hasco-archery.com www.hasco-archery.com

高校生のみなさんへ*

2007・Spring

はじめまして！全日本学生アーチェリー連盟です◎

『学連』とは、大学生の運営する大学アーチェリーのための機関です。

インハイの大学版…つまりインカレの試合をお仕事としています✿

全国の大学・選手と直接関わりあって試合を運営していくので、

選手側とはまた違った目線でアーチェリーを見ることが出来ます。

2年間を通して、北から南へ大移動しながら大会を作り上げていく

のも学連の醍醐味！✿いっしょに全国を回りましょう！

2007年度大会予定

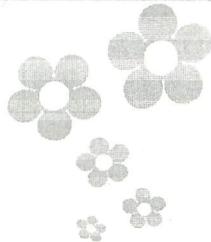
インカレインドア（大阪）

東日本・西日本大会

学生王座決定戦（静岡・つま恋）

インカレターゲット（東京）

インカレフィールド（広島）



各地の選手や役員とお友達になったり、試合運営を通して社会が
学べたり…得るもののがたくさんあります。

もし興味を持たれたら…お気軽に近くの学連役員または学連 HP
まで何でも聞いてくださいね✿

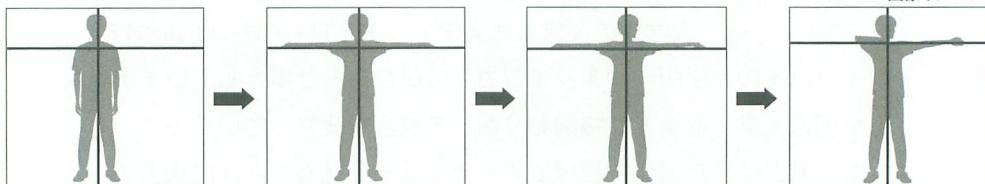
全日本学生アーチェリー連盟

⇒ <http://www.student-archery.jp/>

A J S A F

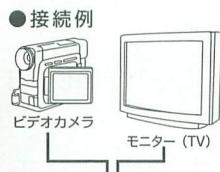
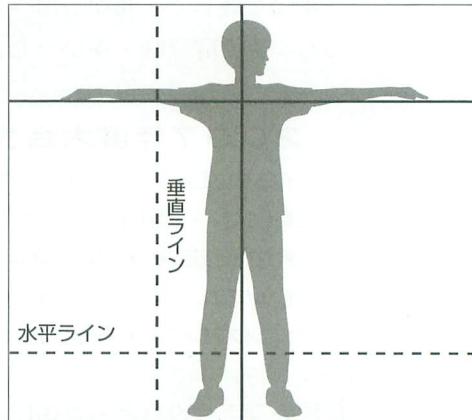
フォームを即、その場で自動再生 正十字やリリースの動作チェックも自分でできる

トップアスリート達が効果的に使用している練習器具——自動リプレイ装置



*画像イメージ

実際に試用された体育の先生から「生徒が自分達のフォームを見たとたん、目を輝かせて練習をし始めました。」と、嬉しい反響を頂いています。生徒たちにとっては新鮮で大変興味深い、練習方法となったことでしょう。従来このような装置はとても高額でしたが当社の最新技術により6万円代の廉価格を実現。無料貸し出しを実施していますので、是非一度お試しになってご検討いただければ幸いです。もちろん、購入義務は一切ございません、ご期待に添えなければ送料着払いのご返送ください。



◎フォームの基本動作や体のブレチェックには便利な水平・垂直ライン表示機能付き。画面中に任意の垂直、水平ラインを設定し体の中心軸や、上下のブレを正確にチェックできます。

自動リプレイ装置「カコロク」VM-800 價格 ¥69,300円 (税込・教育機関向け価格)

- ◎簡単 単… その場ですぐ簡単に接続し使用できます。
- ◎便利… 今お手持ちのビデオカメラ、モニター（TV）に接続して使えます。
- ◎親切… 水平、垂直ラインを画面表示（姿勢、動作を一目でチェック）。
- ◎小型… 新書サイズで軽量 500g・丈夫（板金筐体）。
- ◎多機能… スロー再生（スピード可変）、静止画、コマ送りなど。



株式会社 アイ・ティー・オー (ISO14001/2004登録番号 E05-488)
〒573-0046 大阪府枚方市宮之下町 8-2
Tel.072-853-3553/Fax.072-853-3577 e-mail:ito@itonet.co.jp

詳しい仕様や機能は当社ホームページ <http://www.itonet.co.jp> でご覧になれます。



For Archers' Minded

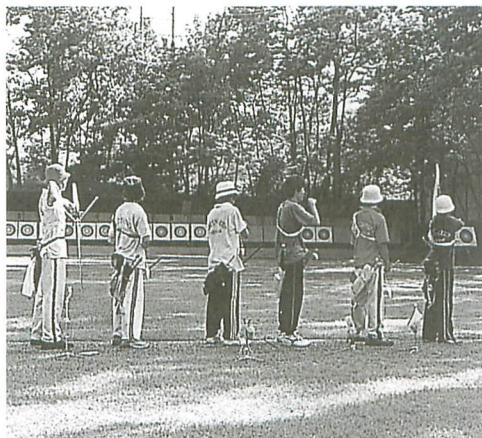
株式会社 アイ・コーポレーション

〒561-0817 豊中市浜1丁目28番12号

TEL 06(6333)9023

FAX 06(6334)3124

みそら野館洋弓場



い・い・汗・青・春・合・宿

北アルプス連峰を一望する白馬山麓にある

当館専用射場 巾40M

長さ100M

30m、50m、70m、90m
オールラウンド可能常設レンジ。
宿舎より約300mの場所にあり
アカシアの木々の緑に囲まれた
気持ちのよい洋弓場です。

〒399-9301

長野県北安曇郡白馬村大字北城450

みそら野館

TEL 0261-72-2800 (FAX兼)

矢を速く、低く、遠くへ飛ばす新次元のボウストリング&サービング登場！

ANGEL SPECIAL BOWSTRING

ASB Majesty



世界初の熱接着性樹脂加工ストリング

熱接着性樹脂加工のASBマジェスティは、粘性が非常に低いのが特徴です。この樹脂加工により、他のストリングより30%以上の軽量化と1.8倍もの初期弾性率を実現。驚異的な矢速と素晴らしいグルーピングを世界のアーチャーに贈ります。

一般的に、初めて使うストリングは“引き揃え”をすると、重なり合った部分やツイストした部分の長さが均一になります。ワックス加工が施されていないASBマジェスティは、ストランド間の摩擦が大幅に軽減され、とても迅速に安定するので、たった十数射で引き揃えられます。他のストリングのように、長い時間を要し“伸びに似た現象”が長く続くことはありません。

ASBマジェスティ・ストリングは皮革などでしごいて使用してください。摩擦熱により樹脂が軟化し、表面が均一にコーティングされて、雨の浸透や紫外線による劣化からストリングを保護します。

また、べつつかない樹脂は衣服等への移着が少なく、ホコリなども付きにくいので、ストリングの重量の変化が最小限に抑えられます。ASBマジェスティは、ストリング・コンディションが一定で、長期間優れた性能を維持します。

8インチ前後のプレースハイトを推奨

初期弾性率が高いASBマジェスティ・ストリングは、従来のストリングで推奨されているプレースハイトではリムのリカーブ部やカムの動きを抑えてしまい、ストリングの性能を発揮できないだけでなく、弓本来が持つ性能も十分に発揮できません。ASBマジェスティ・ストリングを使用するときは、他のストリングを使用するときよりも約5~20mm低く、プレースハイトを設定してください。また、伸び率が低い（他のストリングよりも12%低い）ため、ASBマジェスティ・ストリングのサイズは、他のストリングよりも1%以上長めのものを選んでください。

ASBマジェスティ・ストリングの適正ストランド数は、スマールサイズのノックの場合には18ストランド、ラージサイズのノックの場合には20ストランドが適当です。
*初めて使うストリングは、まず20~40回ねじり、引き揃えをしてください。次にストリングをねじりプレースハイトを微調整し、引き揃えをしてからノックイングポイントを作ってください。最後に皮革などでしごき、ご使用ください。

ASB Majesty

■ マジェスティ・ストリング原糸（ブラック・ホワイト）
2300m巻（28,350円）／750m巻（9,765円）
250m巻（3,360円）

■ マジェスティ完成弦（ブラック・ホワイト） 2,100円

■ マジェスティ・サービング糸（3,360円）

0.015 150デニール（120m巻／ブラック）
0.018 200デニール（100m巻／ブラック）
0.021 250デニール（80m巻／ブラック・ホワイト）
0.023 300デニール（75m巻／ブラック・ホワイト）
0.026 400デニール（60m巻／ブラック）

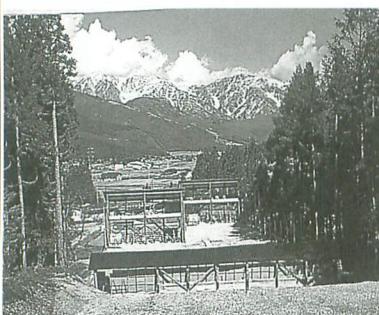
株式会社エンゼル

E-mail: info@angel-japan.net

http://www.angel-japan.net

〒110-0015 東京都台東区東上野1-7-12 徳永ビル2F

TEL.03-3833-4972 FAX.03-3833-4772



白馬三山を背景に



90m・70mの場より射場
1階より50m・30m
2階より90m・70m

Big Scale

気迫のこもった一矢を
北アルプスのさわやかな風が
やさしく包み込む。そんな抜群の
ロケーションと自由自在な
練習時間で、成果も上々。



木塵専用アーチェリー施設



旅館

木
塵

木
塵

〒399-0211 長野県北安曇郡白馬村大字木曽町二丁目1号

TEL 0261-75-2375 FAX 0261-75-2022

ほんとうの高性能。
ほんとうの低価格。

PRO Select & **AVIA**

PRO Selectのカーボンアロー本来が持つべき高性能。スタビライザーに初めて部分的剛性の変更という性能を付与したParabolic Stabilizer。アルミより安いカーボンアロー**AVIA**。これまでアーチャーが望んでも手に入らなかったハイパフォーマンスをわたしたちは日本のすべてのアーチャーに届けたかったのです。まずは一度シートしてみてください。なぜこれほど多くの支持を受けているのか、すぐに納得がいくはずです。そしてあなたが使っていた道具が決してベストチョイスではなかったことが理解できるはずです。

PRO Select / **AVIA** 日本輸入代理店

東北エンゼル

TEL・FAX 022-227-8042

信州いいづなリゾート
iizuna resort

アーチェリー競技から合宿までフルサポート！

会場や宿泊・送迎などお気軽にご相談ください。

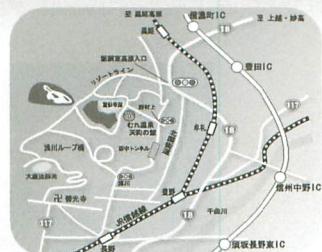
詳しくは下記までお問合せください。

TEL 026-253-3210

snow@iizuna-resort.com

<http://www.iizuna-resort.com>

長野県上水内郡飯綱町大字川上 2755-345



松本平名産 こくのある 長芋 食物繊維の王様 ごぼう

10月末から新物ができます！長芋は翌春3月まで、ごぼうは年内中に予約承ります

古屋農園（百瀬芳和）

長野県東筑摩郡山形村下竹田6707番地

Tel/Fax 0263-98-3101

信州発 美味いもの
全国発送承ります

寒暖の差が育てる甘味と酸味のバランス 聖高原りんご

サンつがる(9月中旬) シナ/スイート(10月半ば~下旬)
サンふじ(11月半ば~11月中)

柳原りんご園（柳原君子） 長野県東筑摩郡麻績村麻3588番地

Tel/Fax 0263-67-2181



初心者からベテランまですべてのアーチャーのためのプロショップ

BOW and ARROW



ナゴヤアーチェリーショップ[®]

〒464-0032 名古屋市千種区猫洞通5丁目2の6

TEL(052) 751-2122 FAX(052) 751-2122

遠征・合宿でのご宿泊、懇親会・祝賀会などの御宴会には…



京阪電車・地下鉄谷町線「天満橋駅」直上 —————



大阪キャッスルホテル

<http://www.osaka-castle.co.jp>

ご予約・お問合せは、

〒540-0032

大阪市中央区天満橋京町1-1

TEL 06-6942-2401(代表)

FAX 06-6946-9043

E-mail info@osaka-castle.co.jp

選手の健闘をお祈りいたします

しおじ旅館

〒649-2102 和歌山県西牟婁郡上富田町岩田162 TEL 0739-47-0175

Target tatami of LIFENET

ライフネットの 「標的畳」

適度な弾性を実現

矢にも安心

継ぎ目がなく、硬さが均一

1枚仕上げ

'05岡山国体競技にて
採用されました

規格／1,350×1,350×55m/m

価格／10,500円（税込・送料別途）

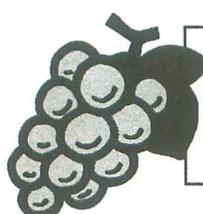
ターゲットは含まれておりません。

・数量は問わざご相談ください。

・ライフネットグループ全国75店から直接納入もできます。

株式会社 ライフネット難波

本社：岡山県倉敷市茶屋町1319 TEL 0120-320-300 FAX 086-429-1530
E-mail info@lifenet-namba.co.jp URL http://www.lifenet-namba.co.jp



北条レンタカー

お客様の

一般貸切バス

酔醍交通

あらゆるニーズにお応えします！

北条本店

東伯郡北栄町田井 22-5
TEL 0858-36-2322

中山営業所

西伯郡大山町下甲 253-1
TEL 0858-49-3755

米子営業所

米子市長砂町 479-1
TEL 0859-32-0550

SAGA SPORTS

■スポーツ用品 ■スポーツ用機器

 (有) 佐嘉スポーツ

本店：〒847-0844 佐賀県唐津市菜畑3282番地1

Tel (0955) 73-5696(代)

Fax (0955) 74-8277

支店：〒848-0027 佐賀県伊万里市立花3965番地5

Tel (0955) 20-4090

Fax (0955) 20-4091

あとがき

会報の編集にたずさわるようになり早15年の歳月がたちました。その間に委員長も滋賀の藪内先生から愛知の田中先生、東京の雨宮先生へと替わり、そして今年度からは徳島の住友先生が委員長として全国高体連アーチェリー専門部の舵取り役を務められます。

前任者の吉田先生と共に、会報の充実に取り組み試行錯誤を繰り返すなか、それなりの充実感を感じる事もありましたが、ミスを犯し先生方にご迷惑をかける事もたびたびありました。しかしながら何とかここまでやってこられたのは、毎回忙しい校務の中、時間を割いて原稿をお寄せいただいた各地の先生方のお陰と感謝しております。

「お陰様で」元々は炎天下本陰に居る快適さを感謝の言葉にしたものだそうですが、頭上で誰かが強い日差しを遮ってくれる、そのことの有り難さに気づく心、この心を大切にこれからも生きてゆきたいと思います。

会報21号発行に際しご協力を頂いた皆様にあらためてお礼の言葉を述べさせていただきます。「お陰様で21号も無事発行することができました、有り難うございます。」

(佐幸)

発行日 平成19年4月

編 集 総務委員会

発行所 (財)全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部

事務局 〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南2-8-19

大阪女子高等学校内 TEL(06)6719-2801

FAX(06)6714-0045

<http://www.ajhaf.org>

印刷所 (株)シバタプロセス印刷

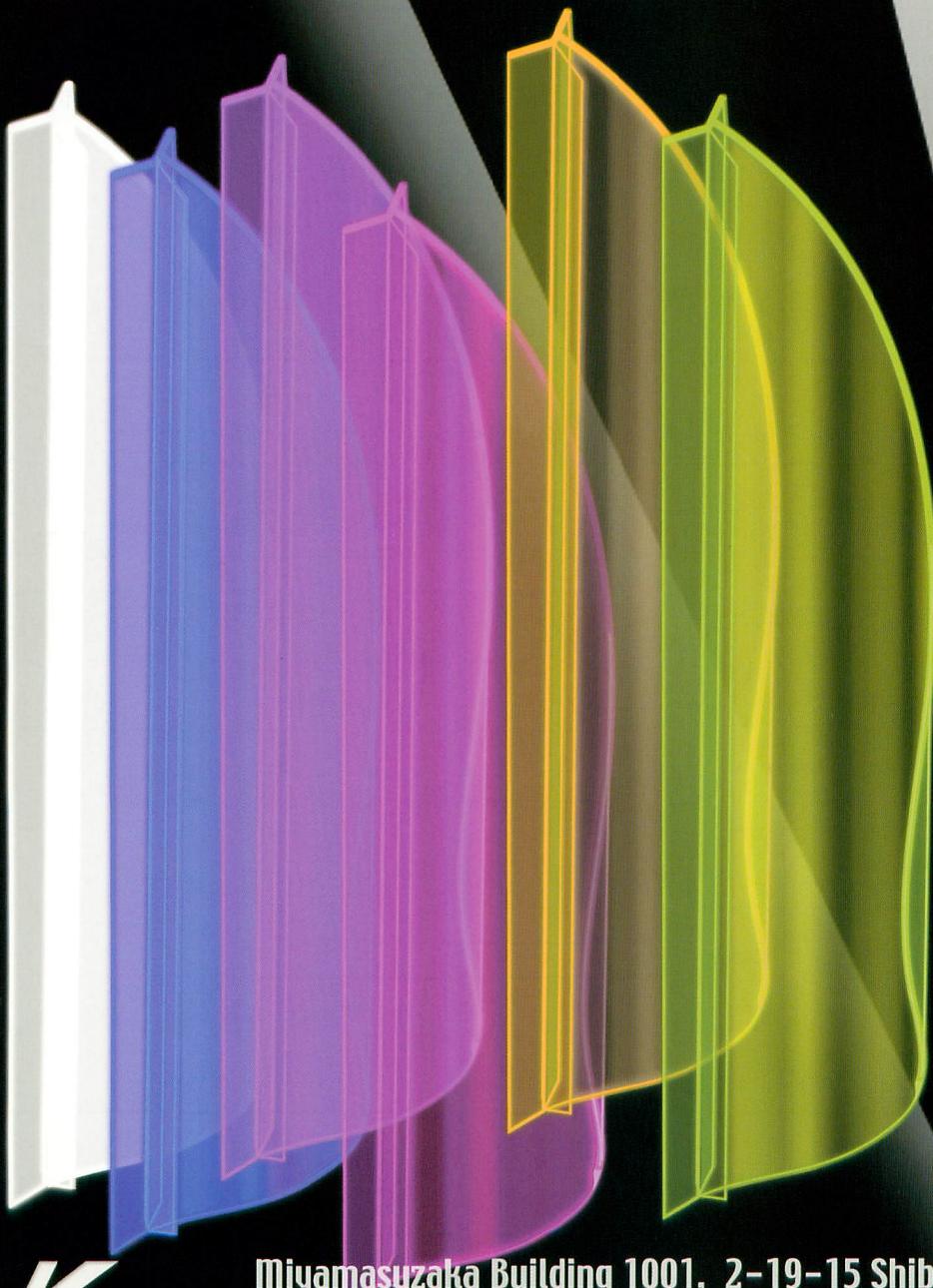
〒526-0015 滋賀県長浜市神照町499-1

TEL (0749) 63-6860(代)

K VANNES

フレッチャーを使えばどれだけ正確に羽が貼れるかを知っている人達と
フレッチャーを使えばどれだけ正確に羽が貼れるか忘れてしまった人達へ

www.kprobaymetal.com



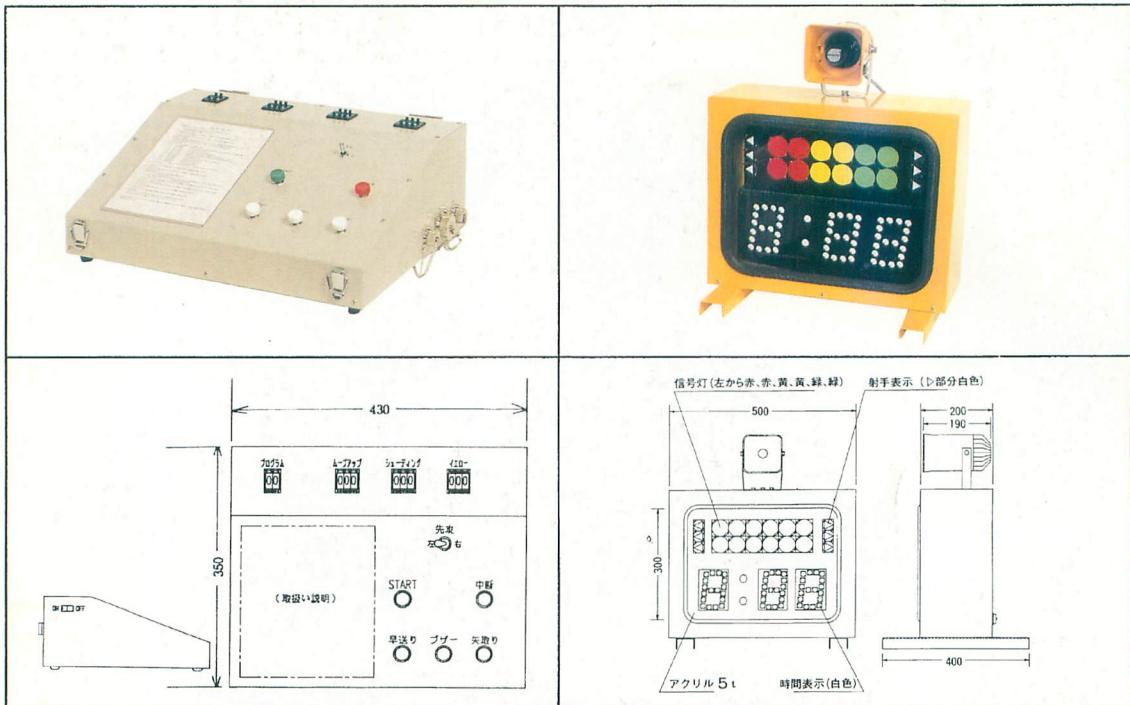
www.kprobaymetal.com

K
kprobaymetal

Miyamasuzaka Building 1001, 2-19-15 Shibuya Shibuyaku Tokyo
TEL/FAX 03-3797-7645

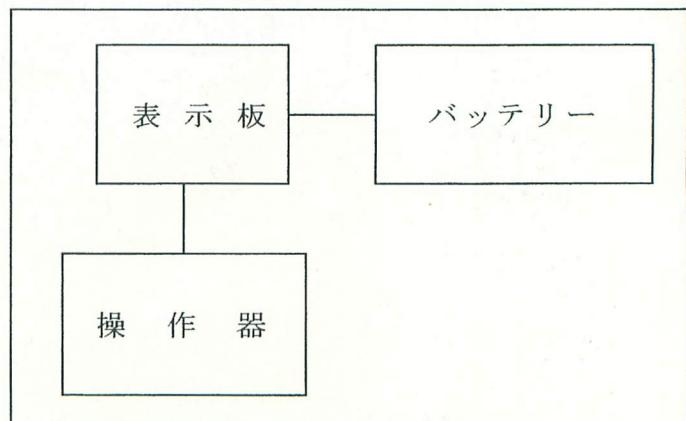
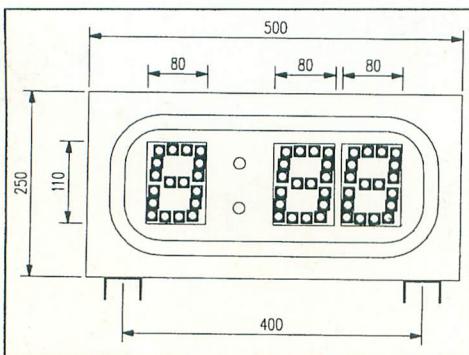
アーチェリー競技用表示装置

(全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部 御推薦)



(1) 操作器 1台 365,000- (2) 表示板 1面 463,000- (3) ケーブル 50m 41,500-

アーチェリータイム表示装置



(1) 表示板 1台 153,000- (2) 操作器 1台 32,000- (3) バッテリー 23,000-

販売元

西尾レントオール(株) イベント特機課
〒583-0001
大阪府藤井寺市川北1-44-1
TEL (0729) 73-3913
FAX (0729) 73-3914

製造元

株式会社 啓明電装
〒546-0041
大阪市東住吉区桑津2丁目6番4号
TEL (06) 6719-4504
FAX (06) 6719-5073